

道路メンテナンス年報
北陸版（新潟県・富山県・石川県）

新潟県道路メンテナンス会議
富山県道路メンテナンス会議
石川県道路メンテナンス会議

令和2年2月

目次

1. 道路メンテナンス年報について	1
(1) 概要	
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等について	
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の1巡目（平成26～30年度）の点検結果	2
(1) 橋梁・トンネル・道路附属物等	
1) 全道路管理者	
2) 国土交通省	
3) 高速道路会社	
4) 都道府県・政令市等	
5) 市町村	
(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等	
3. 修繕・措置の状況	47
(1) 判定区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの施設の修繕実施状況（1巡目点検施設）	
(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況（1巡目点検施設・北陸地方整備局管内）	
4. 橋梁・トンネルの現状	55
(1) 橋梁の現状	
(2) トンネルの現状	
5. データ分析・活用の事例	73
(1) 塩害の影響分析	
(2) 凍結防止剤の影響分析	
※巻末資料	75

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 本年報は、北陸管内の3県（新潟県・富山県・石川県）の道路管理者が管理する道路施設について、橋梁・トンネル・道路附属物等※の平成26年度から30年度までの1巡目の点検結果等についてとりまとめました。
- 道路メンテナンス年報の全国版は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_h30.html
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。
→地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。
→各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。

※道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等について

全ての道路管理者は、平成25年の道路法改正等を受け、平成26年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の1巡目（平成26～30年度）の点検結果

（1）橋梁・トンネル・道路附属物等

1) 全道路管理者

- 1巡目（平成26～30年度）の点検は概ね完了し、点検実施率は、橋梁99.8%、トンネル98.0%、道路附属物等99.9%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ42%、Ⅱ43%、Ⅲ15%、Ⅳ0.1%、トンネル：Ⅰ2%、Ⅱ32%、Ⅲ66%、Ⅳ1%、道路附属物等：Ⅰ15%、Ⅱ49%、Ⅲ36%、Ⅳ0.1%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある（次頁以降も同様）。
 ※道路附属物等の内訳は巻末資料（1）を参照。

○ 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率（全道路管理者合計）

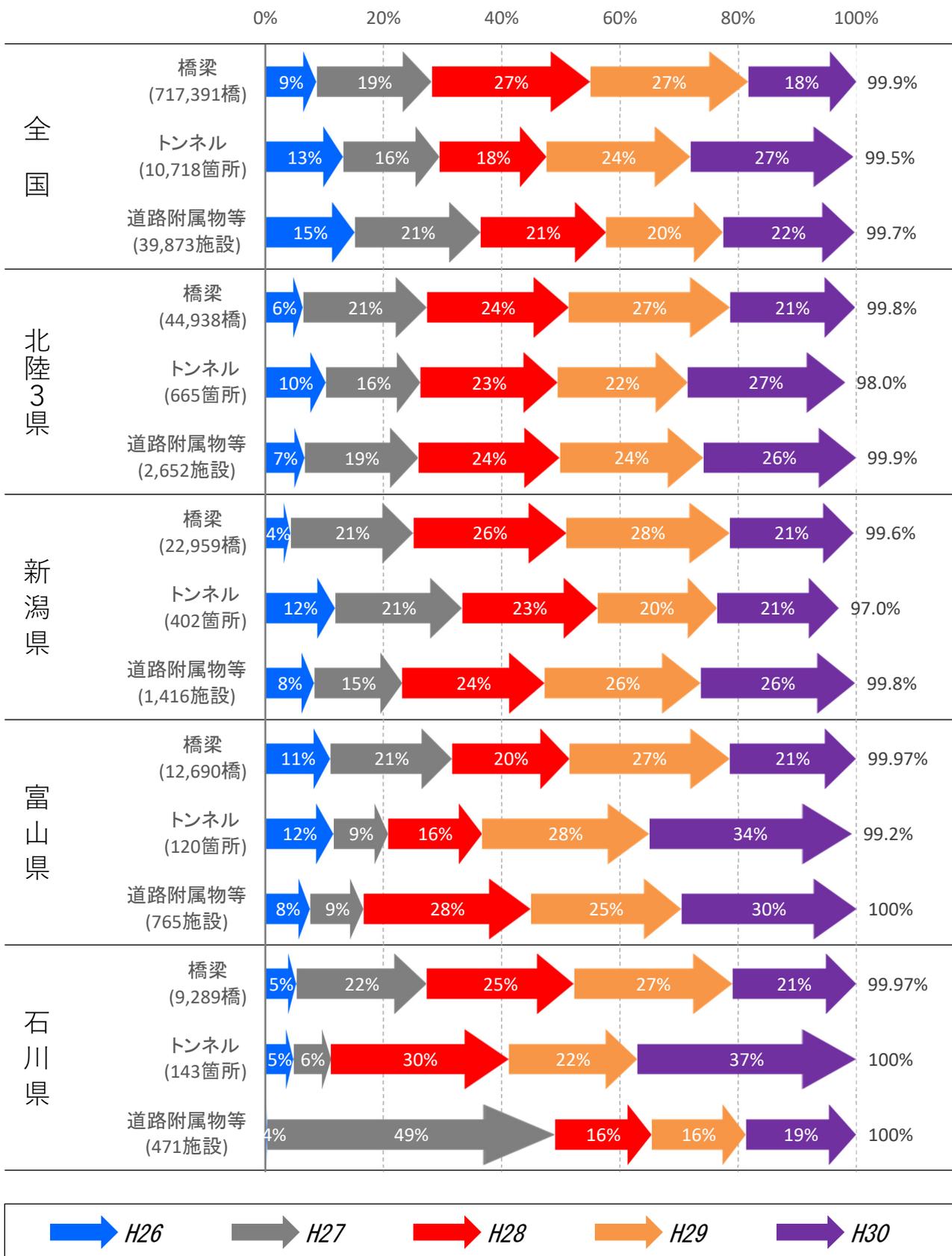
		管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
全国	橋梁	722,942	717,391	716,557	99.9%
	トンネル	11,215	10,718	10,662	99.5%
	道路附属物等	41,149	39,873	39,750	99.7%
北陸3県	橋梁	45,285	44,938	44,836	99.8%
	トンネル	675	665	652	98.0%
	道路附属物等	2,688	2,652	2,649	99.9%
新潟県	橋梁	23,115	22,959	22,864	99.6%
	トンネル	408	402	390	97.0%
	道路附属物等	1,436	1,416	1,413	99.8%
富山県	橋梁	12,775	12,690	12,686	99.97%
	トンネル	120	120	119	99.2%
	道路附属物等	775	765	765	100%
石川県	橋梁	9,395	9,289	9,286	99.97%
	トンネル	147	143	143	100%
	道路附属物等	477	471	471	100%

平成31年3月末時点

※1：平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設

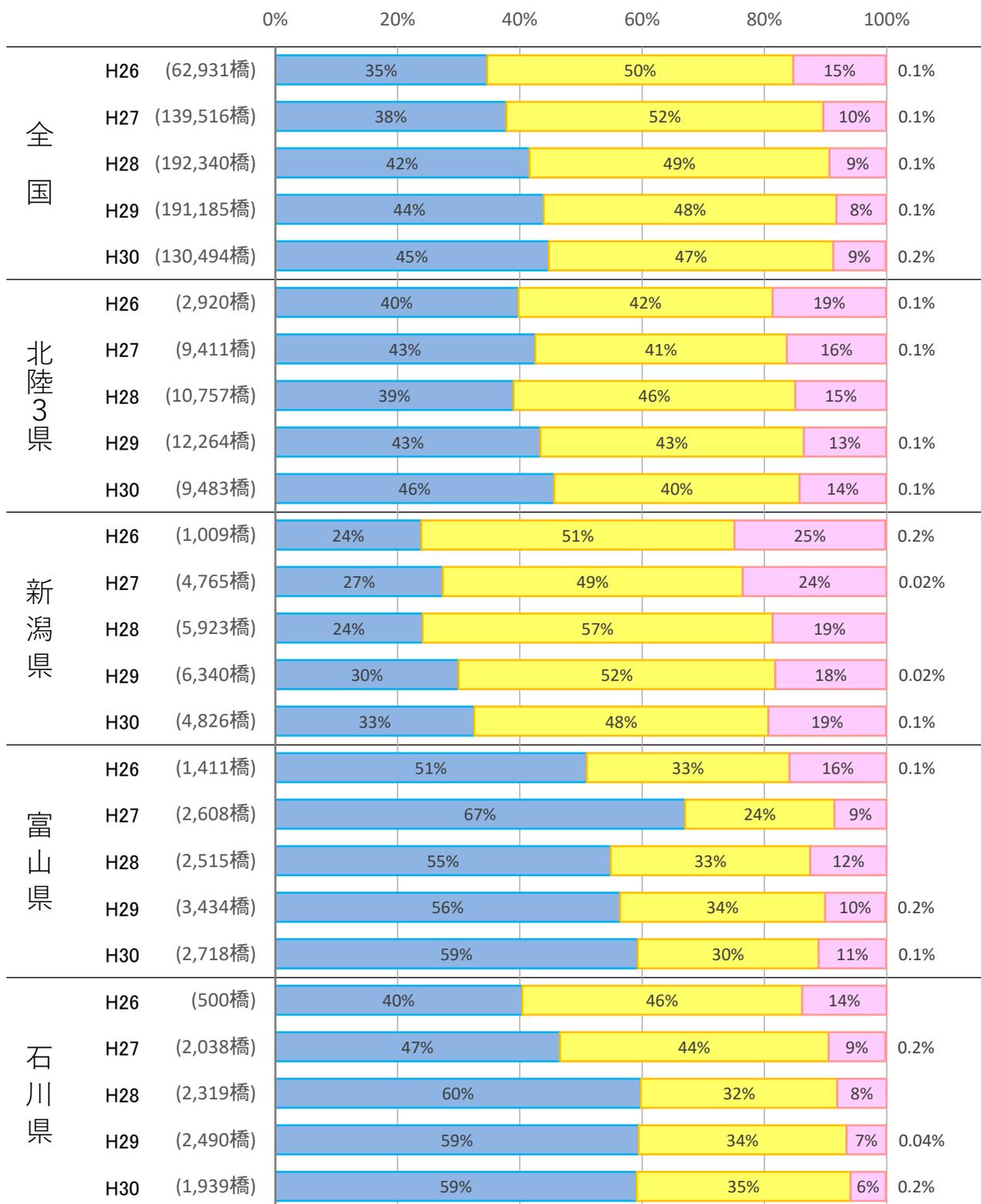
※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

○ 1 巡目（平成26～30年度）の点検実施率（全道路管理者合計）



※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

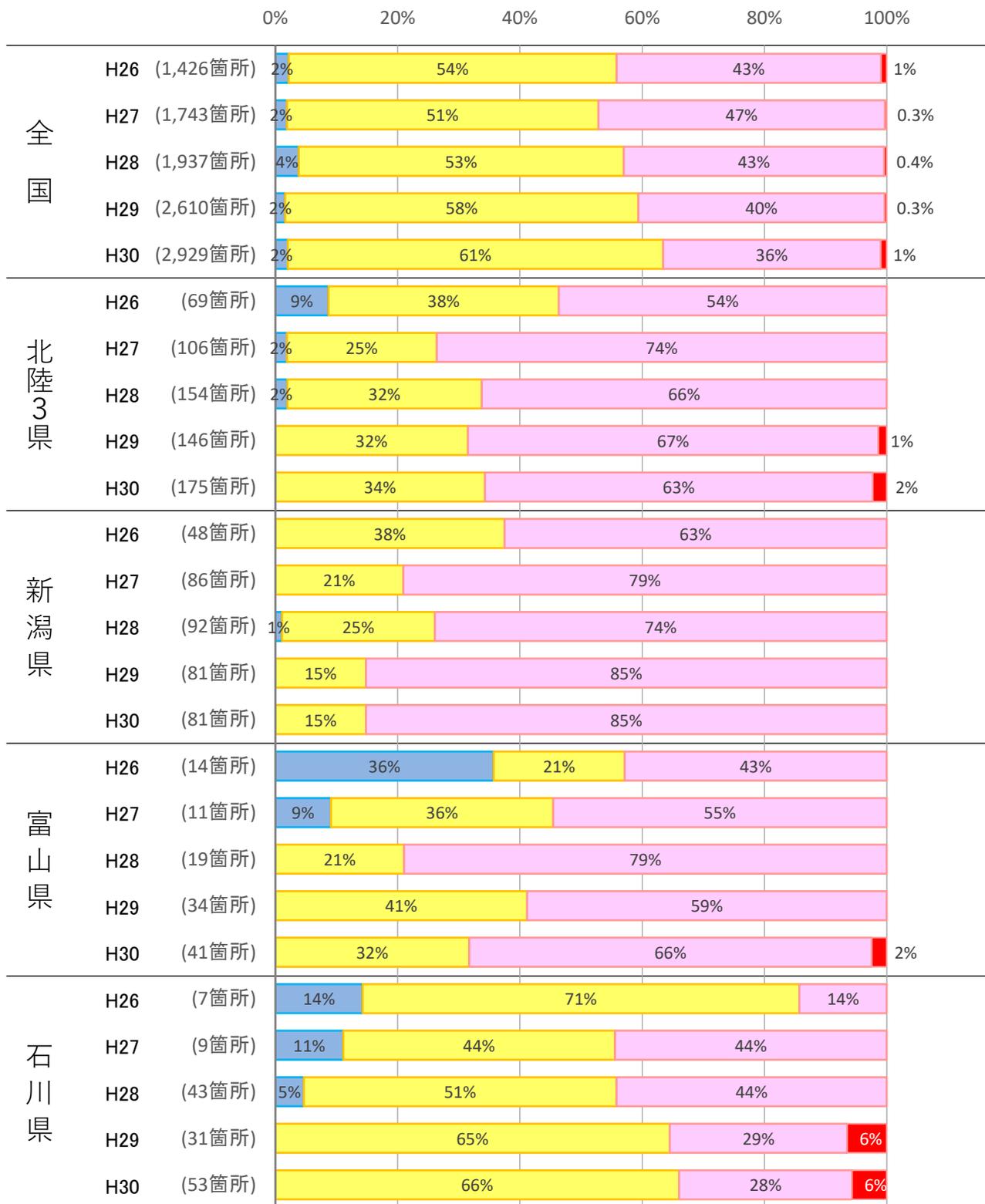
○ 橋梁の判定区分の割合（年度毎、全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

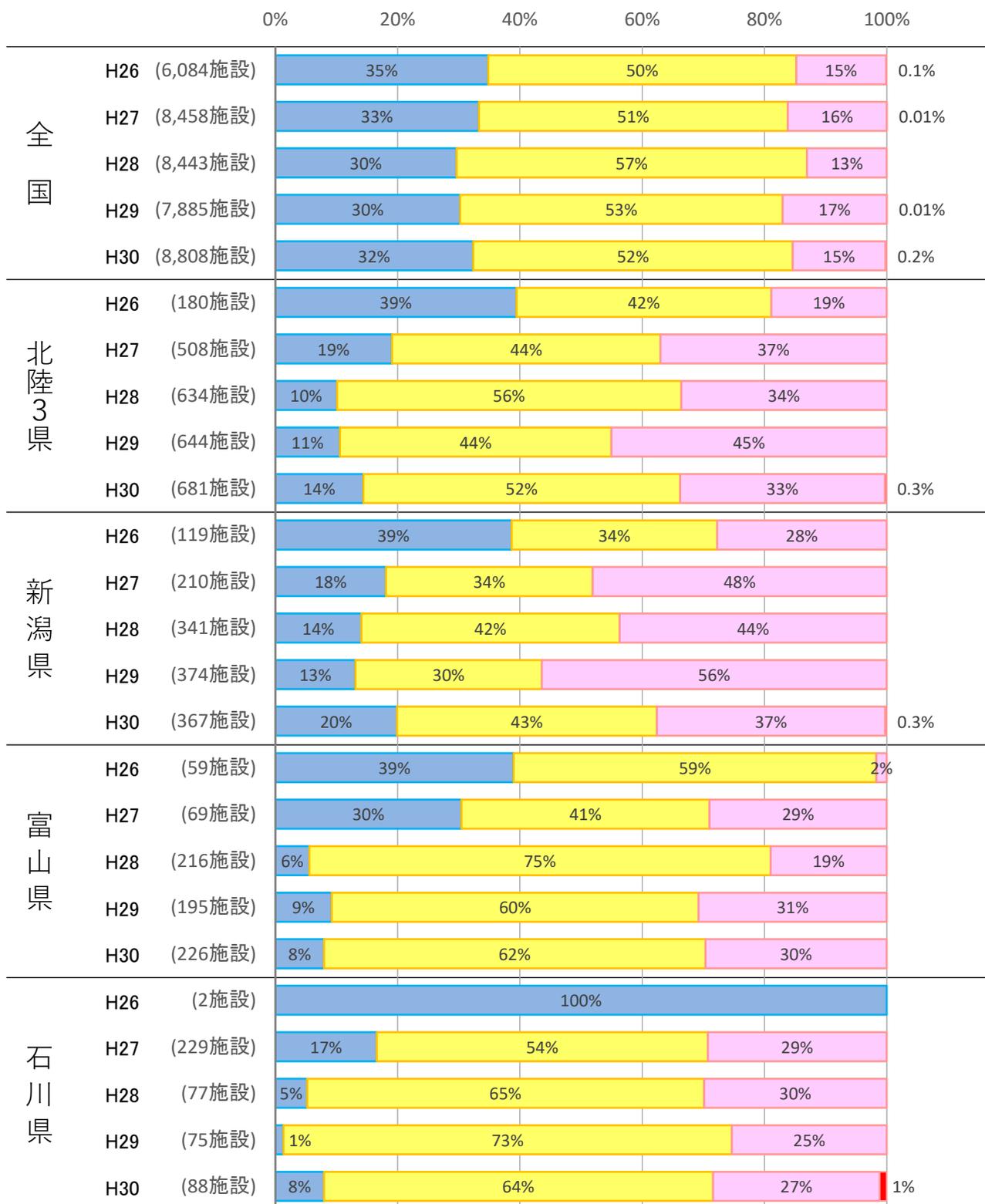
○ トンネルの判定区分の割合（年度毎、全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

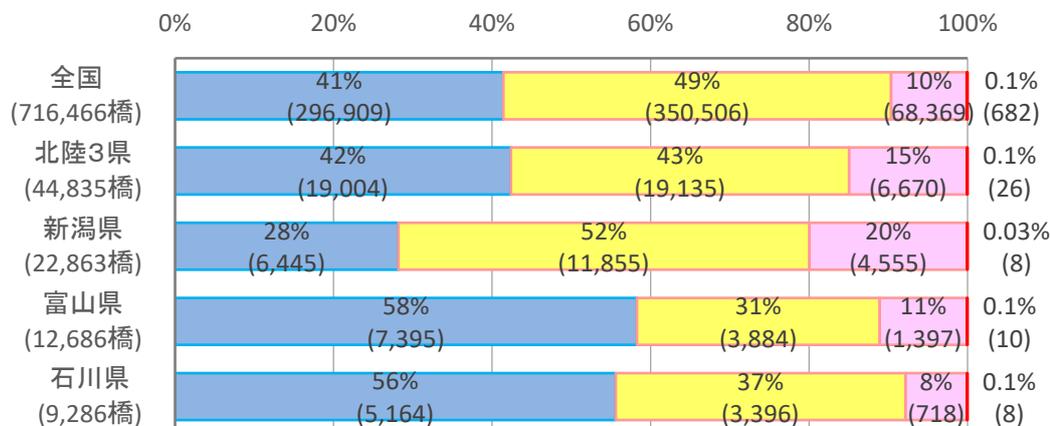
○ 道路附属物等の判定区分の割合（年度毎、全道路管理者合計）



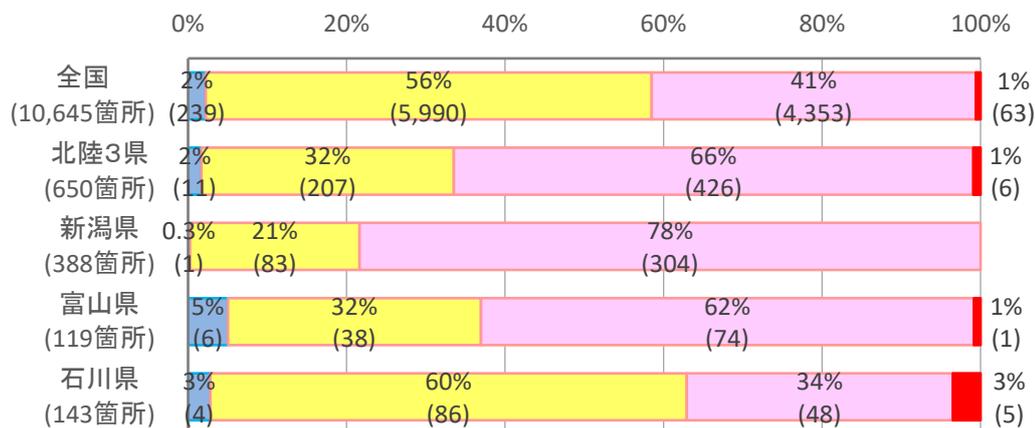
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

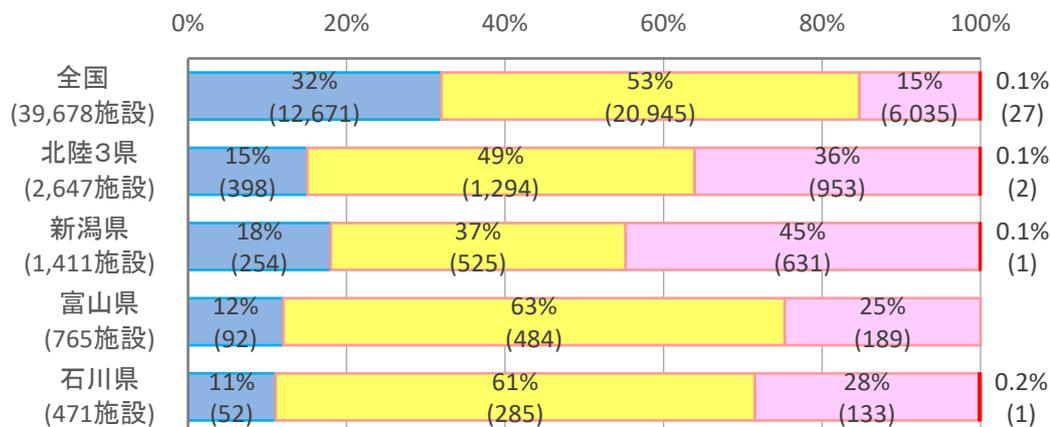
○ 橋梁の判定区分の割合（全道路管理者合計）



○ トンネルの判定区分の割合（全道路管理者合計）



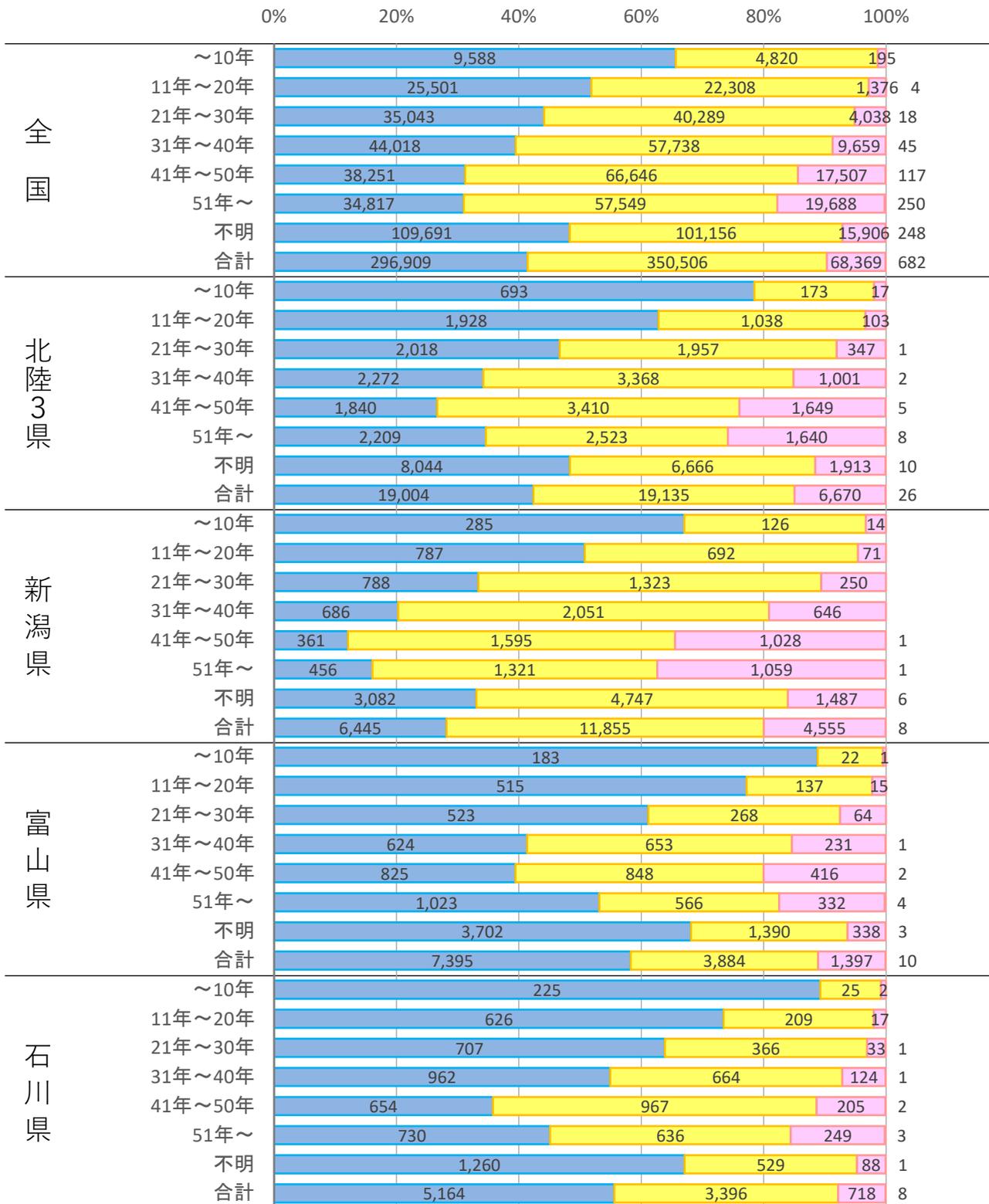
○ 道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

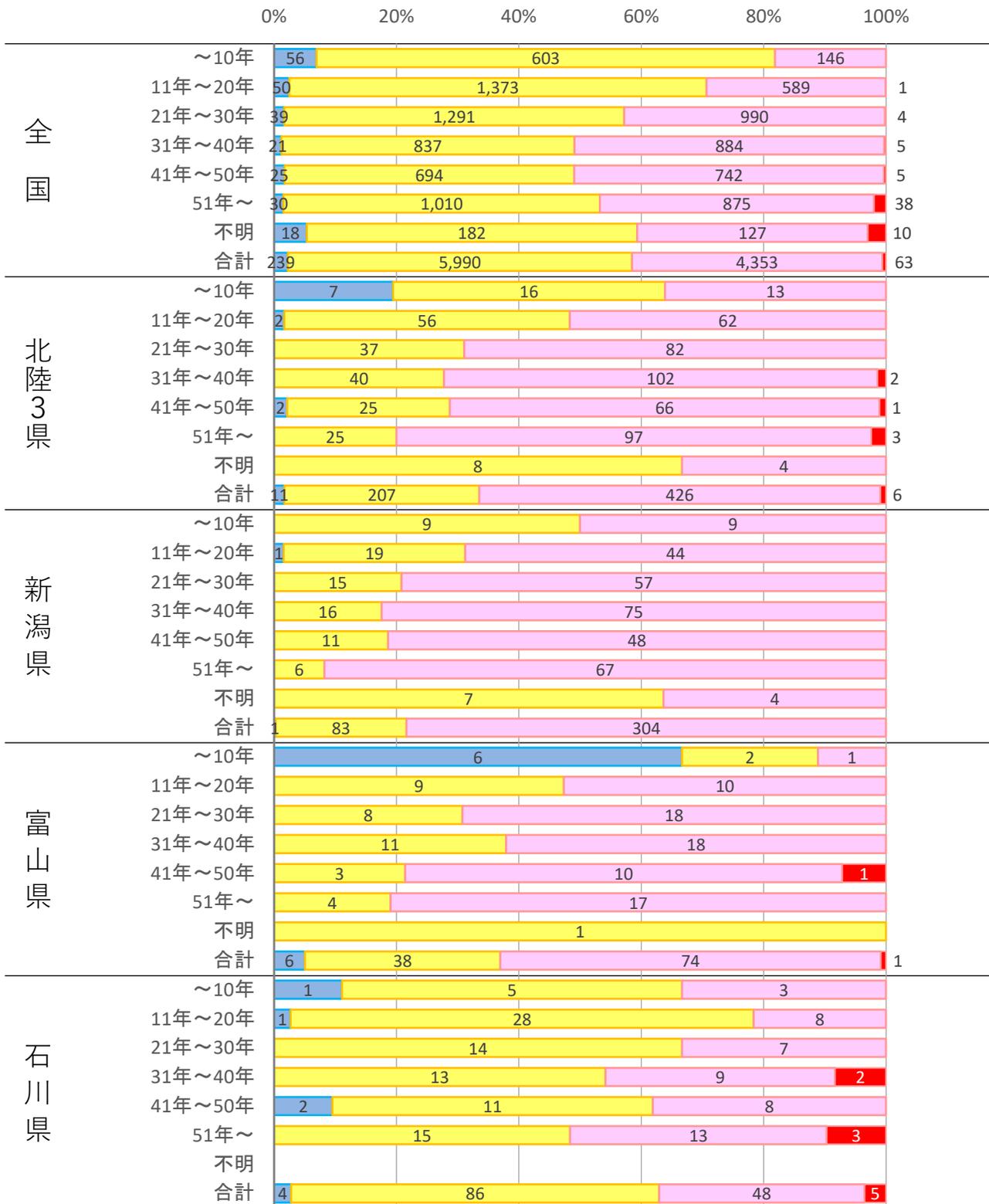
○ 橋梁の判定区分と建設経過年数（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

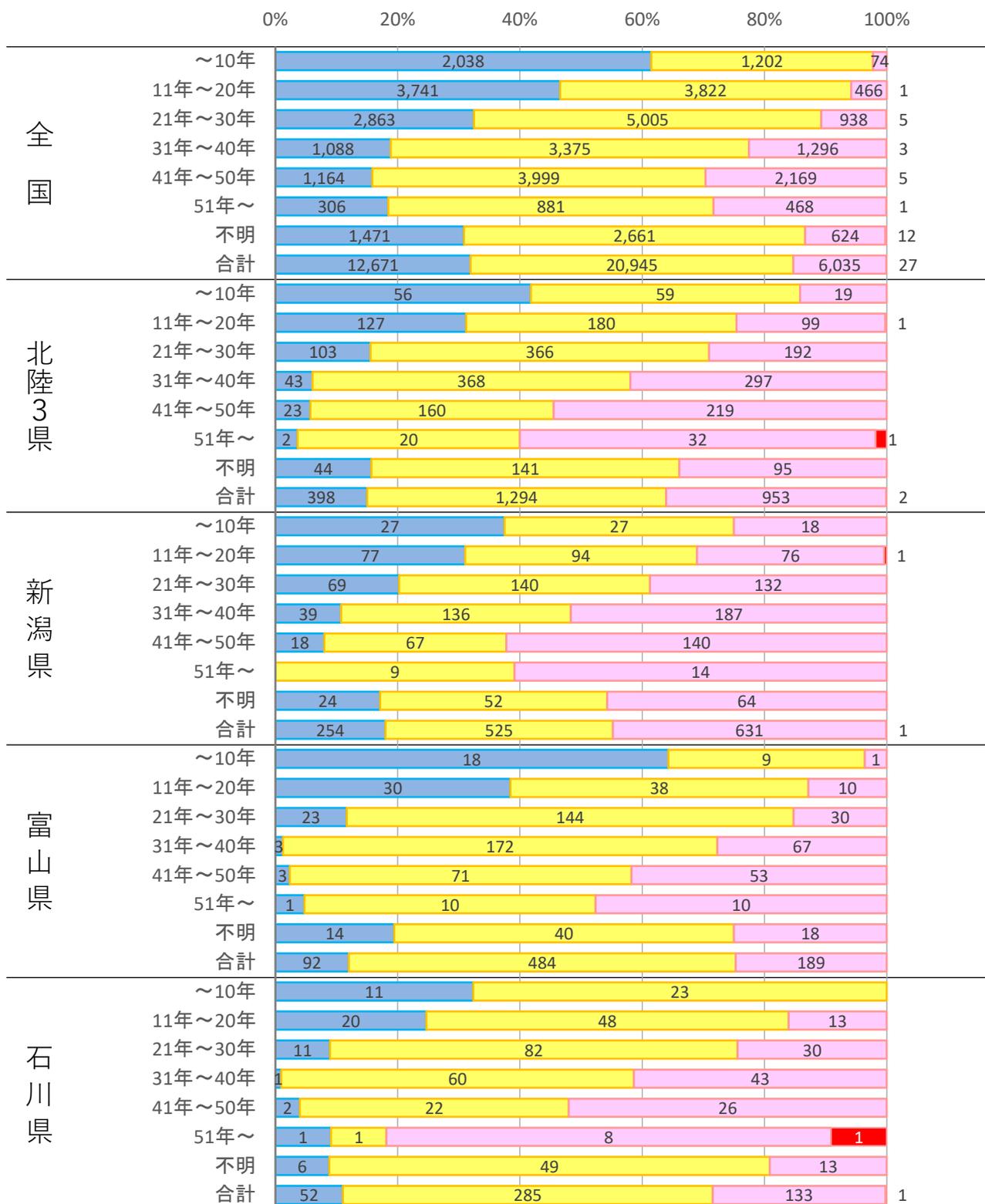
○ トンネルの判定区分と建設経過年数（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

○ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

2) 国土交通省

- 1巡目（平成26～30年度）の点検は完了し、点検実施率は、橋梁100%、トンネル100%、道路附属物等100%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ66%、Ⅱ30%、Ⅲ4%、トンネル：Ⅰ8%、Ⅱ28%、Ⅲ64%、道路附属物等：Ⅰ19%、Ⅱ48%、Ⅲ33%、Ⅳ0.1%です。

○ 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率（国土交通省）

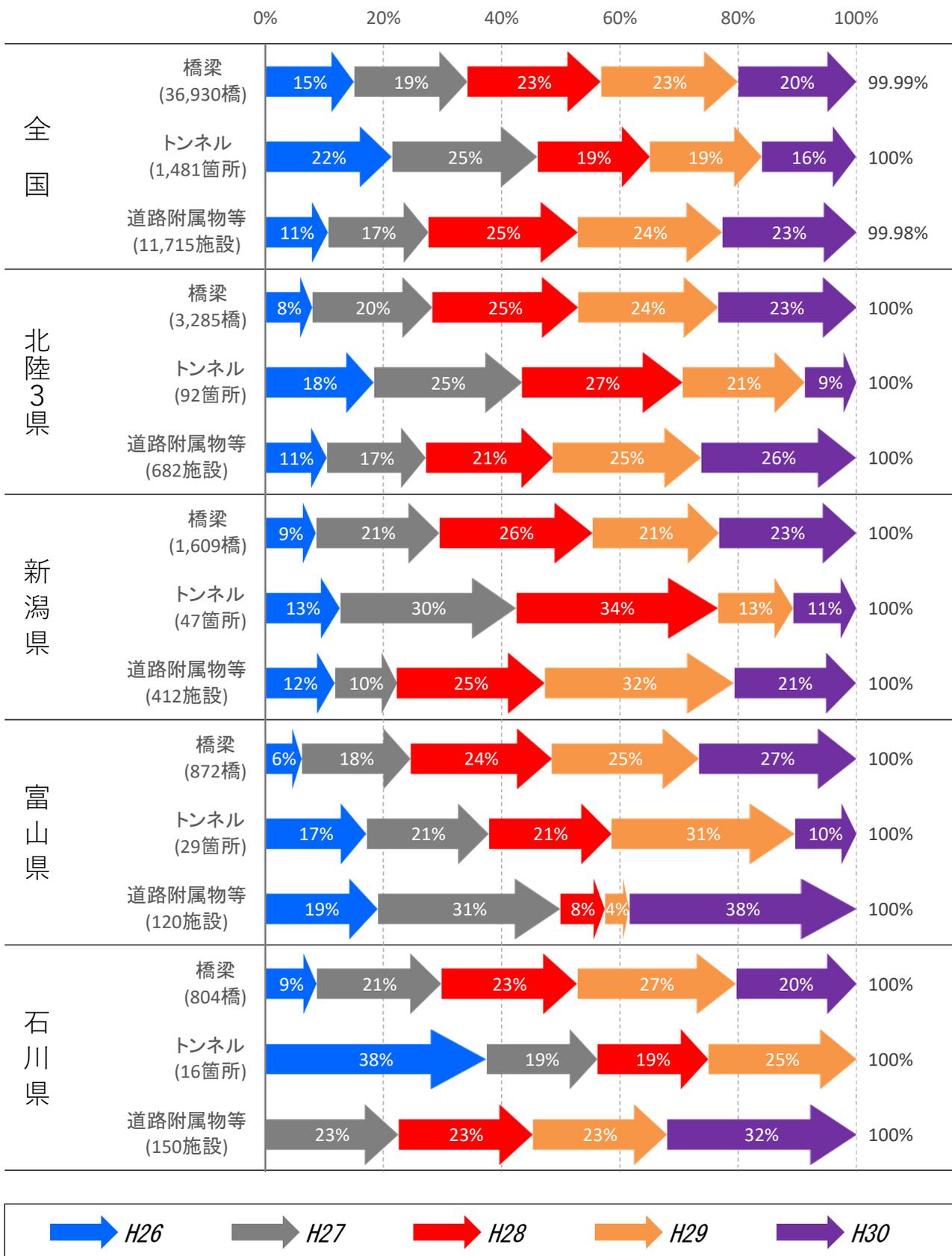
		管理施設数	うち点検対象 施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
全国	橋梁	37,909	36,930	36,928	99.99%
	トンネル	1,647	1,481	1,481	100%
	道路附属物等	12,033	11,715	11,713	99.98%
北陸3県	橋梁	3,339	3,285	3,285	100%
	トンネル	94	92	92	100%
	道路附属物等	690	682	682	100%
新潟県	橋梁	1,630	1,609	1,609	100%
	トンネル	47	47	47	100%
	道路附属物等	417	412	412	100%
富山県	橋梁	882	872	872	100%
	トンネル	29	29	29	100%
	道路附属物等	123	120	120	100%
石川県	橋梁	827	804	804	100%
	トンネル	18	16	16	100%
	道路附属物等	150	150	150	100%

平成31年3月末時点

※1：平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設

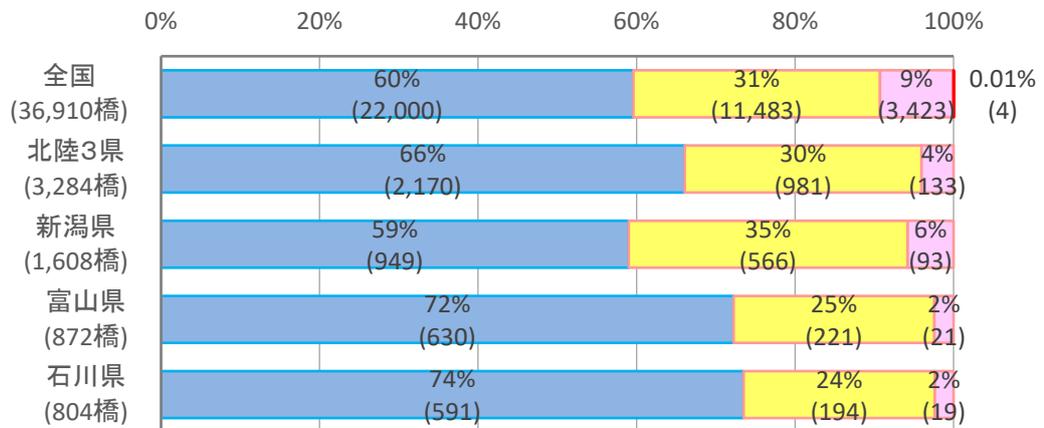
※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

○ 1 巡目（平成26～30年度）の点検実施率（国土交通省）

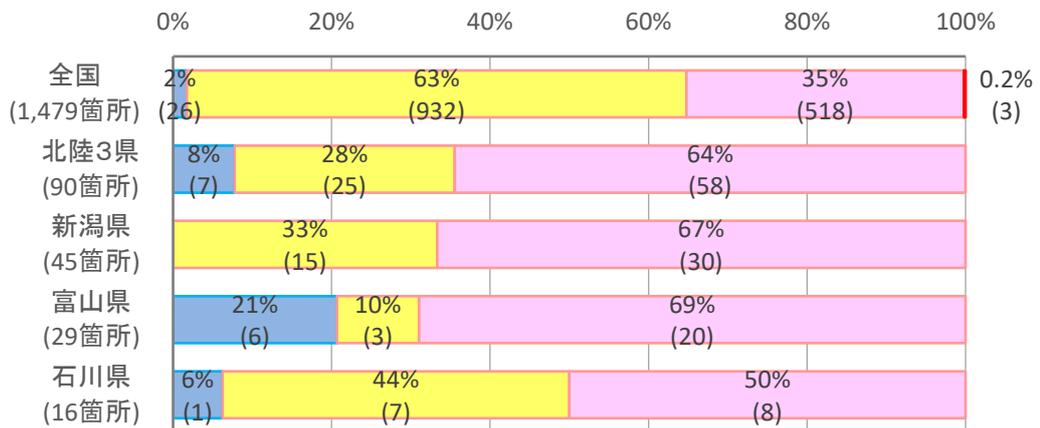


※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

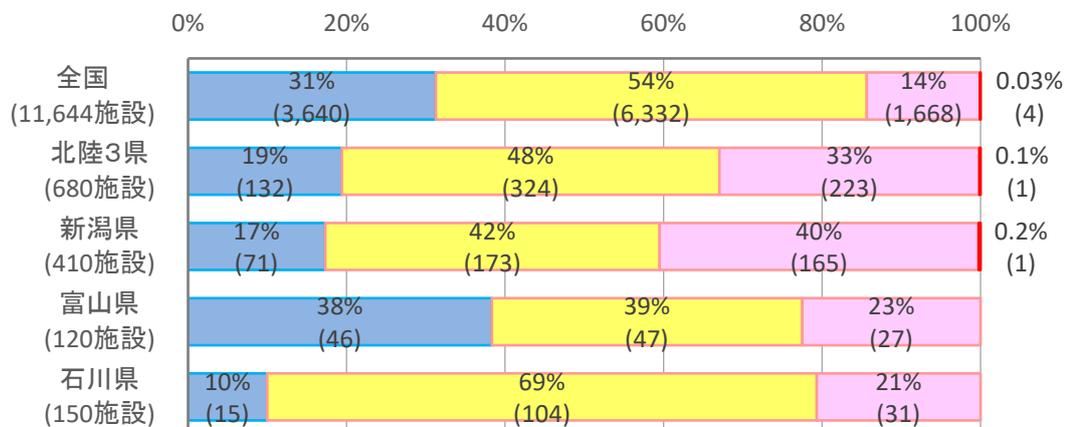
○ 橋梁の判定区分の割合（国土交通省）



○ トンネルの判定区分の割合（国土交通省）



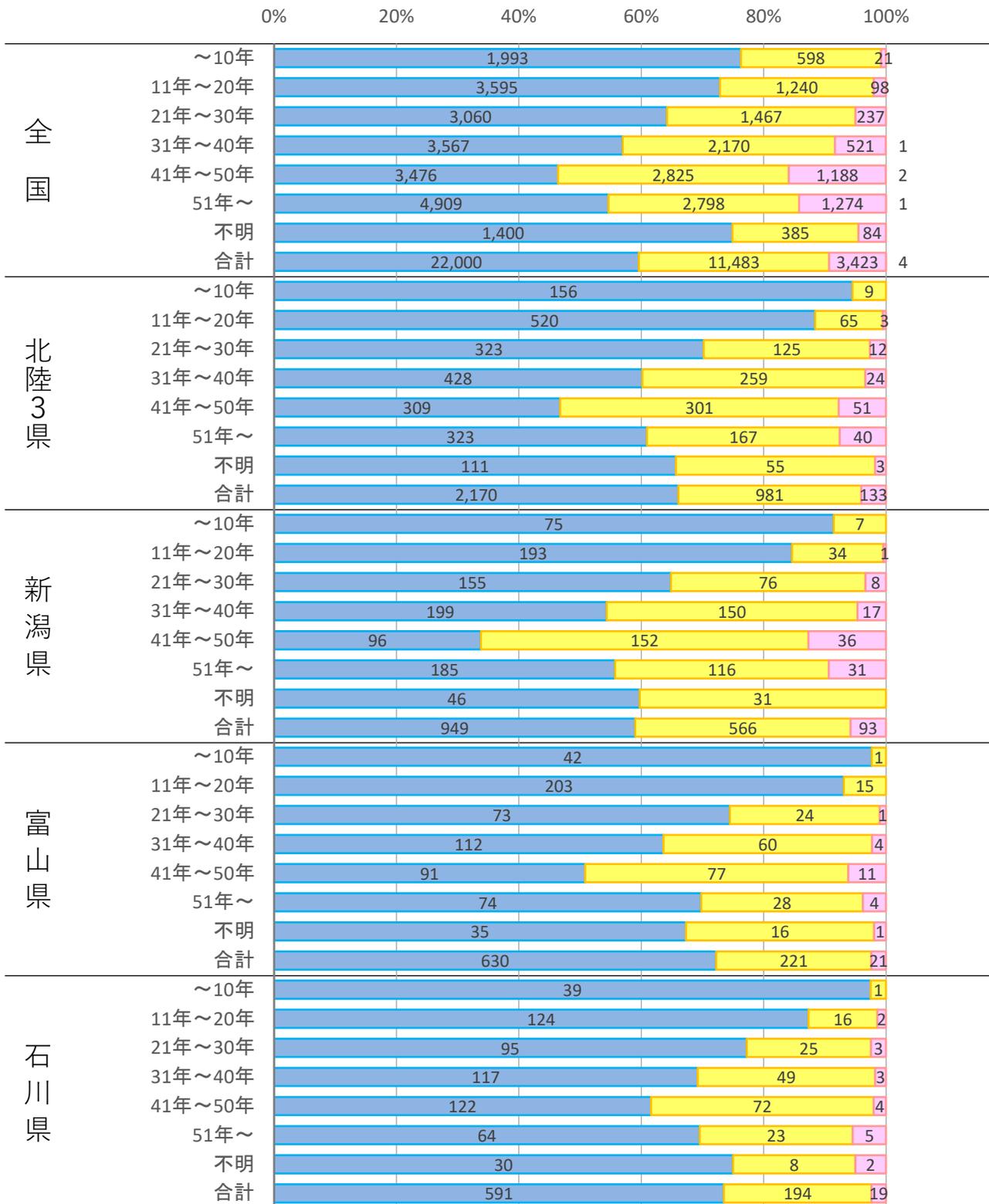
○ 道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

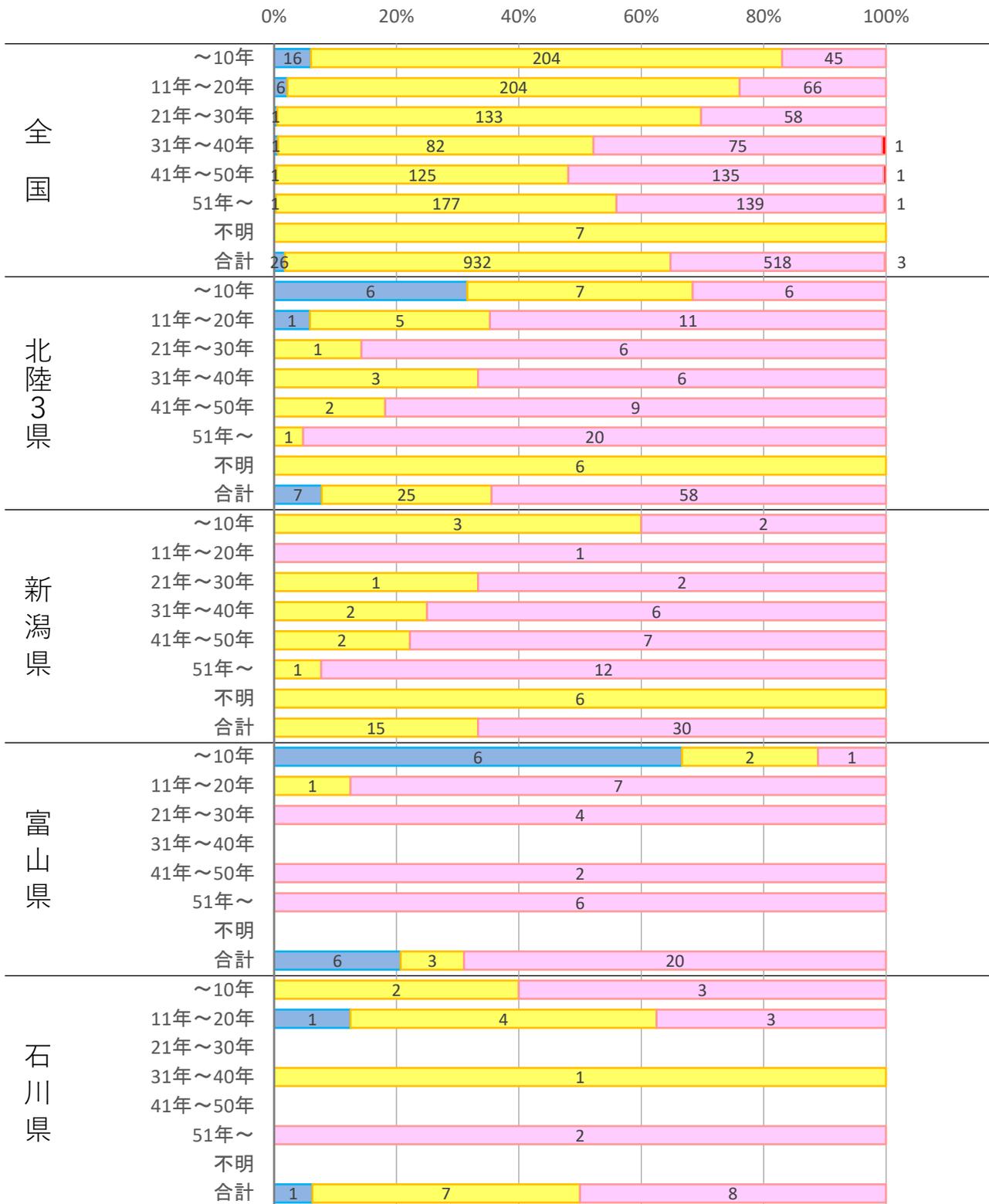
○ 橋梁の判定区分と建設経過年数（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

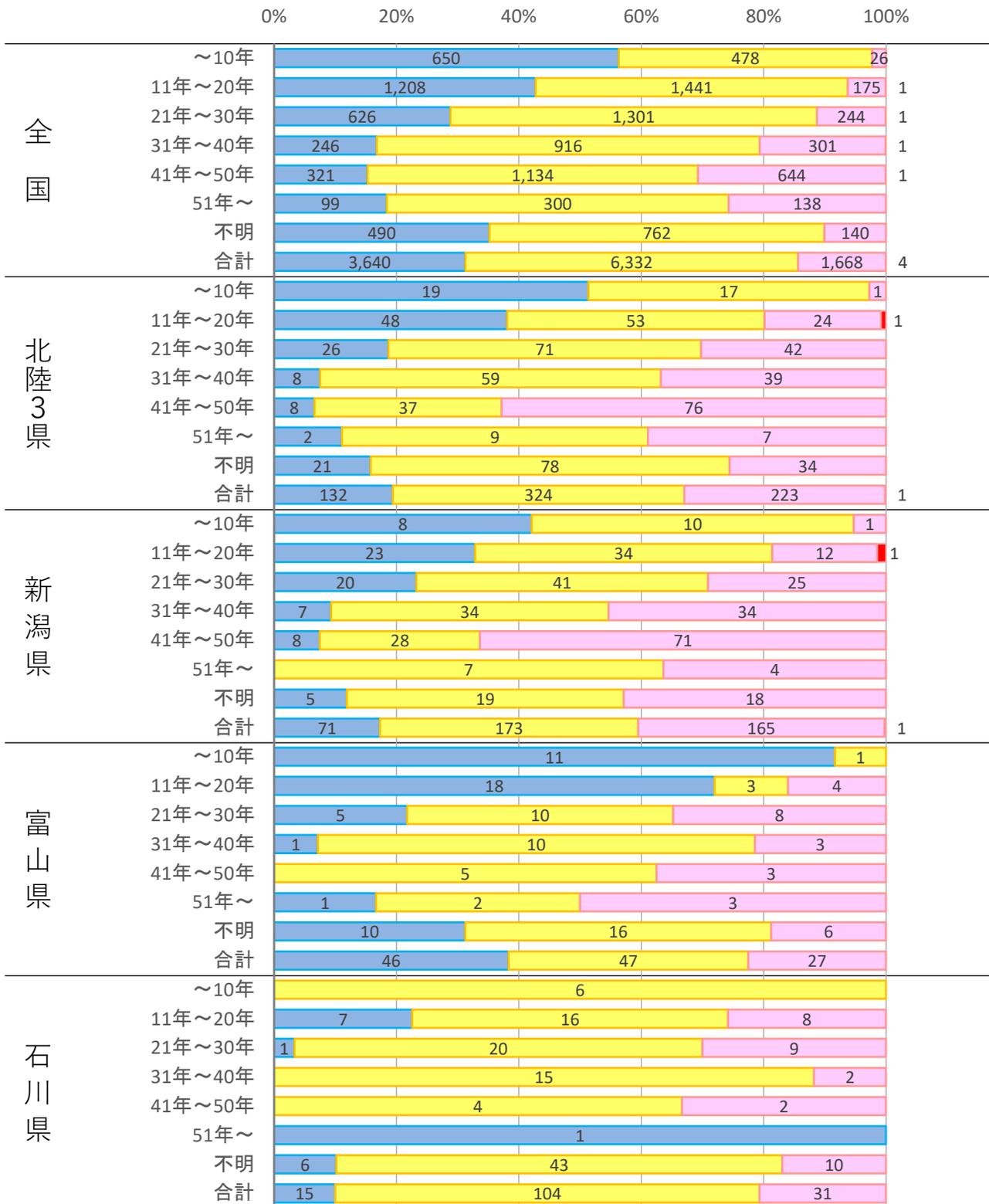
○ トンネルの判定区分と建設経過年数（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

○ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

3) 高速道路会社

- 1巡目（平成26～30年度）の点検は完了し、点検実施率は、橋梁100%、トンネル100%、道路附属物等100%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ8%、Ⅱ80%、Ⅲ12%、トンネル：Ⅰ2%、Ⅱ45%、Ⅲ53%、道路附属物等：Ⅰ28%、Ⅱ63%、Ⅲ8%です。

○ 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率（高速道路会社）

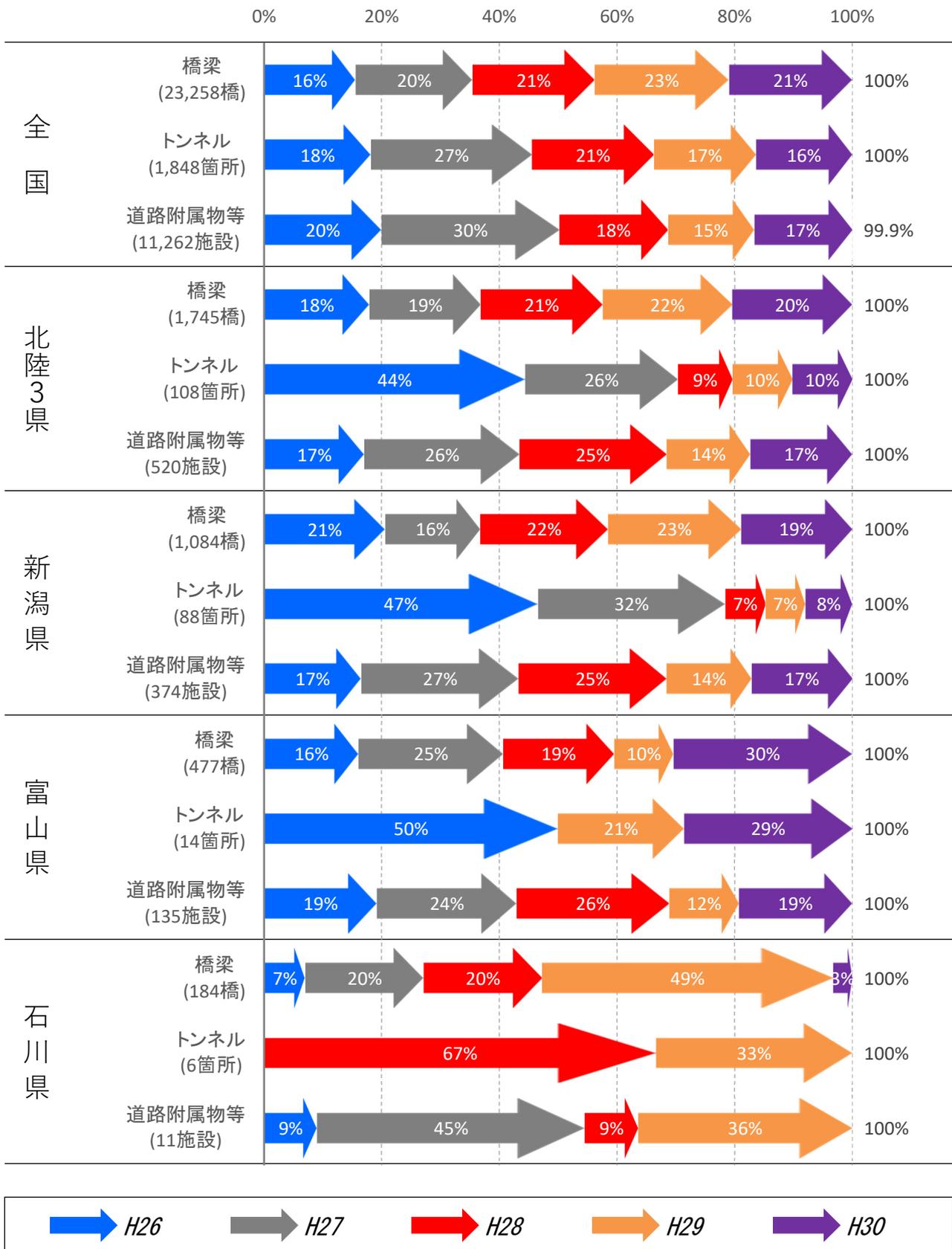
		管理施設数	うち点検対象 施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
全国	橋梁	24,048	23,258	23,258	100%
	トンネル	2,008	1,848	1,848	100%
	道路附属物等	11,921	11,262	11,255	99.9%
北陸3県	橋梁	1,765	1,745	1,745	100%
	トンネル	111	108	108	100%
	道路附属物等	521	520	520	100%
新潟県	橋梁	1,102	1,084	1,084	100%
	トンネル	91	88	88	100%
	道路附属物等	374	374	374	100%
富山県	橋梁	478	477	477	100%
	トンネル	14	14	14	100%
	道路附属物等	136	135	135	100%
石川県	橋梁	185	184	184	100%
	トンネル	6	6	6	100%
	道路附属物等	11	11	11	100%

平成31年3月末時点

※1：平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設

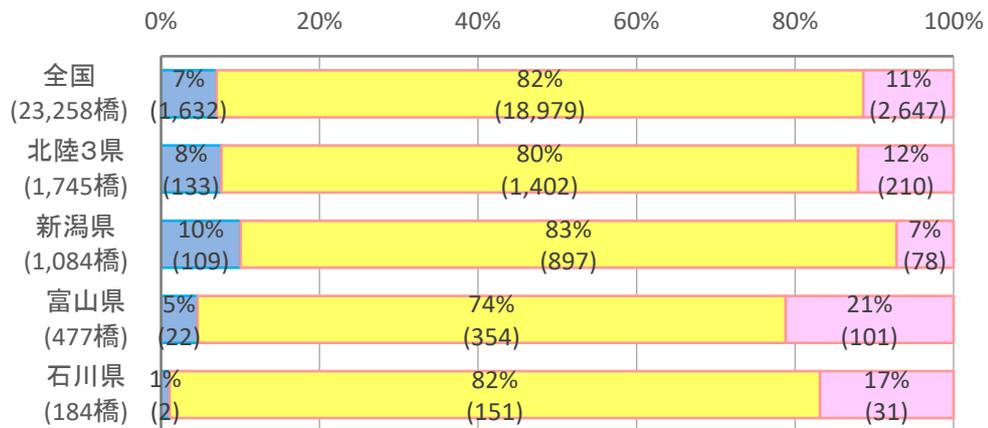
※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

○ 1 巡目（平成26～30年度）の点検実施率（高速道路会社）

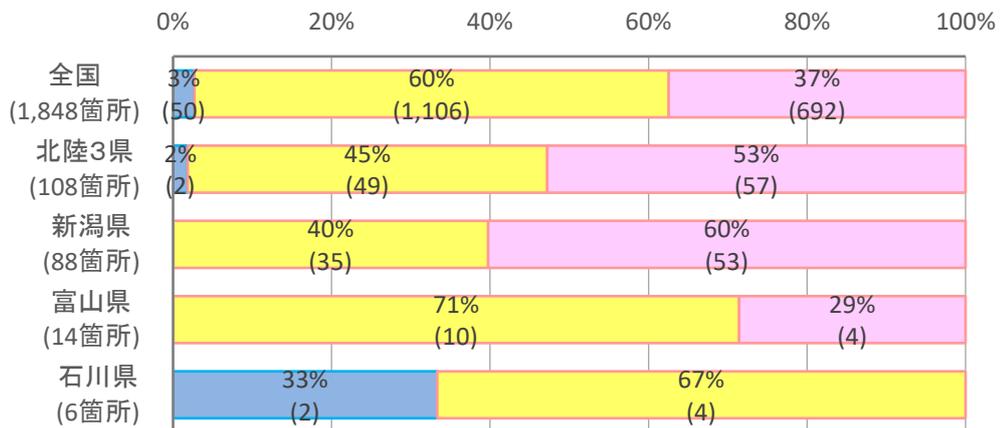


※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

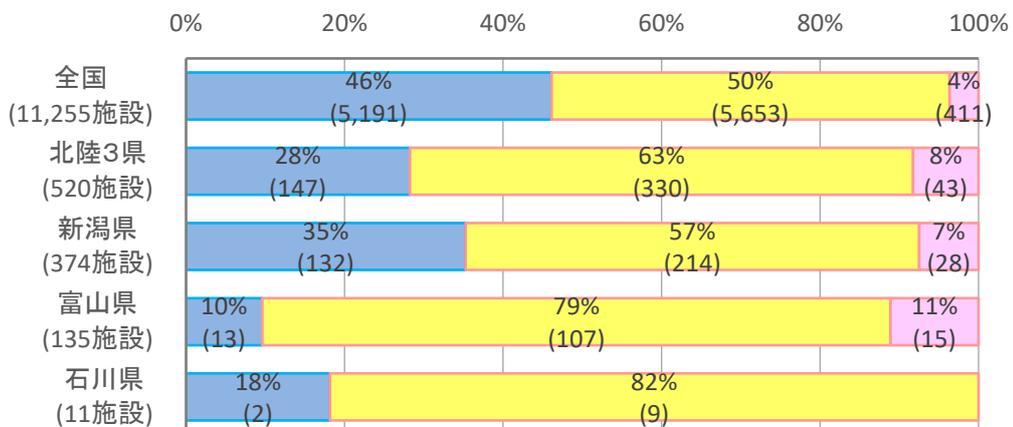
○ 橋梁の判定区分の割合（高速道路会社）



○ トンネルの判定区分の割合（高速道路会社）



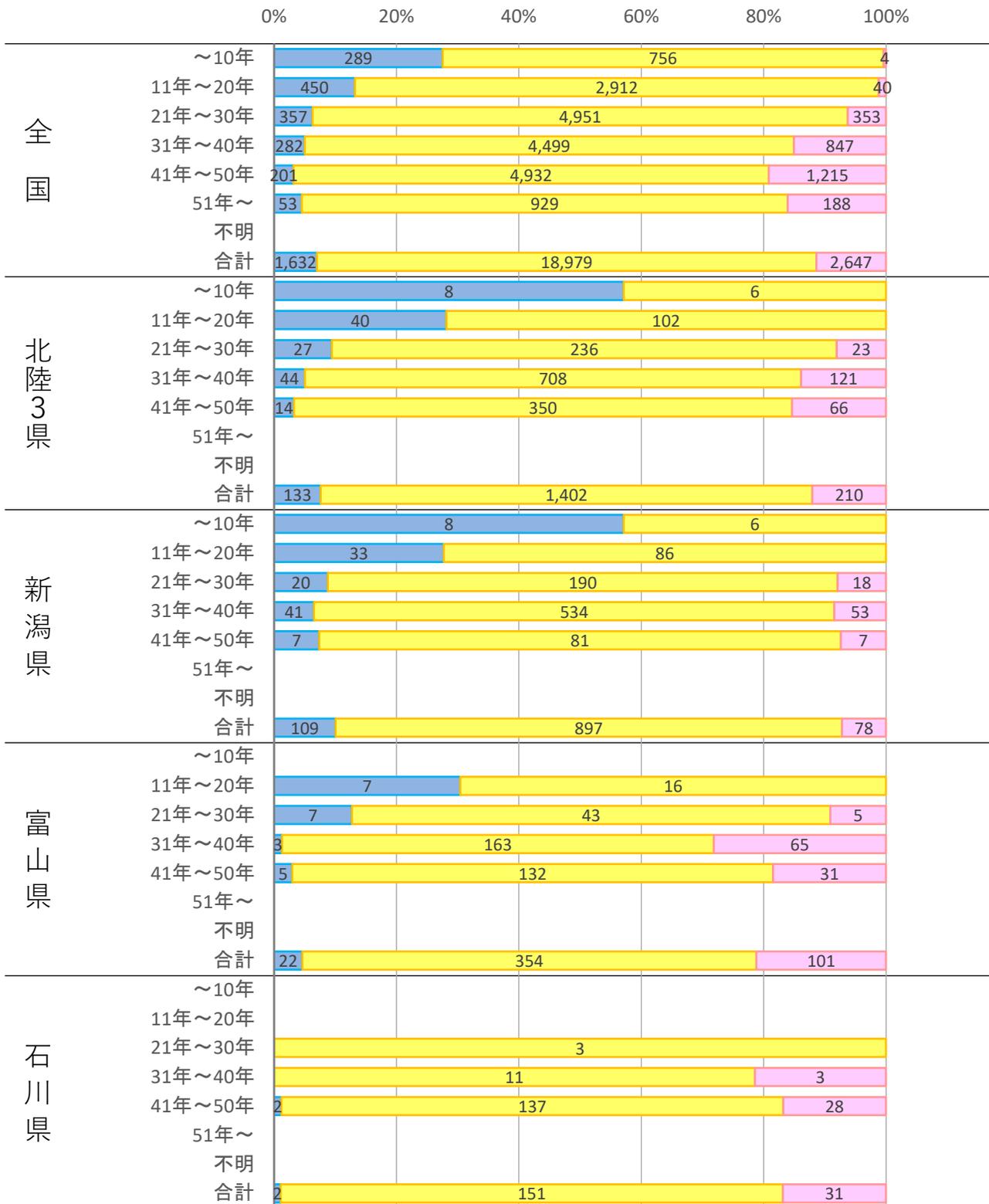
○ 道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

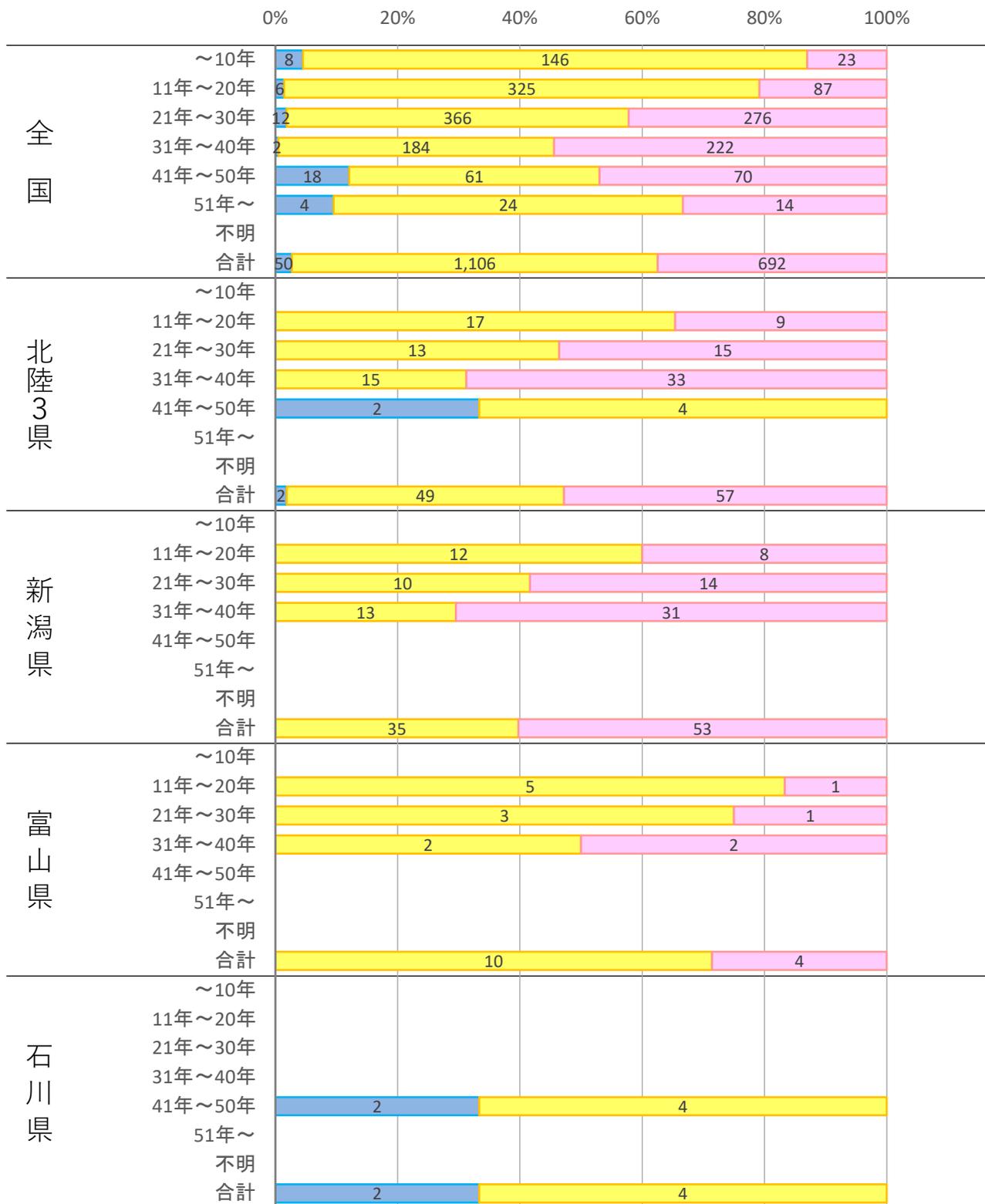
○ 橋梁の判定区分と建設経過年数（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

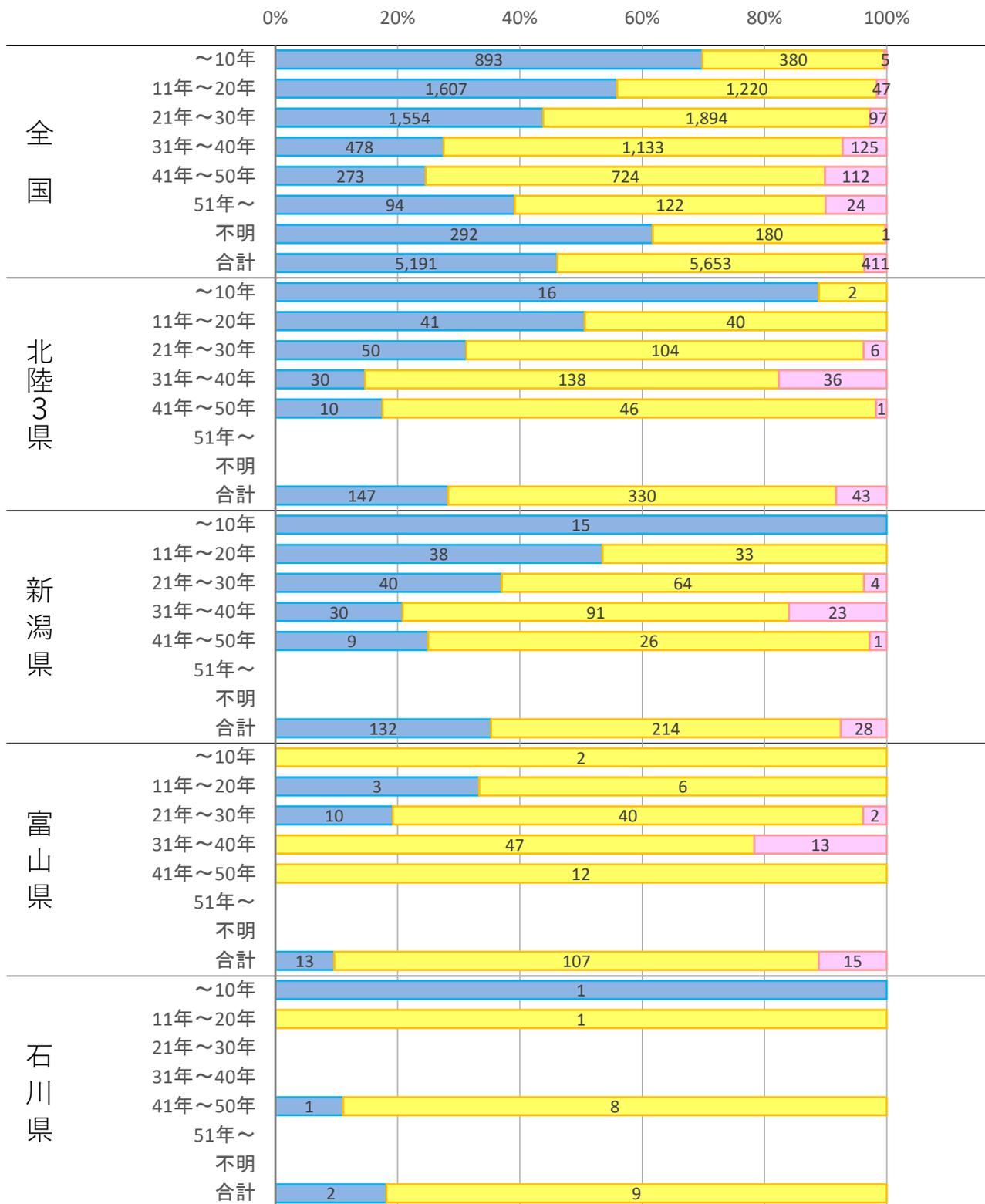
○ トンネルの判定区分と建設経過年数（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

○ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

4) 都道府県・政令市等

- 1巡目（平成26～30年度）の点検は概ね完了し、点検実施率は、橋梁99.5%、トンネル100%、道路附属物等100%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ35%、Ⅱ45%、Ⅲ20%、Ⅳ0.01%、トンネル：Ⅰ1%、Ⅱ27%、Ⅲ72%、道路附属物等：Ⅰ8%、Ⅱ42%、Ⅲ50%です。

○ 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）

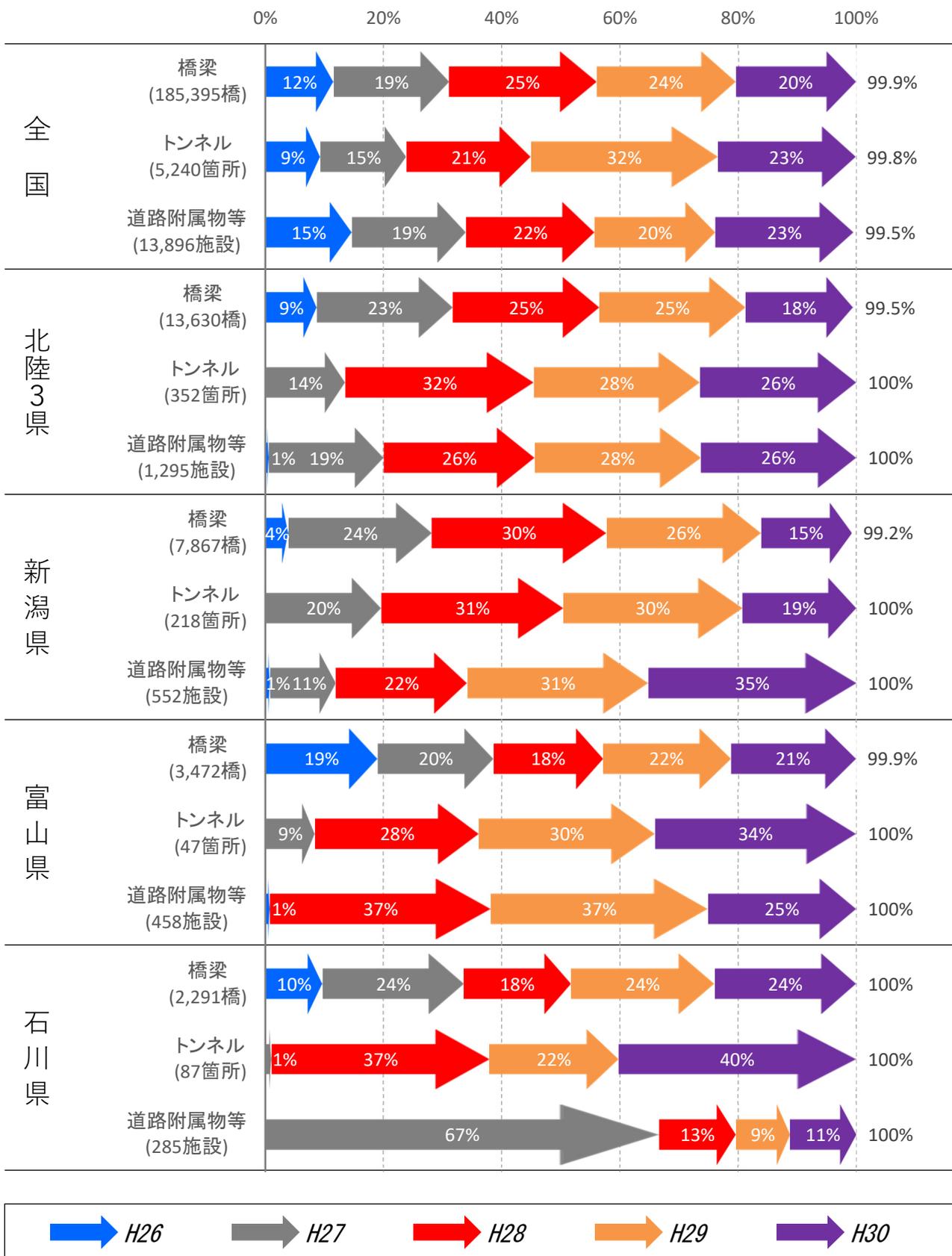
		管理施設数	うち点検対象 施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
全国	橋梁	186,723	185,395	185,182	99.9%
	トンネル	5,393	5,240	5,232	99.8%
	道路附属物等	14,133	13,896	13,831	99.5%
北陸3県	橋梁	13,735	13,630	13,561	99.5%
	トンネル	355	352	352	100%
	道路附属物等	1,315	1,295	1,295	100%
新潟県	橋梁	7,928	7,867	7,801	99.2%
	トンネル	220	218	218	100%
	道路附属物等	564	552	552	100%
富山県	橋梁	3,485	3,472	3,469	99.9%
	トンネル	47	47	47	100%
	道路附属物等	462	458	458	100%
石川県	橋梁	2,322	2,291	2,291	100%
	トンネル	88	87	87	100%
	道路附属物等	289	285	285	100%

平成31年3月末時点

※1：平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設

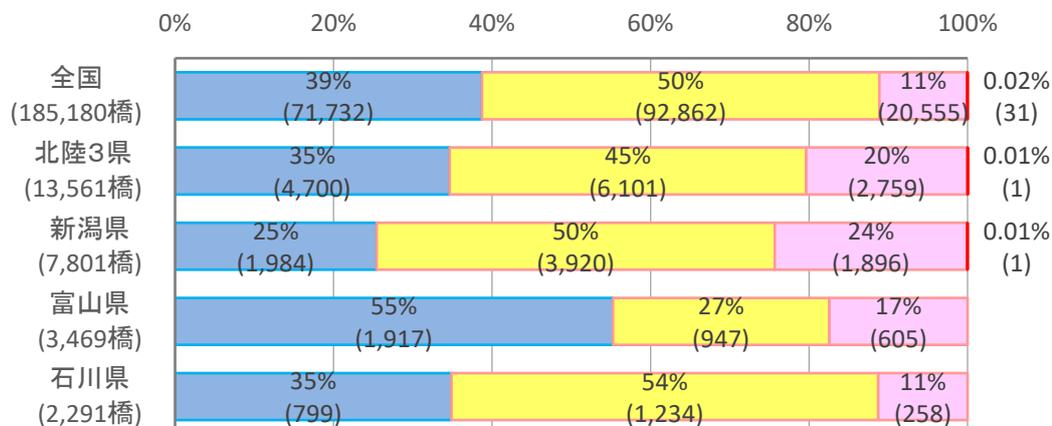
※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

○ 1 巡目（平成26～30年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）

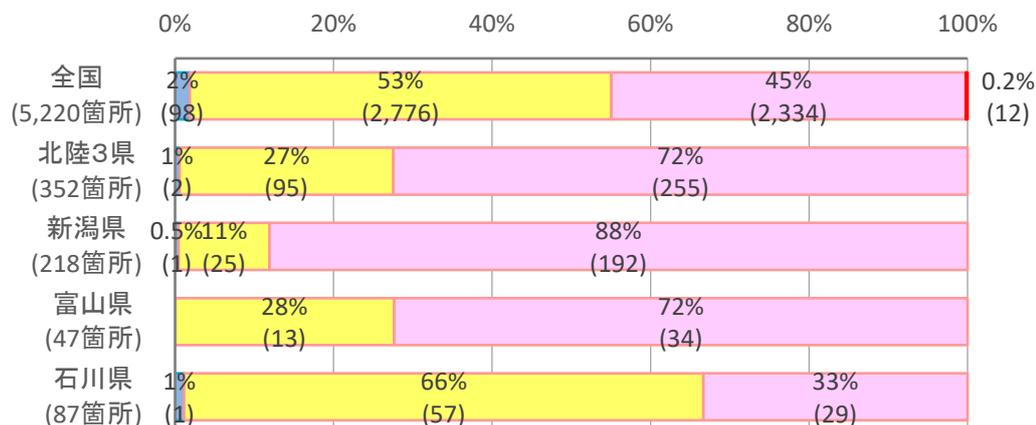


※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

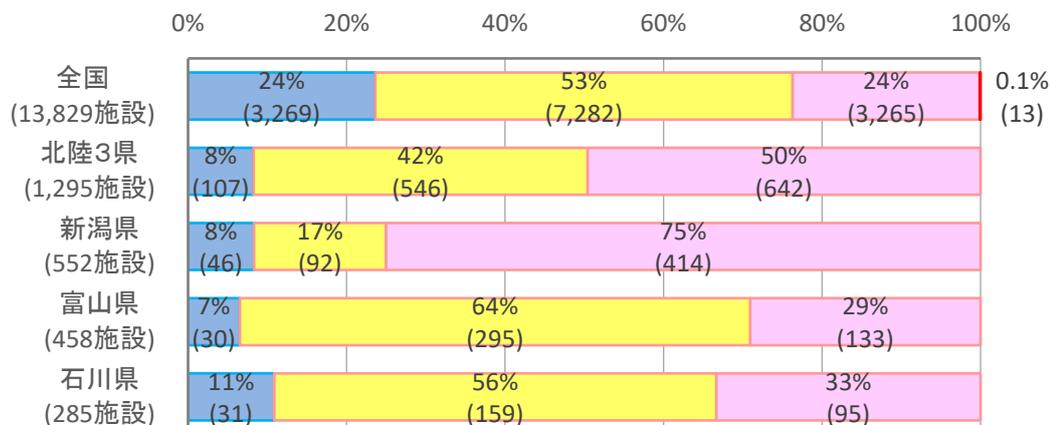
○ 橋梁の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



○ トンネルの判定区分の割合（都道府県・政令市等）



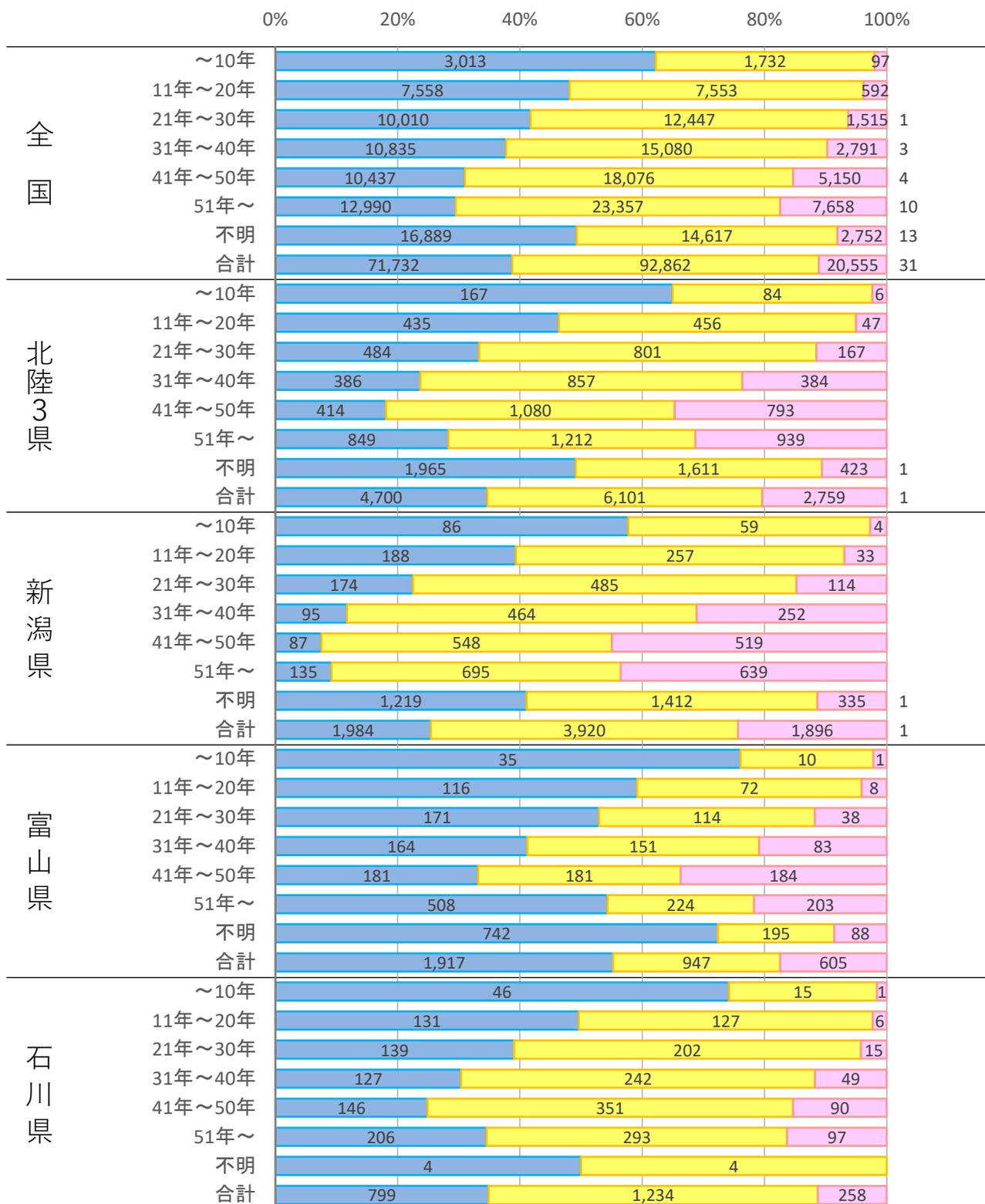
○ 道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

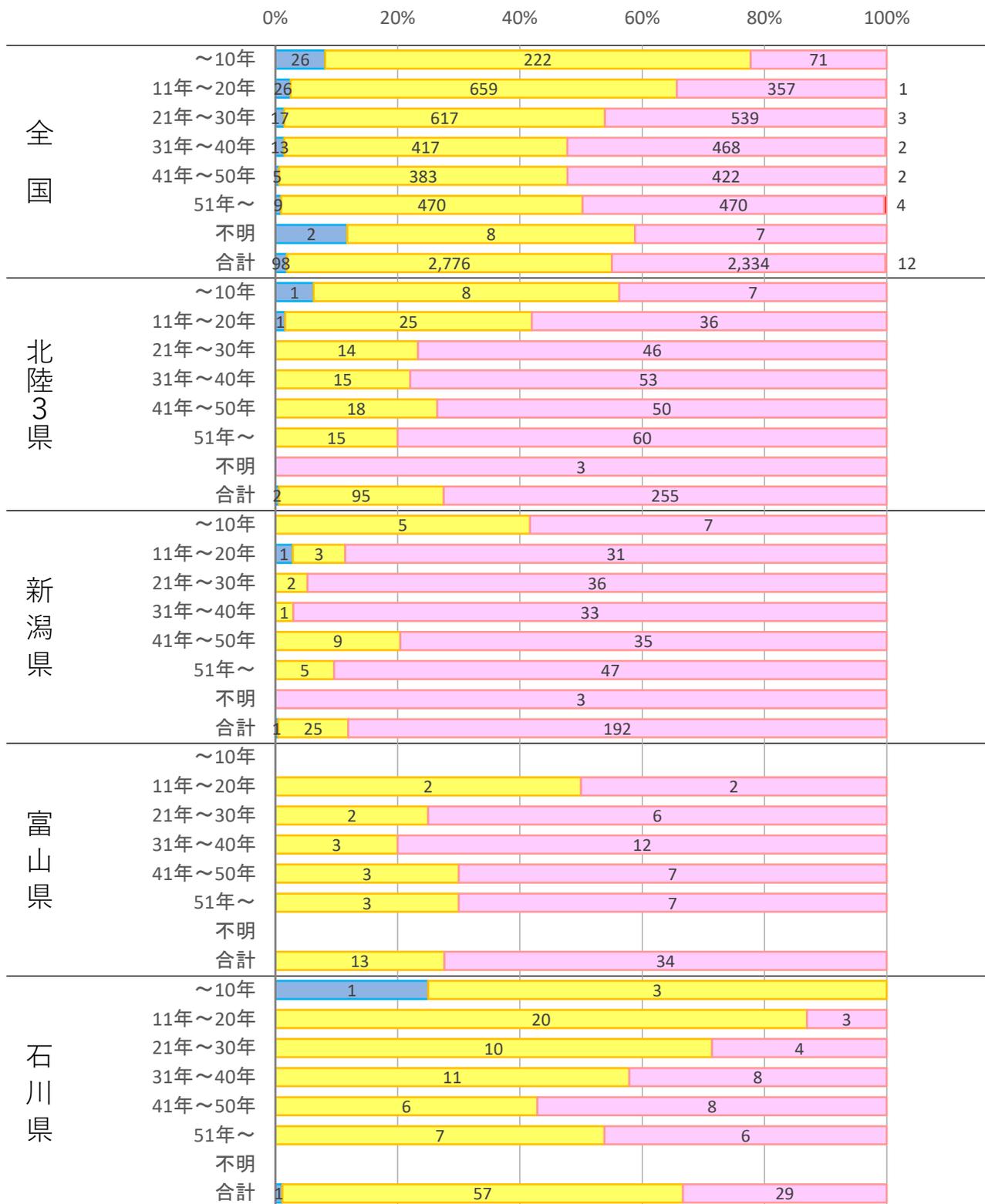
○ 橋梁の判定区分と建設経過年数（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

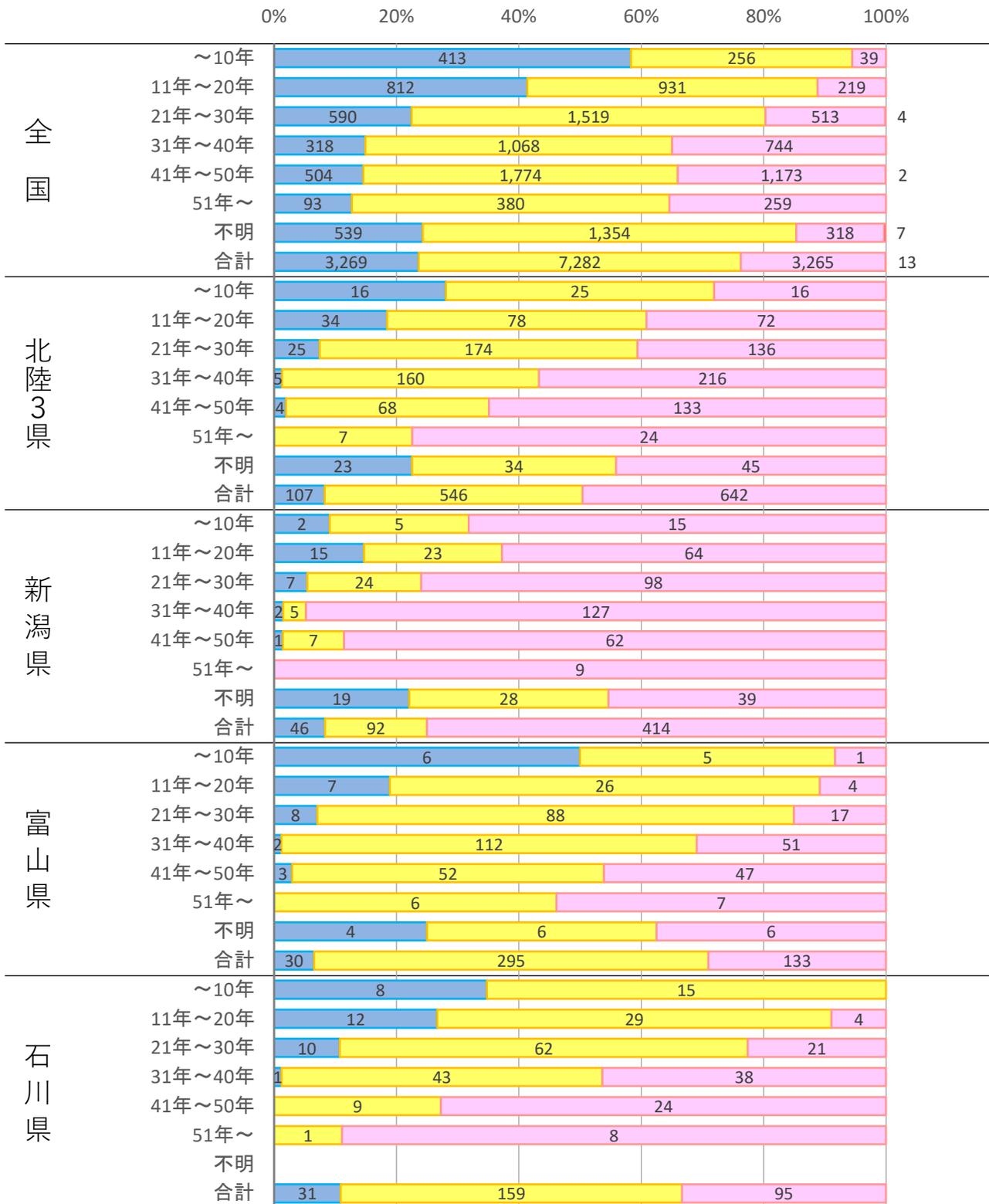
○ トンネルの判定区分と建設経過年数（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

○ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

5) 市町村

- 1巡目（平成26～30年度）の点検は概ね完了し、点検実施率は、橋梁99.9%、トンネル88.5%、道路附属物等98.1%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ46%、Ⅱ41%、Ⅲ14%、Ⅳ0.1%、トンネル：Ⅱ38%、Ⅲ56%、Ⅳ6%、道路附属物等：Ⅰ8%、Ⅱ62%、Ⅲ30%、Ⅳ1%です。

○ 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率（市町村）

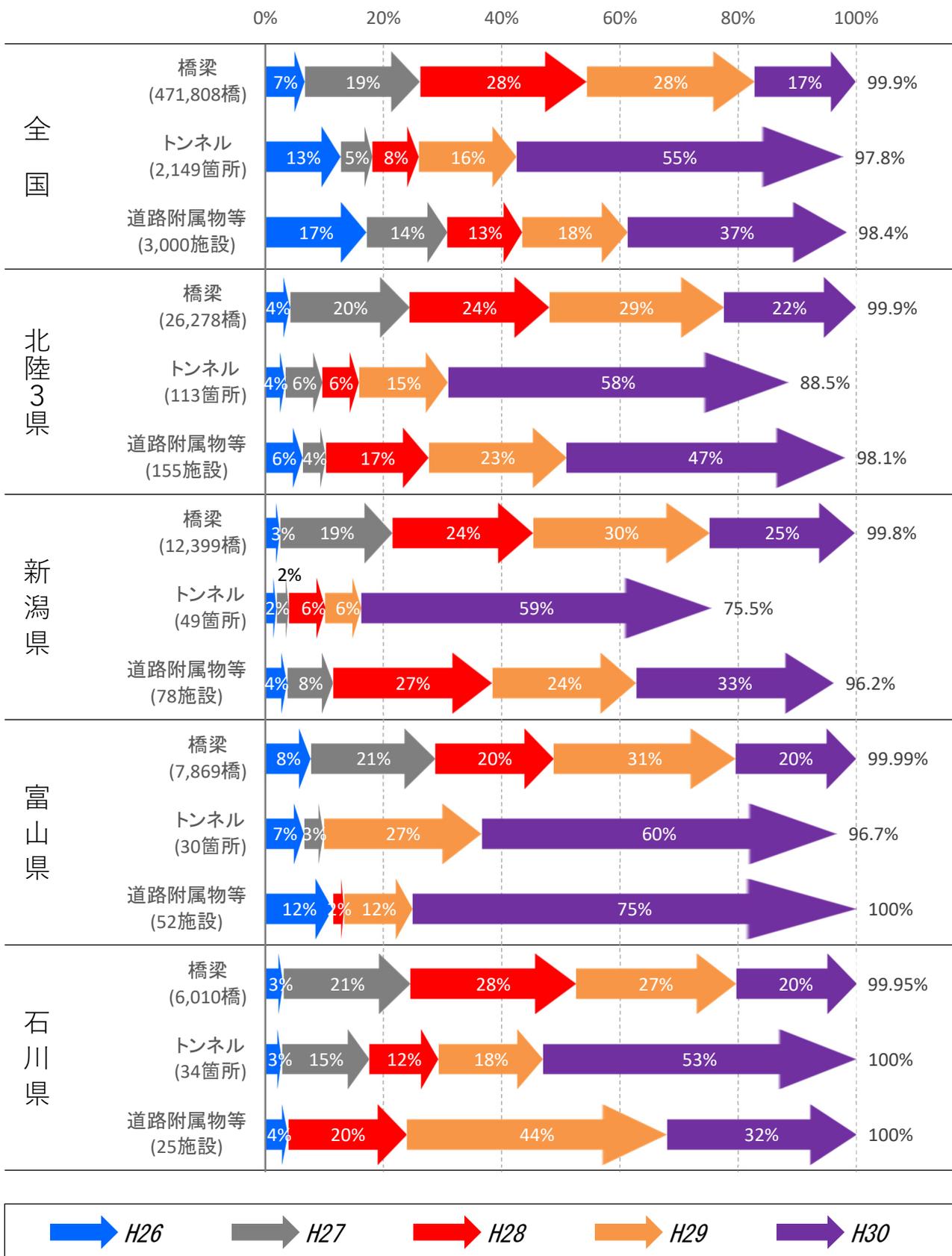
		管理施設数	うち点検対象 施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
全国	橋梁	474,262	471,808	471,189	99.9%
	トンネル	2,167	2,149	2,101	97.8%
	道路附属物等	3,062	3,000	2,951	98.4%
北陸3県	橋梁	26,446	26,278	26,245	99.9%
	トンネル	115	113	100	88.5%
	道路附属物等	162	155	152	98.1%
新潟県	橋梁	12,455	12,399	12,370	99.8%
	トンネル	50	49	37	75.5%
	道路附属物等	81	78	75	96.2%
富山県	橋梁	7,930	7,869	7,868	99.99%
	トンネル	30	30	29	96.7%
	道路附属物等	54	52	52	100%
石川県	橋梁	6,061	6,010	6,007	99.95%
	トンネル	35	34	34	100%
	道路附属物等	27	25	25	100%

平成31年3月末時点

※1：平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設

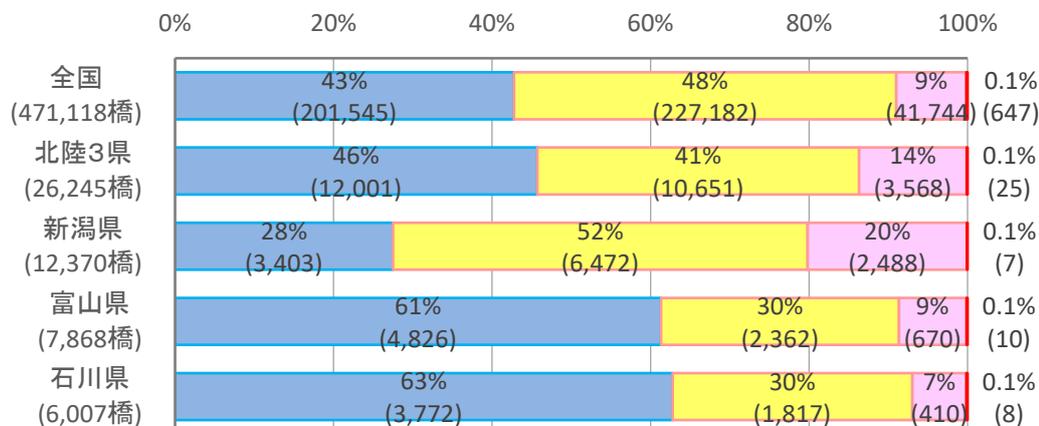
※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

○ 1 巡目（平成26～30年度）の点検実施率（市町村）



※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

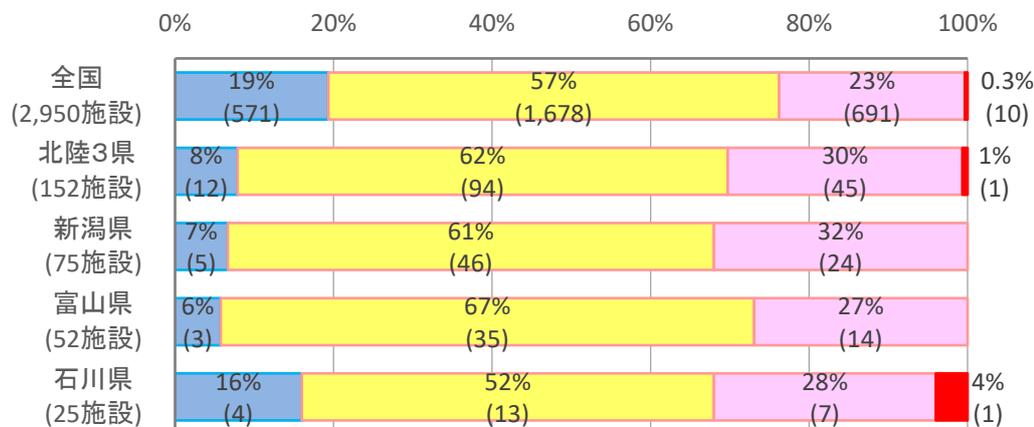
○ 橋梁の判定区分の割合（市町村）



○ トンネルの判定区分の割合（市町村）



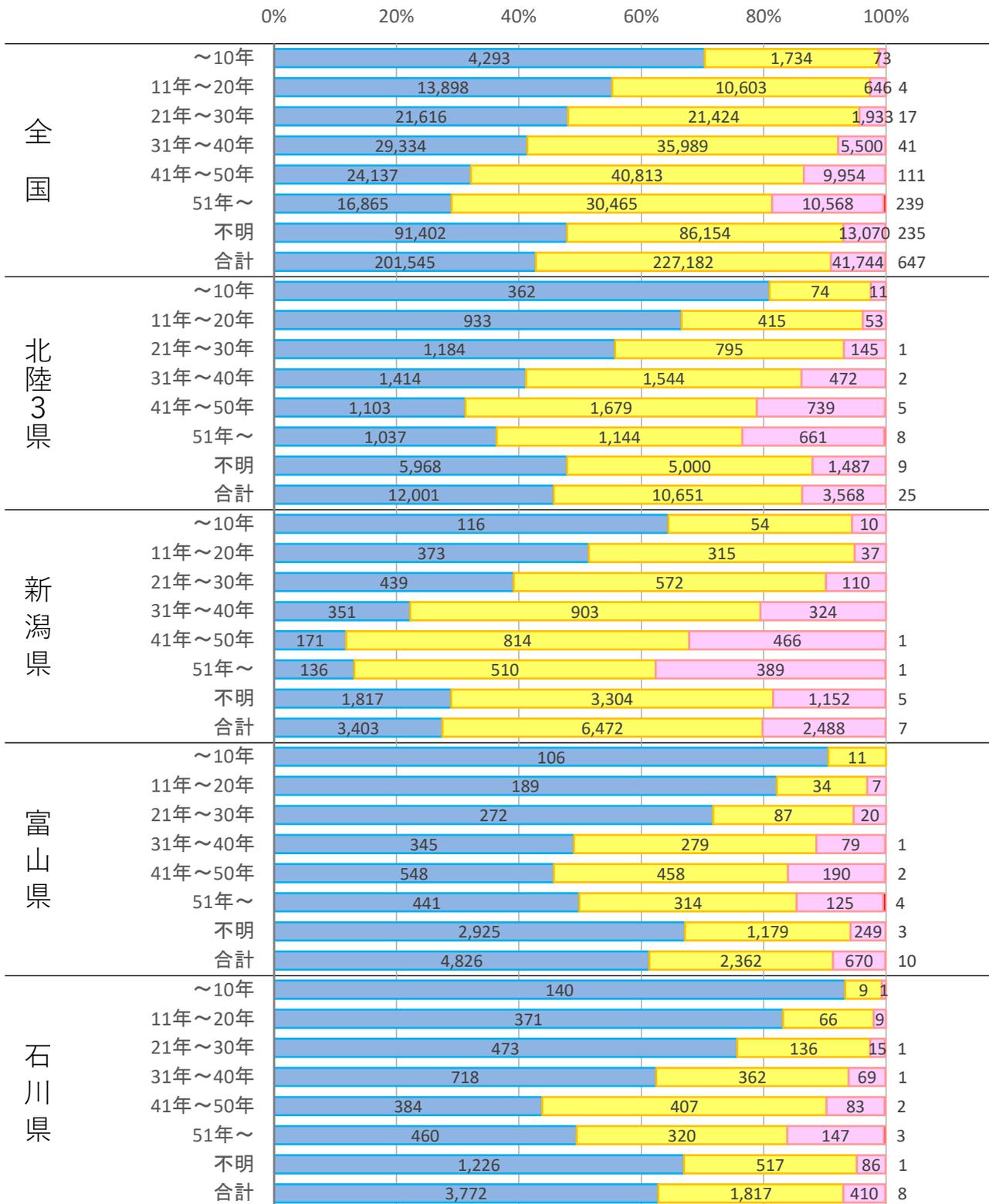
○ 道路附属物等の判定区分の割合（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

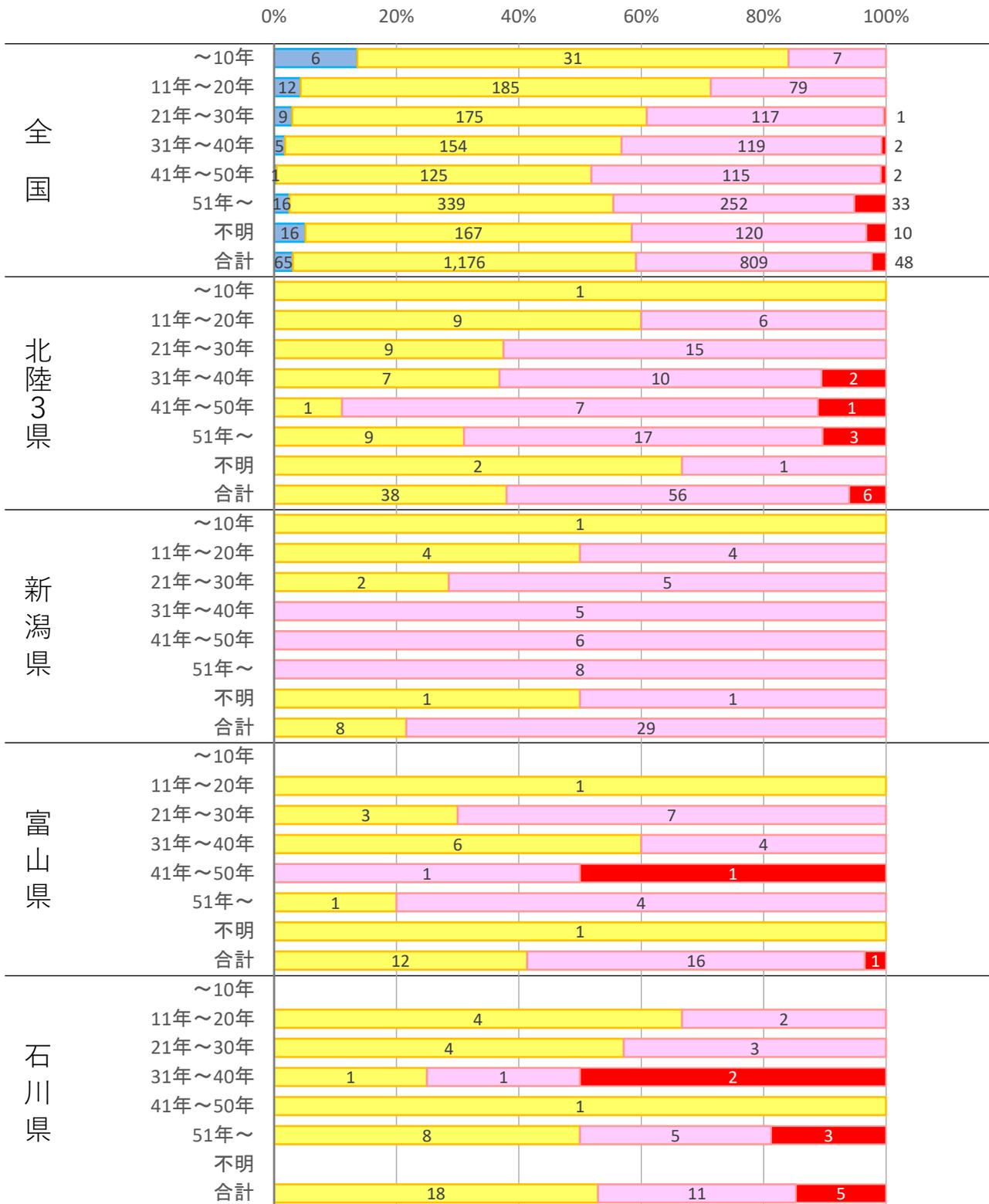
○ 橋梁の判定区分と建設経過年数（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

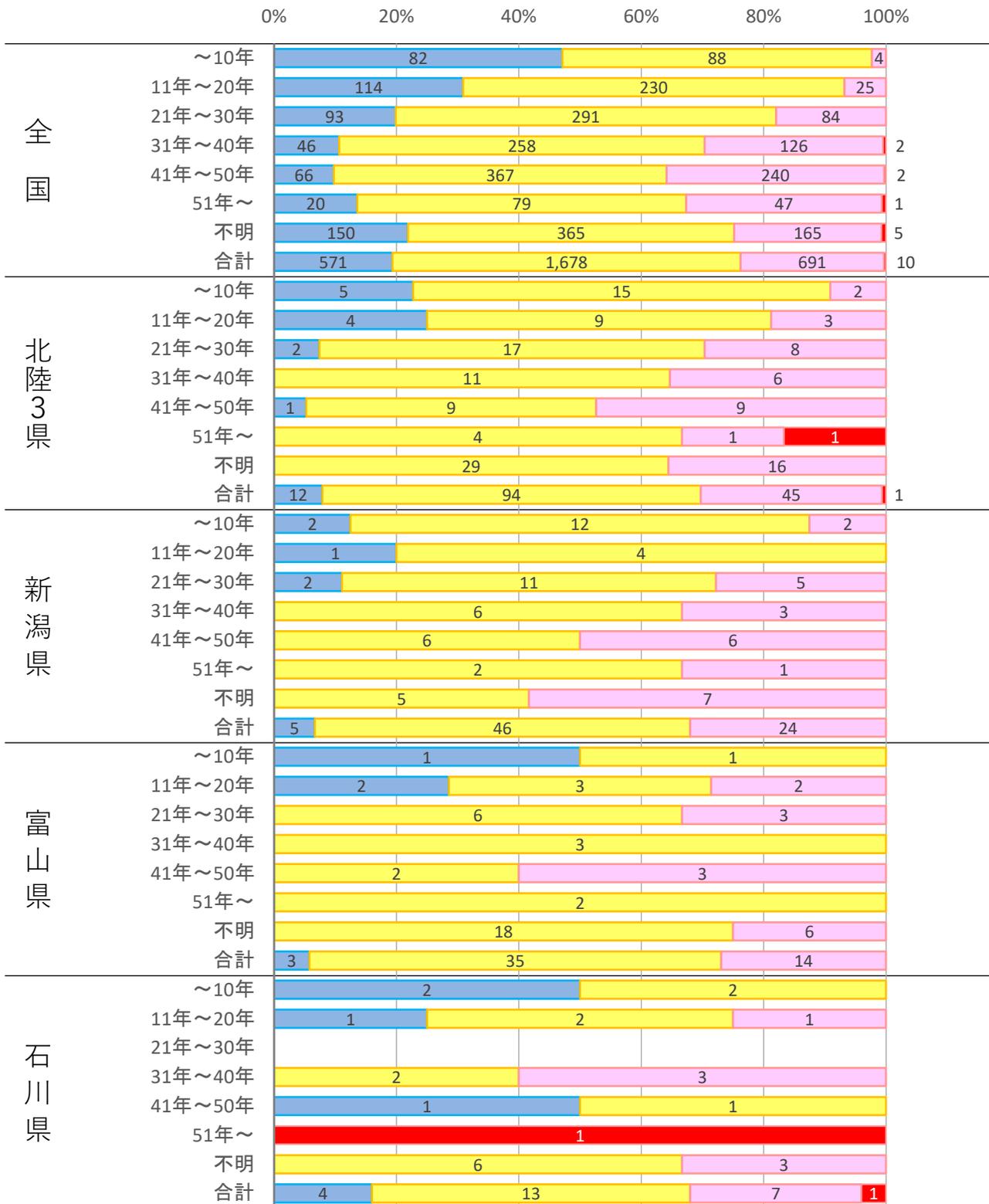
○ トンネルの判定区分と建設経過年数（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

○ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等

- 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋100%（663橋）、跨線橋100%（418橋）、緊急輸送道路を構成する橋梁99.7%（9,545橋）となりました。
- 判定区分の割合は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋：Ⅰ20%、Ⅱ62%、Ⅲ18%、跨線橋：Ⅰ12%、Ⅱ49%、Ⅲ39%、緊急輸送道路を構成する橋梁：Ⅰ39%、Ⅱ47%、Ⅲ14%です。

○ 1巡目（平成26～30年度）の点検実施率（全道路管理者合計）

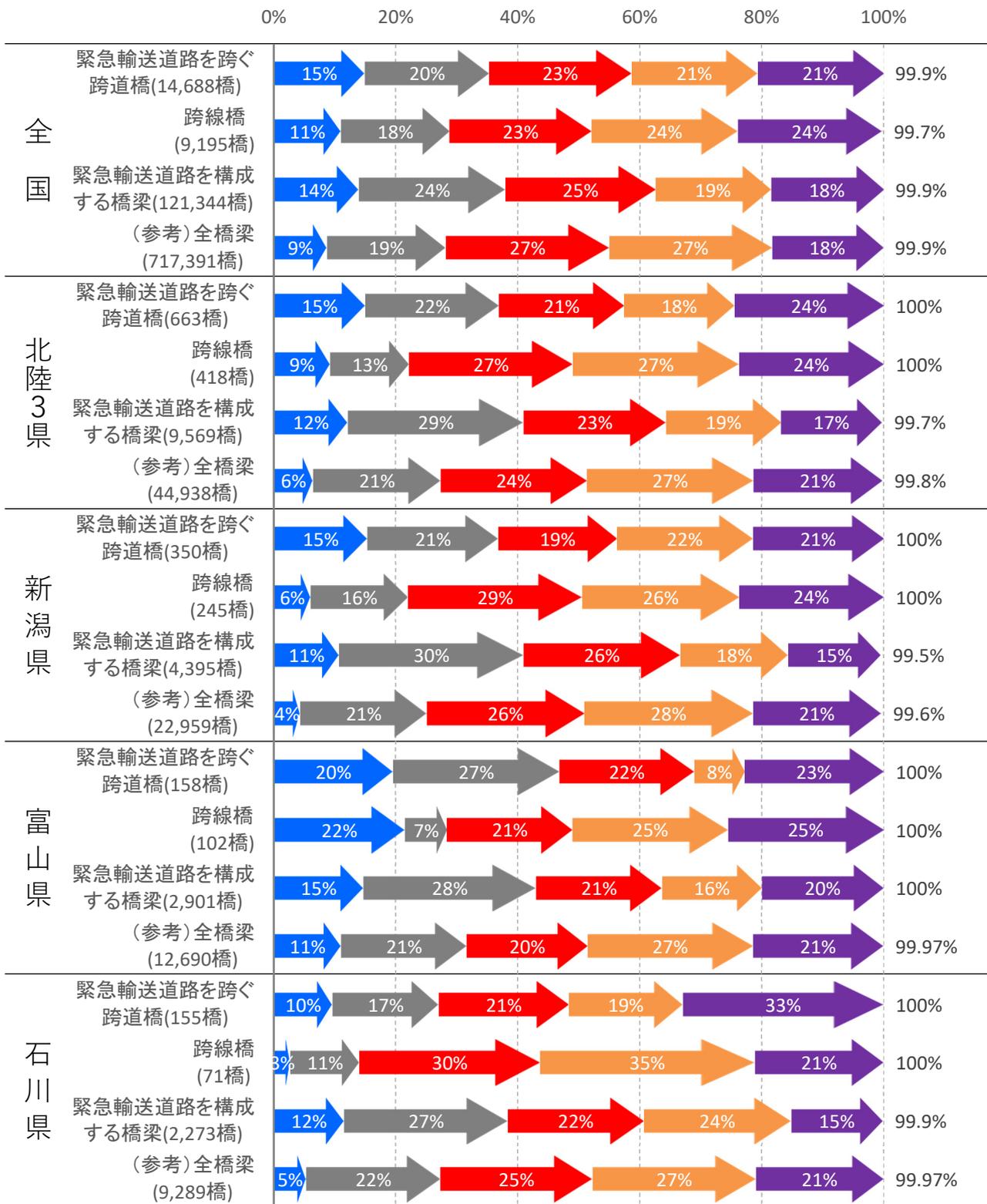
		管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
全国	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	15,239	14,688	14,677	99.9%
	跨線橋	9,423	9,195	9,165	99.7%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	123,638	121,344	121,270	99.9%
	(参考)全橋梁	722,942	717,391	716,557	99.9%
北陸3県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	678	663	663	100%
	跨線橋	431	418	418	100%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	9,697	9,569	9,545	99.7%
	(参考)全橋梁	45,285	44,938	44,836	99.8%
新潟県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	353	350	350	100%
	跨線橋	249	245	245	100%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	4,460	4,395	4,374	99.5%
	(参考)全橋梁	23,115	22,959	22,864	99.6%
富山県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	162	158	158	100%
	跨線橋	108	102	102	100%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	2,921	2,901	2,901	100%
	(参考)全橋梁	12,775	12,690	12,686	99.97%
石川県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	163	155	155	100%
	跨線橋	74	71	71	100%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	2,316	2,273	2,270	99.9%
	(参考)全橋梁	9,395	9,289	9,286	99.97%

平成31年3月末時点

※1：平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設

※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

○ 1 巡目（平成26～30年度）の点検実施率（全道路管理者合計）



➡ H26
 ➡ H27
 ➡ H28
 ➡ H29
 ➡ H30

※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検実施状況（管理者別）

全国

管理者	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	2,075	99.95% (2,074)	1,669	100% (1,669)	30,961	99.997% (30,960)
高速道路会社	5,034	100% (5,034)	1,044	100% (1,044)	23,060	100% (23,060)
都道府県・ 政令市等	3,248	99.8% (3,241)	3,417	99.9% (3,412)	64,023	99.9% (63,963)
市町村	4,331	99.9% (4,328)	3,065	99% (3,040)	3,300	99.6% (3,287)
合計	14,688	99.9% (14,677)	9,195	99.7% (9,165)	121,344	99.9% (121,270)

北陸3県

管理者	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	142	100% (142)	84	100% (84)	3,057	100% (3,057)
高速道路会社	284	100% (284)	56	100% (56)	1,742	100% (1,742)
都道府県・ 政令市等	90	100% (90)	188	100% (188)	4,454	99.5% (4,433)
市町村	147	100% (147)	90	100% (90)	316	99% (313)
合計	663	100% (663)	418	100% (418)	9,569	99.7% (9,545)

新潟県

管理者	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	66	100% (66)	52	100% (52)	1,435	100% (1,435)
高速道路会社	186	100% (186)	35	100% (35)	1,082	100% (1,082)
都道府県・ 政令市等	22	100% (22)	107	100% (107)	1,871	99% (1,850)
市町村	76	100% (76)	51	100% (51)	7	100% (7)
合計	350	100% (350)	245	100% (245)	4,395	99.5% (4,374)

富山県

管理者	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	20	100% (20)	19	100% (19)	842	100% (842)
高速道路会社	76	100% (76)	17	100% (17)	477	100% (477)
都道府県・ 政令市等	32	100% (32)	50	100% (50)	1,408	100% (1,408)
市町村	30	100% (30)	16	100% (16)	174	100% (174)
合計	158	100% (158)	102	100% (102)	2,901	100% (2,901)

石川県

管理者	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数	施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	56	100% (56)	13	100% (13)	780	100% (780)
高速道路会社	22	100% (22)	4	100% (4)	183	100% (183)
都道府県・ 政令市等	36	100% (36)	31	100% (31)	1,175	100% (1,175)
市町村	41	100% (41)	23	100% (23)	135	98% (132)
合計	155	100% (155)	71	100% (71)	2,273	99.9% (2,270)

平成31年3月末時点

※平成31年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などの施設を除く

○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果 《上段：判定区分割合 下段：橋梁数》

全国

判定区分	H26～30 点検 実施橋梁数※	判定区分Ⅰ (健全)	判定区分Ⅱ (予防保全段階)	判定区分Ⅲ (早期措置段階)	判定区分Ⅳ (緊急措置段階)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	14,674	21% (3,148)	66% (9,628)	13% (1,898)	0% (0)
跨線橋	9,161	19% (1,708)	59% (5,386)	23% (2,062)	0.1% (5)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	121,259	35% (42,299)	54% (65,352)	11% (13,600)	0.01% (8)
(参考)全橋梁	716,466	41% (296,909)	49% (350,506)	10% (68,369)	0.1% (682)

北陸 3 県

判定区分	H26～30 点検 実施橋梁数※	判定区分Ⅰ (健全)	判定区分Ⅱ (予防保全段階)	判定区分Ⅲ (早期措置段階)	判定区分Ⅳ (緊急措置段階)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	663	20% (132)	62% (414)	18% (117)	0% (0)
跨線橋	418	12% (52)	49% (205)	39% (161)	0% (0)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	9,544	39% (3,688)	47% (4,474)	14% (1,382)	0% (0)
(参考)全橋梁	44,835	42% (19,004)	43% (19,135)	15% (6,670)	0.1% (26)

新潟県

判定区分	H26～30 点検 実施橋梁数※	判定区分Ⅰ (健全)	判定区分Ⅱ (予防保全段階)	判定区分Ⅲ (早期措置段階)	判定区分Ⅳ (緊急措置段階)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	350	12% (41)	71% (247)	18% (62)	0% (0)
跨線橋	245	6% (14)	52% (127)	42% (104)	0% (0)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	4,373	27% (1,197)	54% (2,358)	19% (818)	0% (0)
(参考)全橋梁	22,863	28% (6,445)	52% (11,855)	20% (4,555)	0.03% (8)

富山県

判定区分	H26～30 点検 実施橋梁数※	判定区分Ⅰ (健全)	判定区分Ⅱ (予防保全段階)	判定区分Ⅲ (早期措置段階)	判定区分Ⅳ (緊急措置段階)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	158	21% (33)	54% (86)	25% (39)	0% (0)
跨線橋	102	17% (17)	44% (45)	39% (40)	0% (0)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	2,901	52% (1,496)	36% (1,038)	13% (367)	0% (0)
(参考)全橋梁	12,686	58% (7,395)	31% (3,884)	11% (1,397)	0.1% (10)

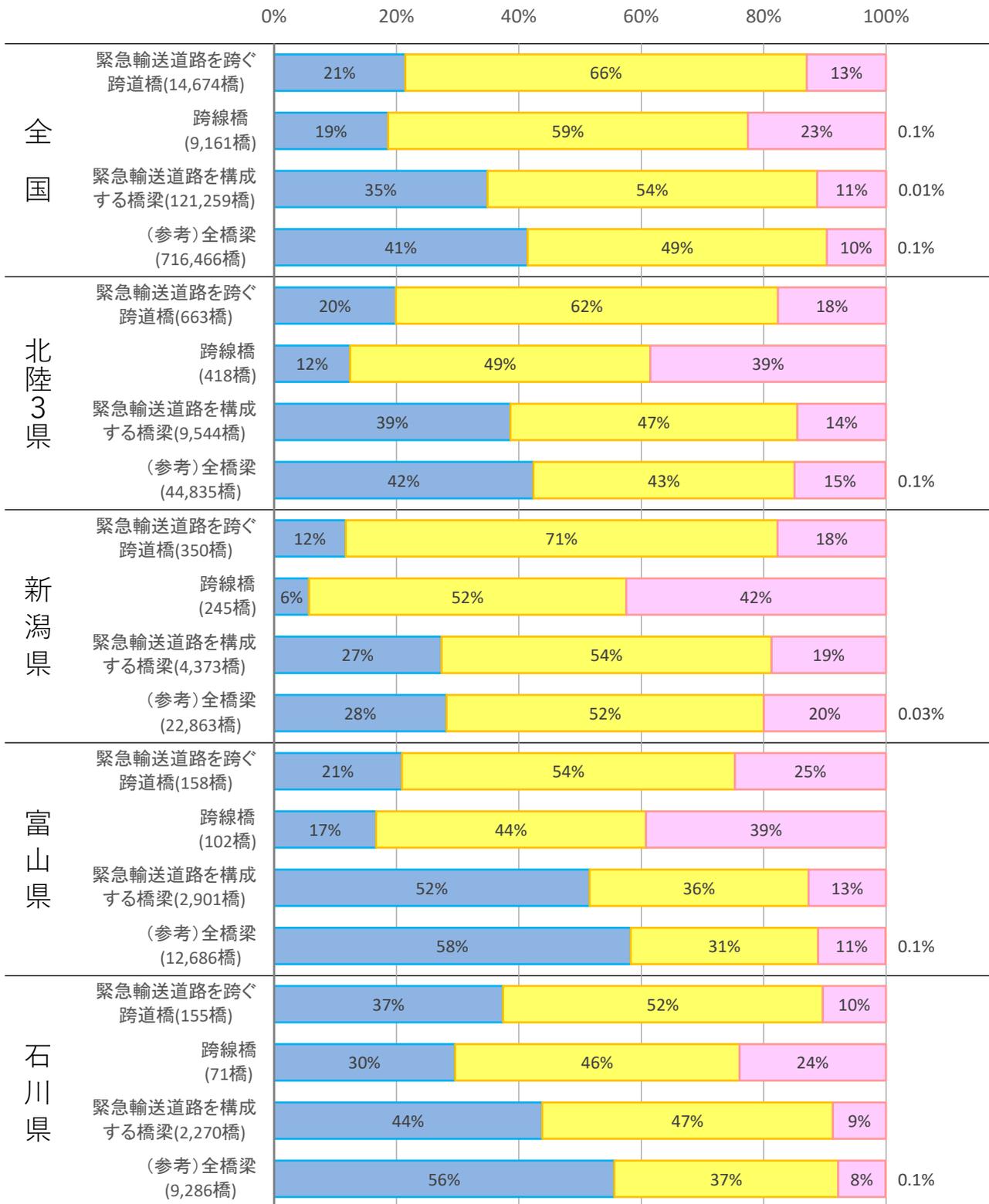
石川県

判定区分	H26～30 点検 実施橋梁数※	判定区分Ⅰ (健全)	判定区分Ⅱ (予防保全段階)	判定区分Ⅲ (早期措置段階)	判定区分Ⅳ (緊急措置段階)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	155	37% (58)	52% (81)	10% (16)	0% (0)
跨線橋	71	30% (21)	46% (33)	24% (17)	0% (0)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	2,270	44% (995)	47% (1,078)	9% (197)	0% (0)
(参考)全橋梁	9,286	56% (5,164)	37% (3,396)	8% (718)	0.1% (8)

平成31年3月末時点

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

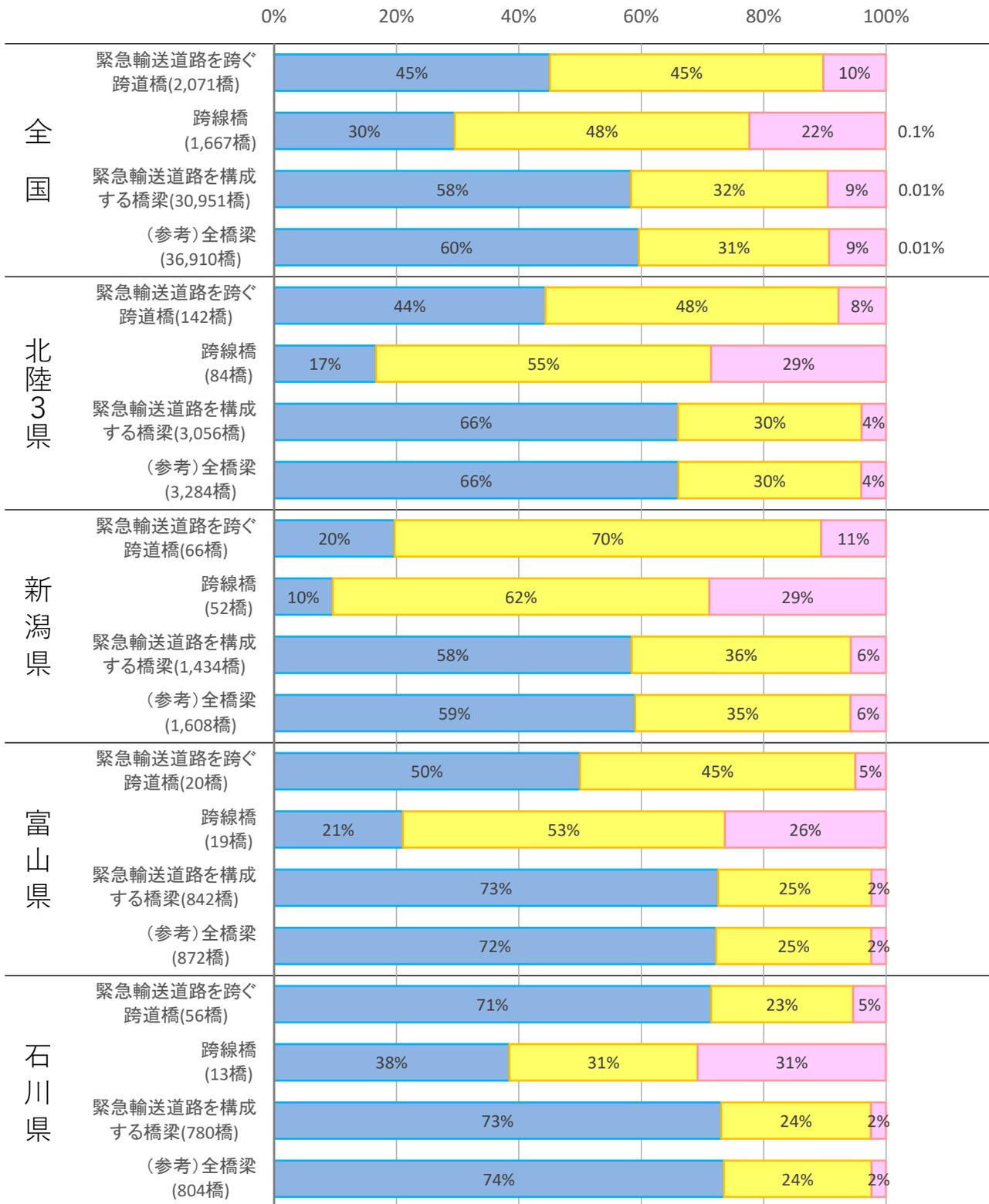
○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

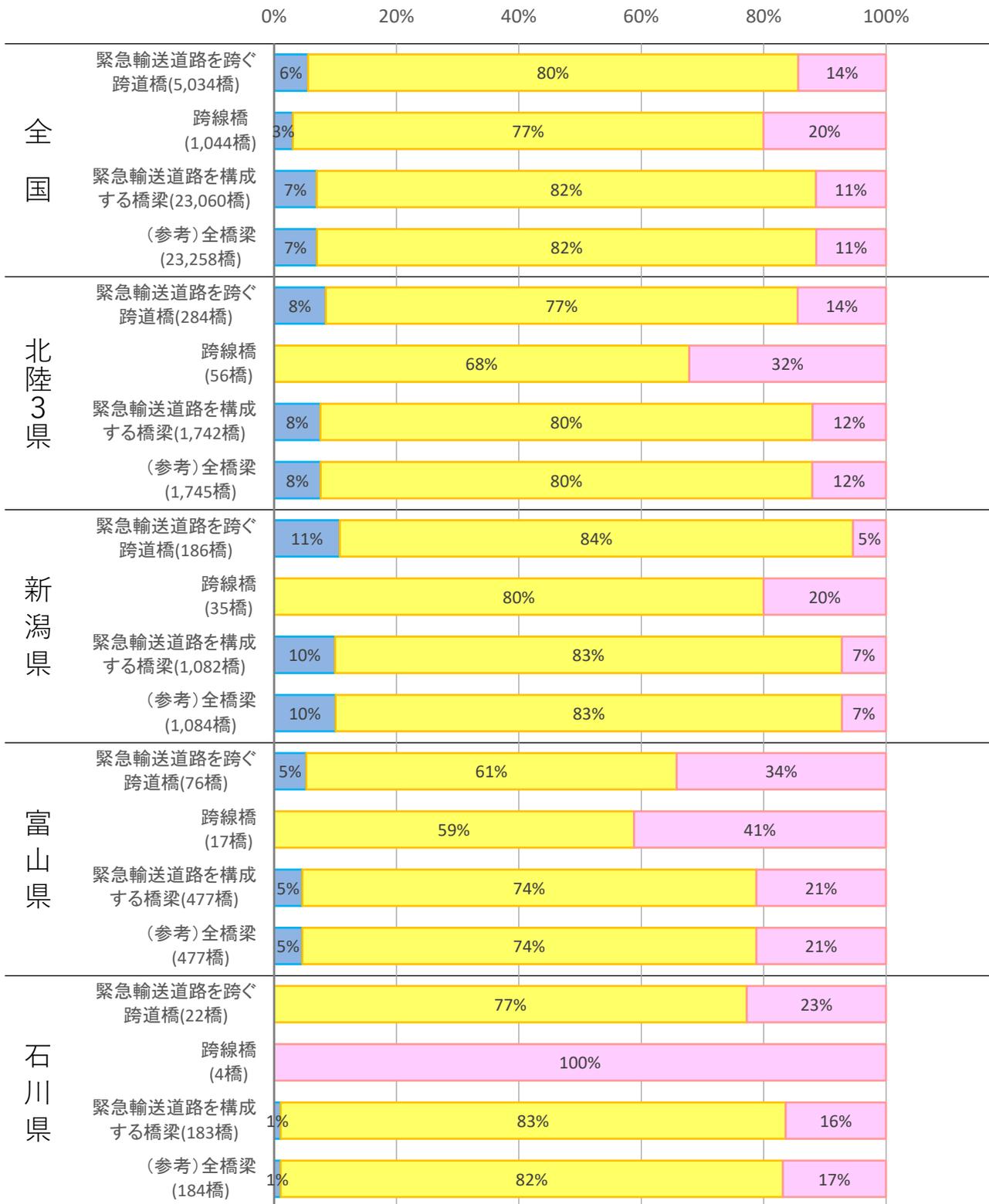
○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

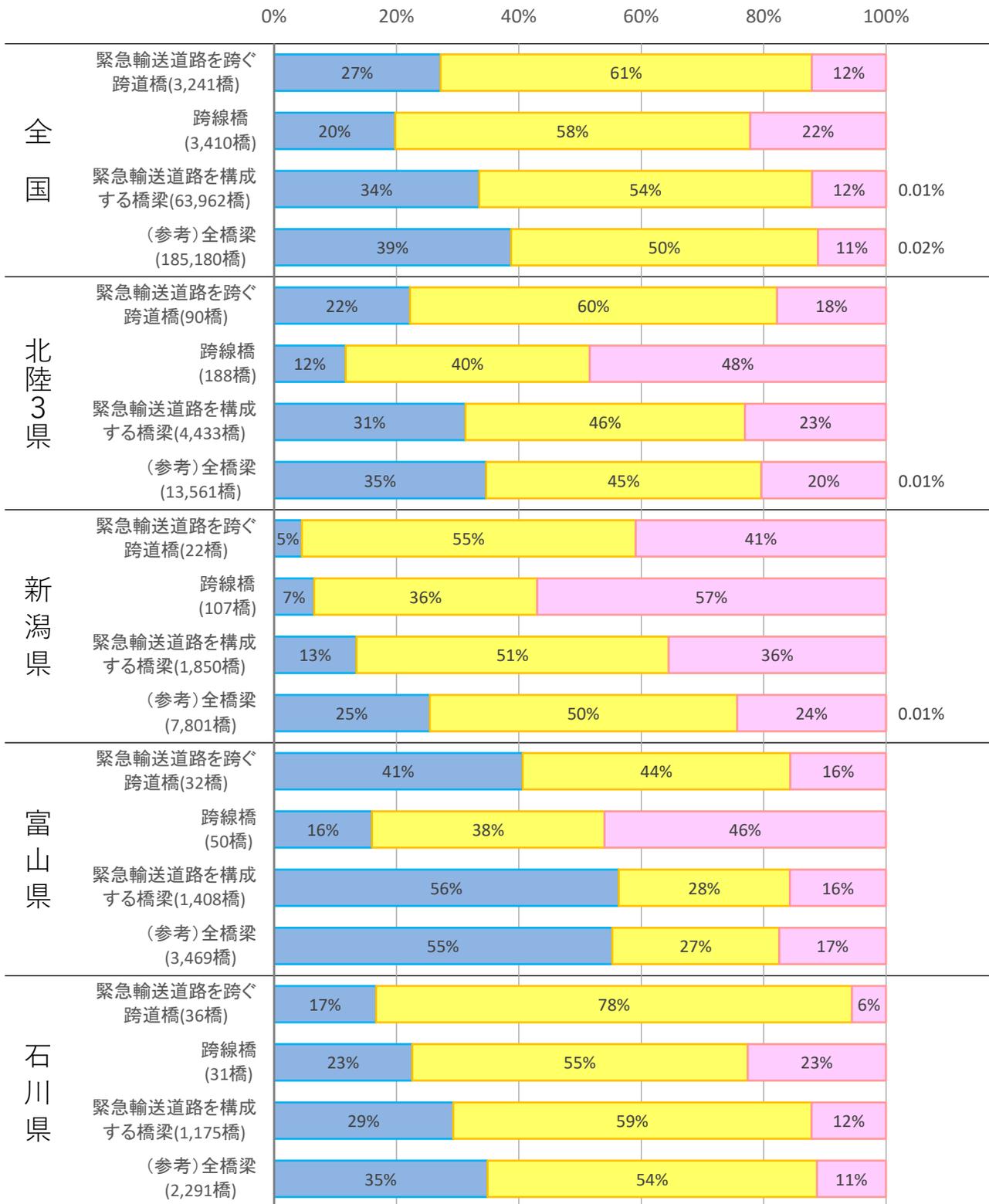
○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

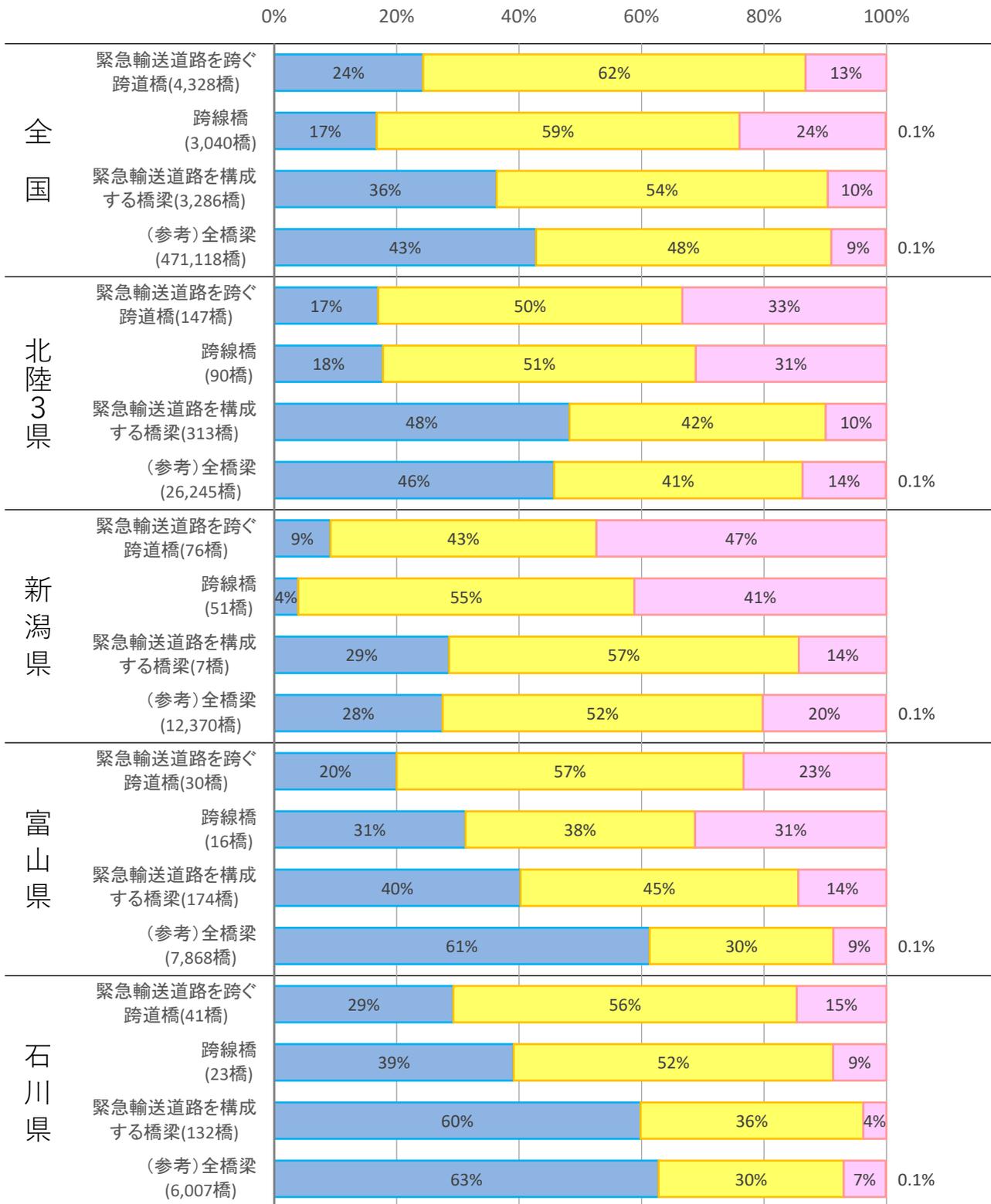
○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

○ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

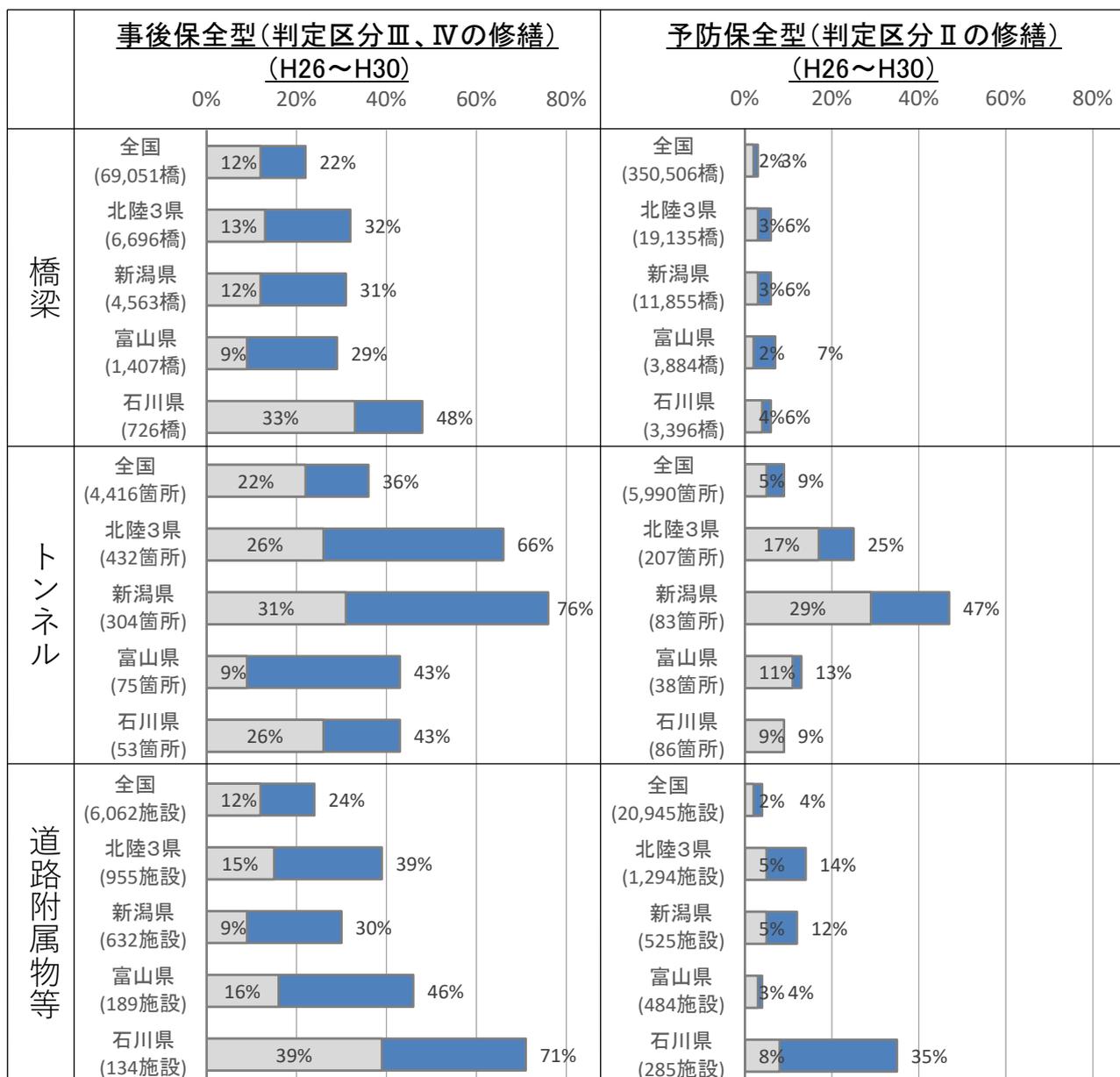
※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

3. 修繕・措置の状況

(1) 判定区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの施設の修繕実施状況（1巡目点検施設）

- メンテナンスのセカンドステージの着実な実施に向け、事後保全型の修繕（判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕）、予防保全型の修繕（判定区分Ⅱの修繕）の実施状況を整理しました。
- 事後保全型の修繕に比べ、予防保全型の修繕はまだ進んでいない状況です。

○ 事後保全型、予防保全型の修繕着手率、完了率



※平成26～30年度に判定区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳと診断された施設を分母とした以下の割合（令和元年9月末時点）

修繕完了率	修繕工事を完了した割合	修繕着手率	修繕（設計を含む）に着手した割合
-------	-------------	-------	------------------

○ 管理者別の修繕実施状況（1巡目点検施設）

① 橋梁

- 国土交通省の管理施設では、事後保全型の修繕（判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕）に92%着手し、予防保全型の修繕（判定区分Ⅱの修繕）に45%着手しています。
- 地方公共団体の管理施設では、事後保全型の修繕に31%着手し、予防保全型の修繕は3%着手しています。
- また、判定区分Ⅲ、Ⅳのうち、修繕が完了しているものは13~27%です。

1) 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕実施状況

		修繕が必要な施設数 A	修繕に着手済の施設数 B	修繕に着工済の施設数 C	修繕完了済の施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	3,427	1,811	834	617	18%	53%				
	高速道路会社	2,647	846	532	457	17%	32%				
	地方公共団体計	62,977	12,700	8,391	7,430	12%	20%				
	都道府県・政令市等	20,586	4,889	3,148	2,684	13%	24%				
	市町村	42,391	7,811	5,243	4,746	11%	18%				
北陸3県	国土交通省	133	122	75	36	27%	92%				
	高速道路会社	210	71	63	31	15%	34%				
	地方公共団体計	6,353	1,962	1,303	833	13%	31%				
	都道府県・政令市等	2,760	1,280	836	497	18%	46%				
	市町村	3,593	682	467	336	9%	19%				
新潟県	国土交通省	93	88	52	22	24%	95%				
	高速道路会社	78	51	43	11	14%	65%				
	地方公共団体計	4,392	1,253	753	504	11%	29%				
	都道府県・政令市等	1,897	883	484	291	15%	47%				
	市町村	2,495	370	269	213	9%	15%				
富山県	国土交通省	21	15	11	2	10%	71%				
	高速道路会社	101	15	15	15	15%	15%				
	地方公共団体計	1,285	385	279	109	8%	30%				
	都道府県・政令市等	605	213	176	55	9%	35%				
	市町村	680	172	103	54	8%	25%				
石川県	国土交通省	19	19	12	12		63%				100%
	高速道路会社	31	5	5	5	16%	16%				
	地方公共団体計	676	324	271	220	33%	48%				
	都道府県・政令市等	258	184	176	151		59%				71%
	市町村	418	140	95	69	17%	33%				

令和元年9月末時点

修繕完了率
 修繕工事を完了した割合
 修繕着手率
 修繕（設計を含む）に着手した割合

2) 判定区分Ⅱの修繕実施状況

		修繕が 必要な 施設数 A	修繕に 着手済 の 施設数 B	修繕に 着工済 の 施設数 C	修繕 完了済 の 施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	11,483	2,974	1,080	918	8%	26%				
	高速道路会社	18,979	402	337	255	1%	2%				
	地方公共団体計	320,044	6,812	5,261	4,955	2%	2%				
	都道府県・政令市等	92,862	1,489	1,157	1,041	1%	2%				
	市町村	227,182	5,323	4,104	3,914	2%	2%				
北陸3県	国土交通省	981	443	166	137	14%	45%				
	高速道路会社	1,402	264	185	101	7%	19%				
	地方公共団体計	16,752	527	434	310	2%	3%				
	都道府県・政令市等	6,101	278	243	147	2%	5%				
	市町村	10,651	249	191	163	2%	2%				
新潟県	国土交通省	566	329	125	92	16%	58%				
	高速道路会社	897	263	185	101	11%	29%				
	地方公共団体計	10,392	153	141	133	1%	1%				
	都道府県・政令市等	3,920	51	49	46	1%	1%				
	市町村	6,472	102	92	87	1%	2%				
富山県	国土交通省	221	43	10	9	4%	19%				
	高速道路会社	354	1	0	0	0%	0%				
	地方公共団体計	3,309	233	185	76	2%	7%				
	都道府県・政令市等	947	164	133	43	5%	17%				
	市町村	2,362	69	52	33	1%	3%				
石川県	国土交通省	194	71	31	36	19%	37%				
	高速道路会社	151	0	0	0	0%	0%				
	地方公共団体計	3,051	141	108	101	3%	5%				
	都道府県・政令市等	1,234	63	61	58	5%	5%				
	市町村	1,817	78	47	43	2%	4%				

令和元年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

②トンネル

- 国土交通省の管理施設では、事後保全型の修繕（判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕）に71%着手し、予防保全型の修繕（判定区分Ⅱの修繕）に72%着手しています。
- 地方公共団体の管理施設では、事後保全型の修繕に60%着手し、予防保全型の修繕は5%着手しています。
- また、判定区分Ⅲ、Ⅳのうち、修繕が完了しているものは20%～51%です。

1) 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕実施状況

		修繕が必要な施設数 A	修繕に着手済の施設数 B	修繕に着工済の施設数 C	修繕完了済の施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	521	335	227	194	37% 64%					
	高速道路会社	692	495	373	350	51% 72%					
	地方公共団体計	3,203	774	563	429	13% 24%					
	都道府県・政令市等	2,346	620	454	341	15% 26%					
	市町村	857	154	109	88	10% 18%					
北陸3県	国土交通省	58	41	24	21	36% 71%					
	高速道路会社	57	54	54	29	51% 95%					
	地方公共団体計	317	190	148	64	20% 60%					
	都道府県・政令市等	255	177	139	57	22% 69%					
	市町村	62	13	9	7	11% 21%					
新潟県	国土交通省	30	24	15	12	40% 80%					
	高速道路会社	53	50	50	25	47% 94%					
	地方公共団体計	221	156	128	56	25% 71%					
	都道府県・政令市等	192	147	120	50	26% 77%					
	市町村	29	9	8	6	21% 31%					
富山県	国土交通省	20	9	1	1	5% 45%					
	高速道路会社	4	4	4	4	100% 100%					
	地方公共団体計	51	19	7	2	4% 37%					
	都道府県・政令市等	34	17	6	1	3% 50%					
	市町村	17	2	1	1	6% 12%					
石川県	国土交通省	8	8	8	8	100% 100%					
	高速道路会社	0	0	0	0	0%					
	地方公共団体計	45	15	13	6	13% 33%					
	都道府県・政令市等	29	13	13	6	21% 45%					
	市町村	16	2	0	0	0% 13%					

令和元年9月末時点

修繕完了率 修繕工事を完了した割合 修繕着手率 修繕（設計を含む）に着手した割合

2) 判定区分Ⅱの修繕実施状況

		修繕が必要な 施設数 A	修繕に 着手済 の 施設数 B	修繕に 着工済 の 施設数 C	修繕 完了済 の 施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	932	267	159	139	15%	29%				
	高速道路会社	1,106	48	39	30	3%	4%				
	地方公共団体計	3,952	220	172	149	4%	6%				
	都道府県・政令市等	2,776	147	119	96	3%	5%				
	市町村	1,176	73	53	53	5%	6%				
北陸3県	国土交通省	25	18	9	9	36%	72%				
	高速道路会社	49	27	27	21	43%	55%				
	地方公共団体計	133	7	6	6	3%	5%				
	都道府県・政令市等	95	5	5	5	5%	5%				
	市町村	38	2	1	1	3%	5%				
新潟県	国土交通省	15	13	4	4	27%	87%				
	高速道路会社	35	23	23	17	49%	66%				
	地方公共団体計	33	3	3	3	9%	9%				
	都道府県・政令市等	25	2	2	2	8%	8%				
	市町村	8	1	1	1	13%	13%				
富山県	国土交通省	3	0	0	0	0%	0%				
	高速道路会社	10	4	4	4	40%	40%				
	地方公共団体計	25	1	0	0	0%	4%				
	都道府県・政令市等	13	0	0	0	0%	0%				
	市町村	12	1	0	0	0%	8%				
石川県	国土交通省	7	5	5	5	71%	71%				
	高速道路会社	4	0	0	0	0%	0%				
	地方公共団体計	75	3	3	3	4%	4%				
	都道府県・政令市等	57	3	3	3	5%	5%				
	市町村	18	0	0	0	0%	0%				

令和元年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

③道路附属物等

- 国土交通省の管理施設では、事後保全型の修繕（判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕）に51%着手し、予防保全型の修繕（判定区分Ⅱの修繕）に22%着手しています。
- 地方公共団体の管理施設では、事後保全型の修繕に34%着手し、予防保全型の修繕は11%着手しています。
- また、判定区分Ⅲ、Ⅳのうち、修繕が完了しているものは9%～26%です。

1) 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕実施状況

		修繕が必要な施設数 A	修繕に着手済の施設数 B	修繕に着工済の施設数 C	修繕完了済の施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	1,672	454	140	96	6%	27%				
	高速道路会社	411	252	199	183	45%	61%				
	地方公共団体計	3,979	726	510	436	11%	18%				
	都道府県・政令市等	3,278	583	401	335	10%	18%				
	市町村	701	143	109	101	14%	20%				
北陸3県	国土交通省	224	114	28	20	9%	51%				
	高速道路会社	43	23	19	11	26%	53%				
	地方公共団体計	688	233	143	110	16%	34%				
	都道府県・政令市等	642	218	134	104	16%	34%				
	市町村	46	15	9	6	13%	33%				
新潟県	国土交通省	166	76	19	13	8%	46%				
	高速道路会社	28	23	19	11	39%	82%				
	地方公共団体計	438	89	48	35	8%	20%				
	都道府県・政令市等	414	78	42	32	8%	19%				
	市町村	24	11	6	3	13%	46%				
富山県	国土交通省	27	9	2	0	0%	33%				
	高速道路会社	15	0	0	0	0%	0%				
	地方公共団体計	147	78	35	30	20%	53%				
	都道府県・政令市等	133	74	32	27	20%	56%				
	市町村	14	4	3	3	21%	29%				
石川県	国土交通省	31	29	7	7	23%	94%				
	高速道路会社	0	0	0	0	0%					
	地方公共団体計	103	66	60	45	44%	64%				
	都道府県・政令市等	95	66	60	45	47%	69%				
	市町村	8	0	0	0	0%	0%				

令和元年9月末時点

修繕完了率
 修繕工事を完了した割合
 修繕着手率
 修繕（設計を含む）に着手した割合

2) 判定区分Ⅱの修繕実施状況

		修繕が 必要な 施設数 A	修繕に 着手済 の 施設数 B	修繕に 着工済 の 施設数 C	修繕 完了済 の 施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	6,332	326	60	55	1%	5%				
	高速道路会社	5,653	79	71	70	1%	1%				
	地方公共団体計	8,960	336	278	250	3%	4%				
	都道府県・政令市等	7,282	228	192	172	2%	3%				
	市町村	1,678	108	86	78	5%	6%				
北陸3県	国土交通省	324	70	10	5	2%	22%				
	高速道路会社	330	37	31	18	5%	11%				
	地方公共団体計	640	73	71	41	6%	11%				
	都道府県・政令市等	546	61	61	31	6%	11%				
	市町村	94	12	10	10	11%	13%				
新潟県	国土交通省	173	21	9	4	2%	12%				
	高速道路会社	214	36	30	17	8%	17%				
	地方公共団体計	138	4	3	3	2%	3%				
	都道府県・政令市等	92	1	1	1	1%	1%				
	市町村	46	3	2	2	4%	7%				
富山県	国土交通省	47	3	0	0	0%	6%				
	高速道路会社	107	1	1	1	1%	1%				
	地方公共団体計	330	16	15	15	5%	5%				
	都道府県・政令市等	295	7	7	7	2%	2%				
	市町村	35	9	8	8	23%	26%				
石川県	国土交通省	104	46	1	1	1%	44%				
	高速道路会社	9	0	0	0	0%	0%				
	地方公共団体計	172	53	53	23	13%	31%				
	都道府県・政令市等	159	53	53	23	14%	33%				
	市町村	13	0	0	0	0%	0%				

令和元年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

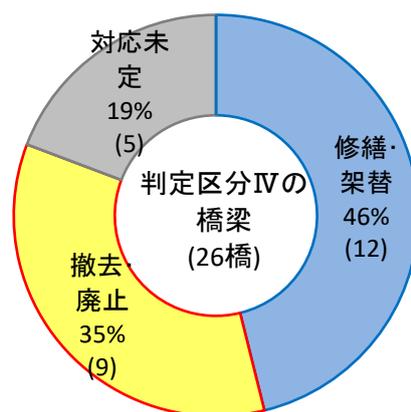
(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況（1巡目点検施設・北陸地方整備局管内）

- 平成26～30年度に判定区分Ⅳと診断された橋梁のうち、46%が修繕・架替済みもしくは修繕・架替予定、35%が撤去・廃止予定、19%が対応未定となっています。
- トンネルは100%が廃止予定、道路附属物等は33%が修繕済みもしくは修繕予定、33%が撤去・廃止予定となっています。

※Ⅳ判定の施設リストは巻末資料（3）を参照。

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況（予定含む）

管理者	計	管理中				撤去・廃止済 ※2	計
		修繕・架替	撤去・廃止	機能転換 ※1	対応未定		
国土交通省	0	0	0	0	0	0	0
都道府県・政令市等	1	0	1	0	0	0	1
市町村	25	12	8	0	5	0	25
合計	26	12 (46%)	9 (35%)	0 (0%)	5 (19%)	0 (0%)	26



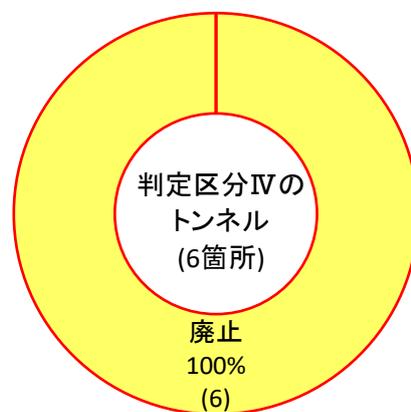
※1：機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること

※2：判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの（トンネル、道路附属物等も同様）

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし（トンネル、道路附属物等も同様）

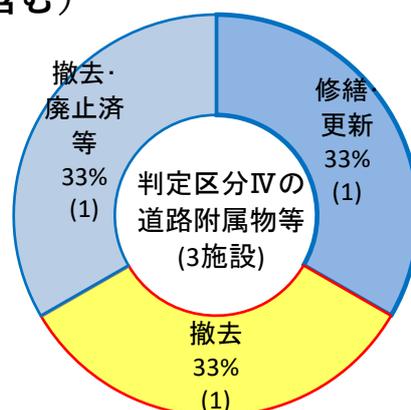
○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況（予定含む）

管理者	計	管理中			撤去・廃止済 ※2	計
		修繕	廃止	対応未定		
国土交通省	0	0	0	0	0	0
都道府県・政令市等	0	0	0	0	0	0
市町村	6	0	6	0	0	6
合計	6	0 (0%)	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	6



○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況（予定含む）

管理者	計	管理中			撤去・廃止済 ※2	計
		修繕・更新	撤去	対応未定		
国土交通省	1	1	0	0	1	2
都道府県・政令市等	0	0	0	0	0	0
市町村	1	0	1	0	0	1
合計	2	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	3



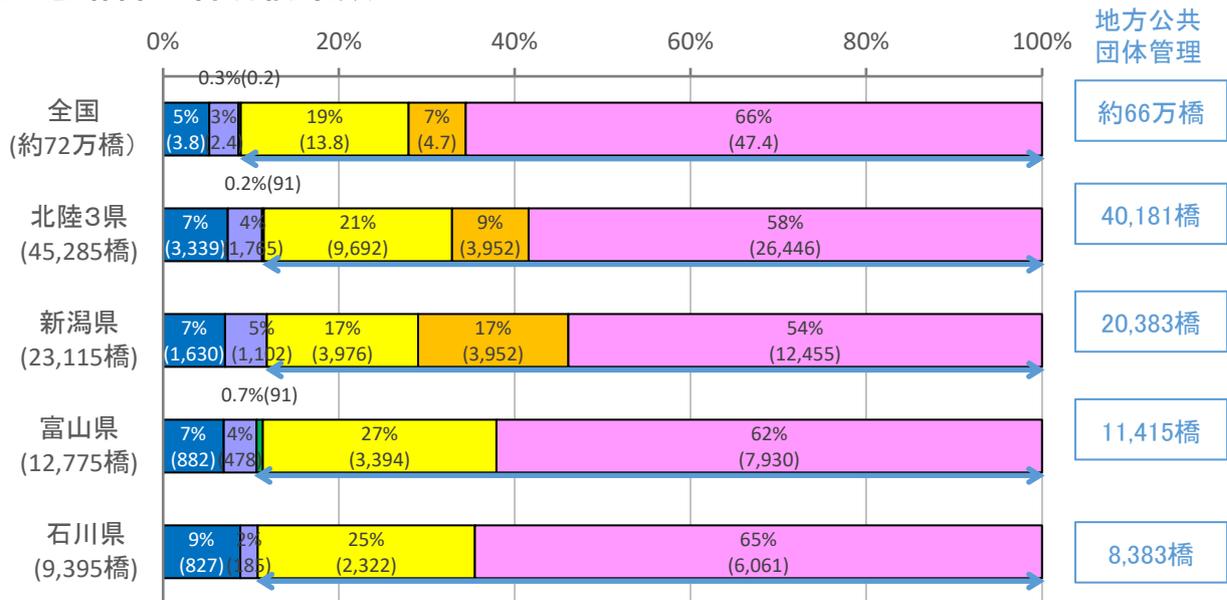
4. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

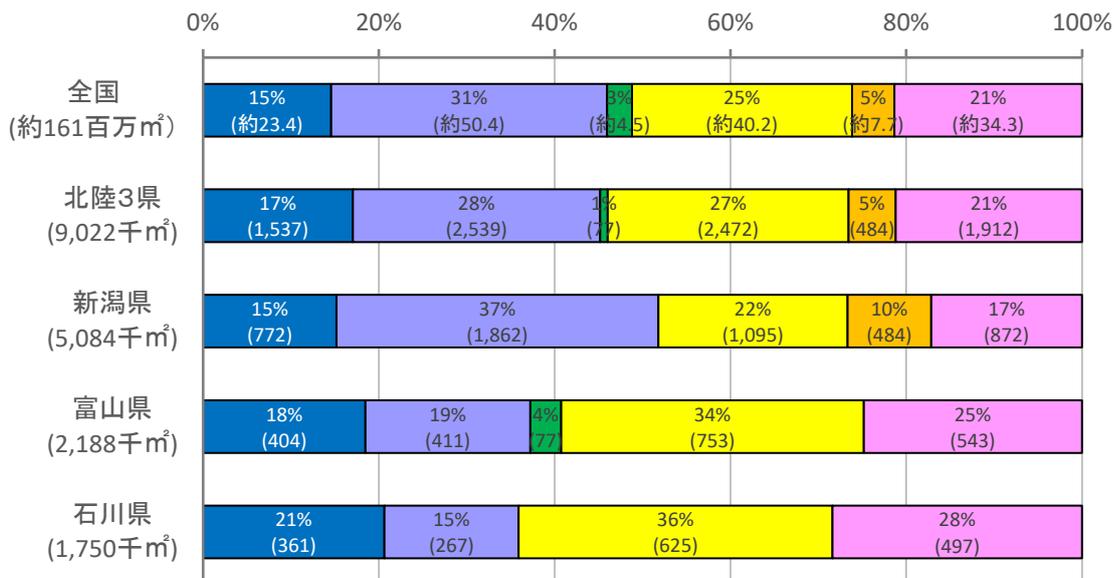
- 北陸地方には橋梁が約4万5千橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約4万橋と、9割を占めています。

① 管理者別の橋梁数、橋面積

○ 道路管理者別橋梁数

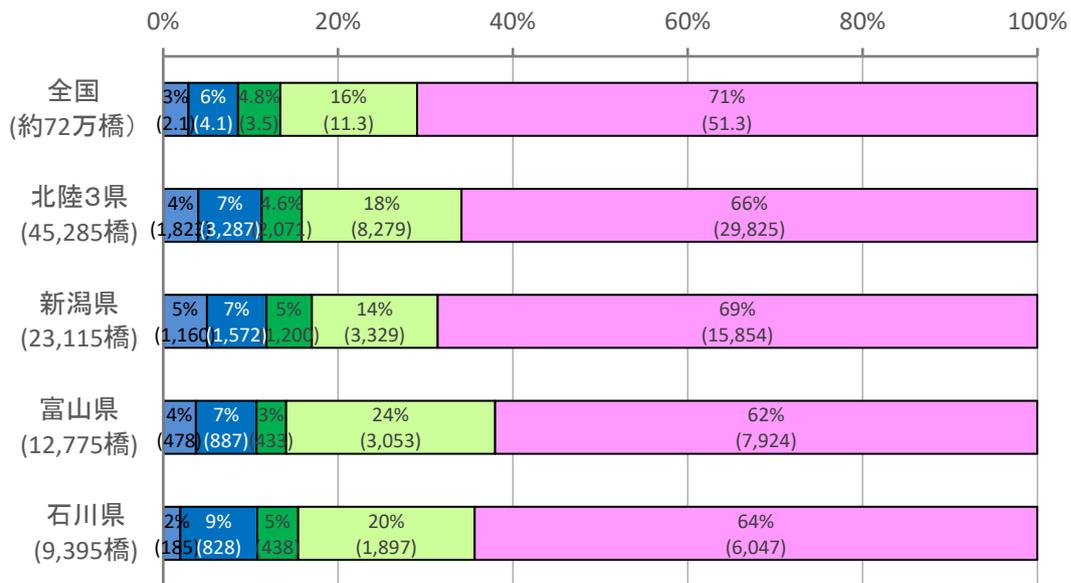


○ 道路管理者別橋面積

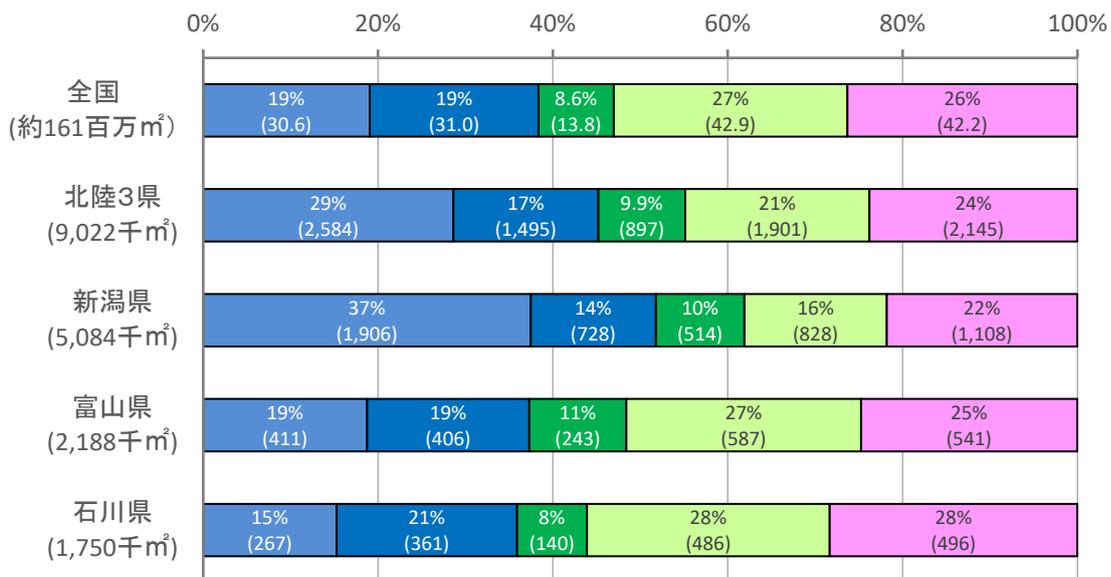


■ 国土交通省 ■ 高速道路会社 ■ 道路公社 ■ 都道府県 ■ 政令市 ■ 市町村

○ 道路種別別橋梁数



○ 道路種別別橋面積



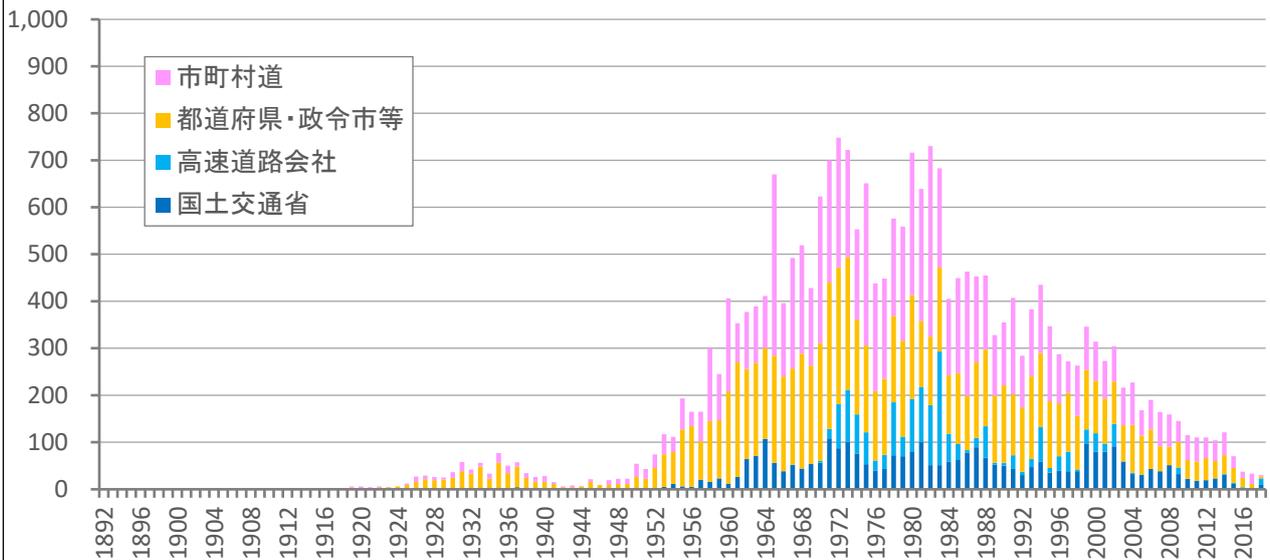
■ 高速自動車国道
 ■ 直轄国道
 ■ 補助国道
 ■ 都道府県道
 ■ 市町村道

②建設年度別の橋梁数

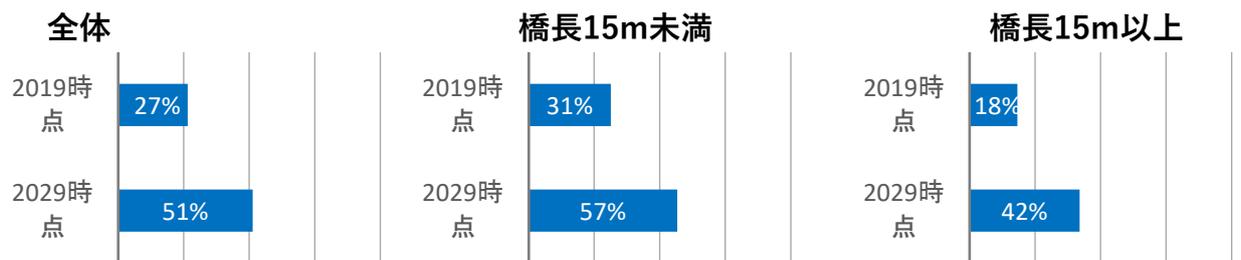
- 建設後50年を経過した橋梁の割合は、現在は約27%であるのに対し、10年後には約51%に急増します。建設後50年を経過し橋長15m未満の橋梁は、10年後に約57%となります。
- この他に建設年度が不明の橋梁が北陸3県に約1万7千橋あり、これらの大半が市町村管理の15m未満の橋梁です。

■ 北陸3県

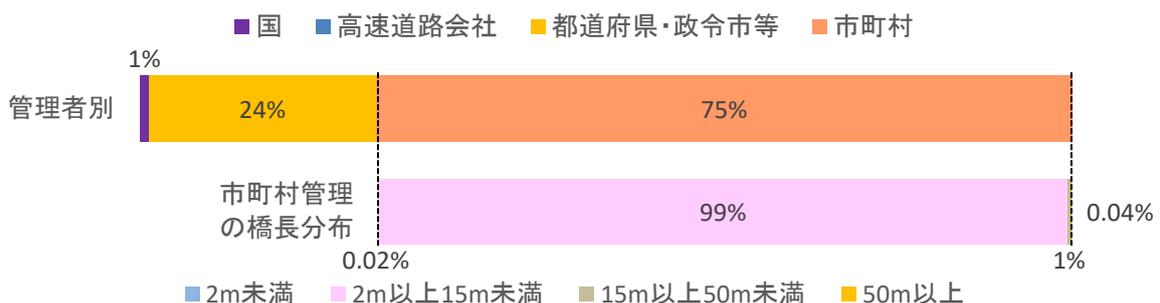
○ 建設年度別橋梁数



○ 建設後50年を経過した橋梁の割合

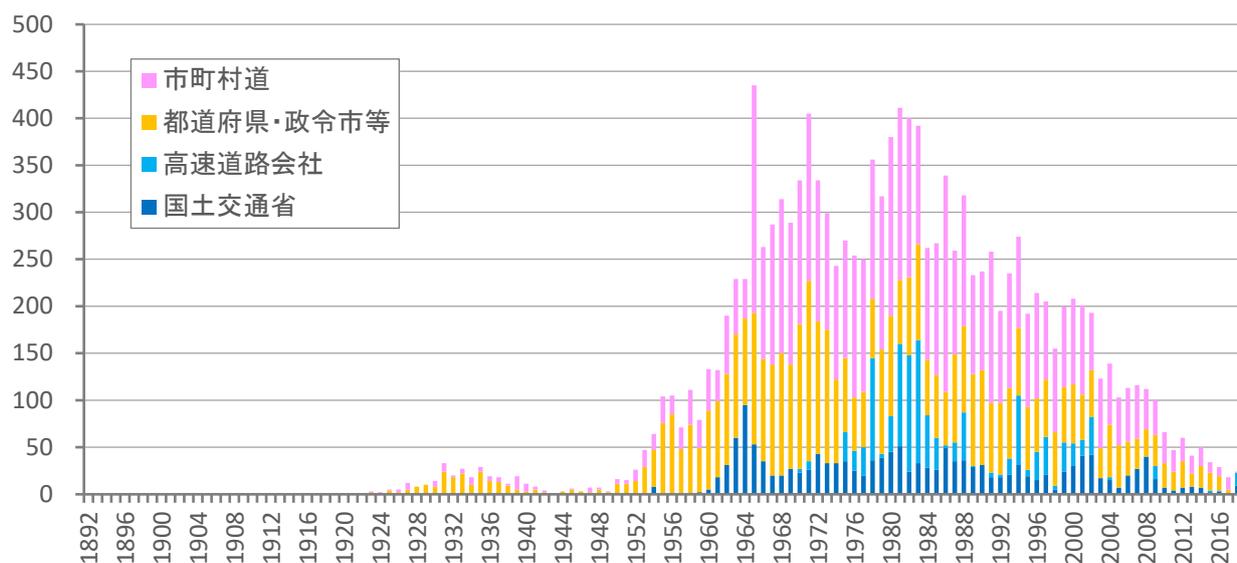


○ 建設年度不明橋梁（約1万7千橋）の内訳



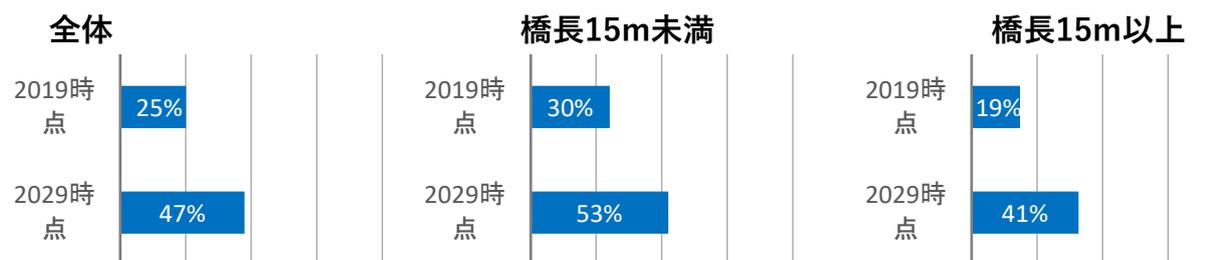
新潟県

建設年度別橋梁数



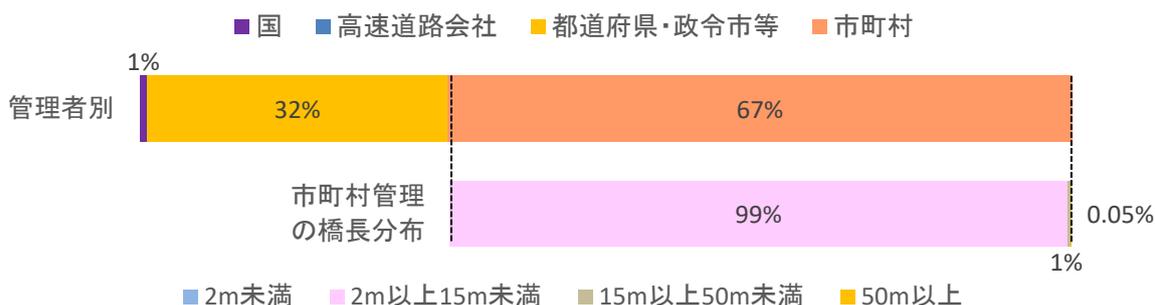
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約9千橋ある

建設後50年を経過した橋梁の割合



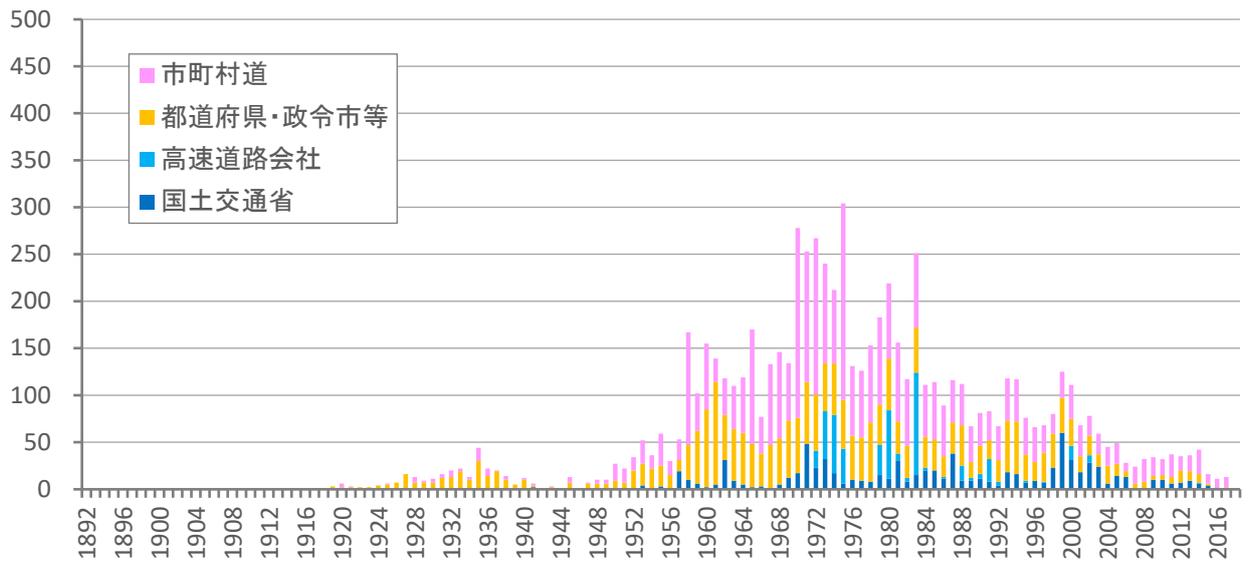
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約9千橋ある

建設年度不明橋梁（約9千橋）の内訳



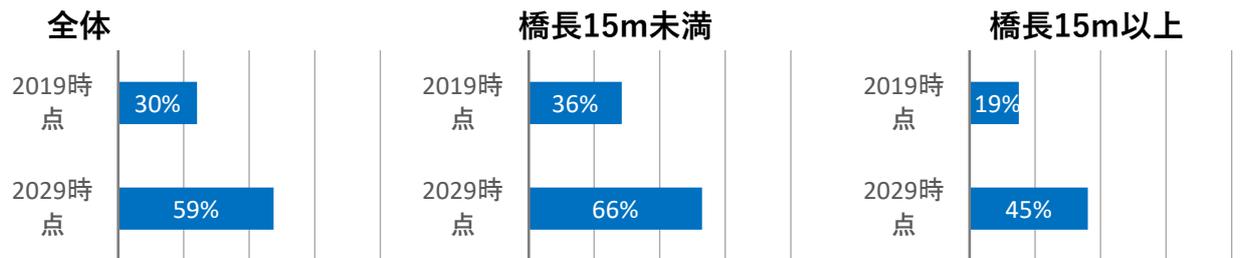
富山県

建設年度別橋梁数



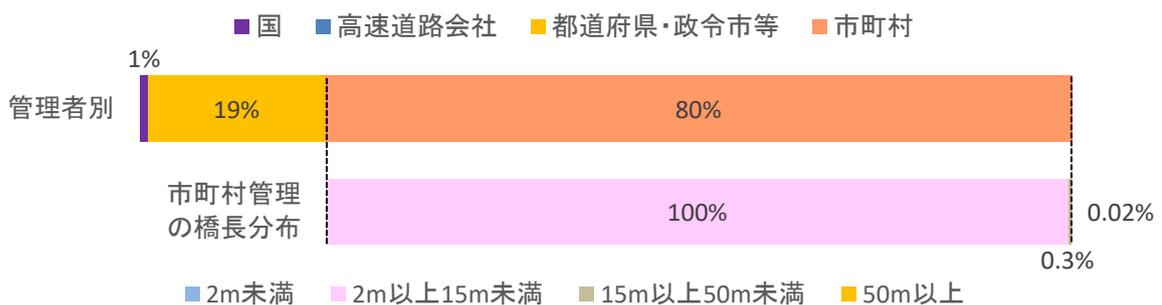
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約6千橋ある

建設後50年を経過した橋梁の割合



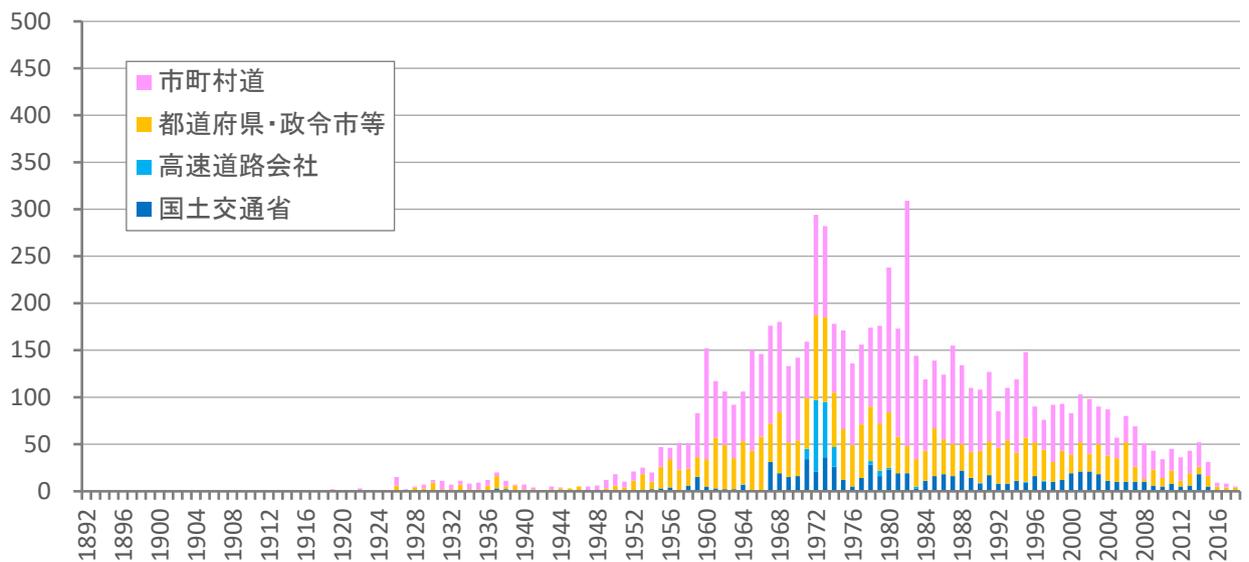
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約6千橋ある

建設年度不明橋梁（約6千橋）の内訳



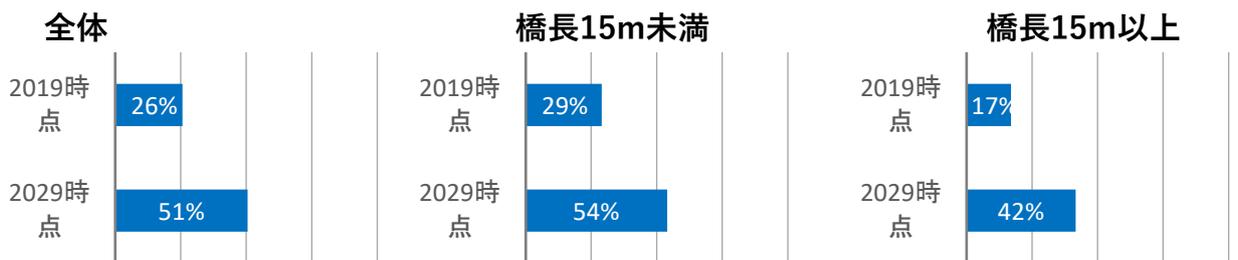
石川県

建設年度別橋梁数



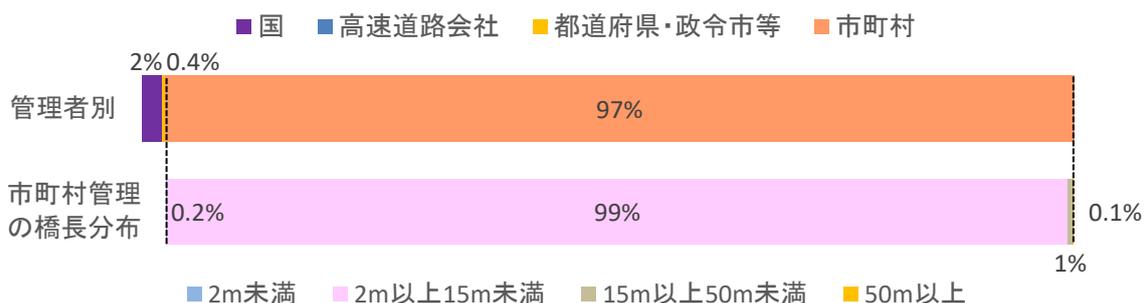
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約2千橋ある

建設後50年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約2千橋ある

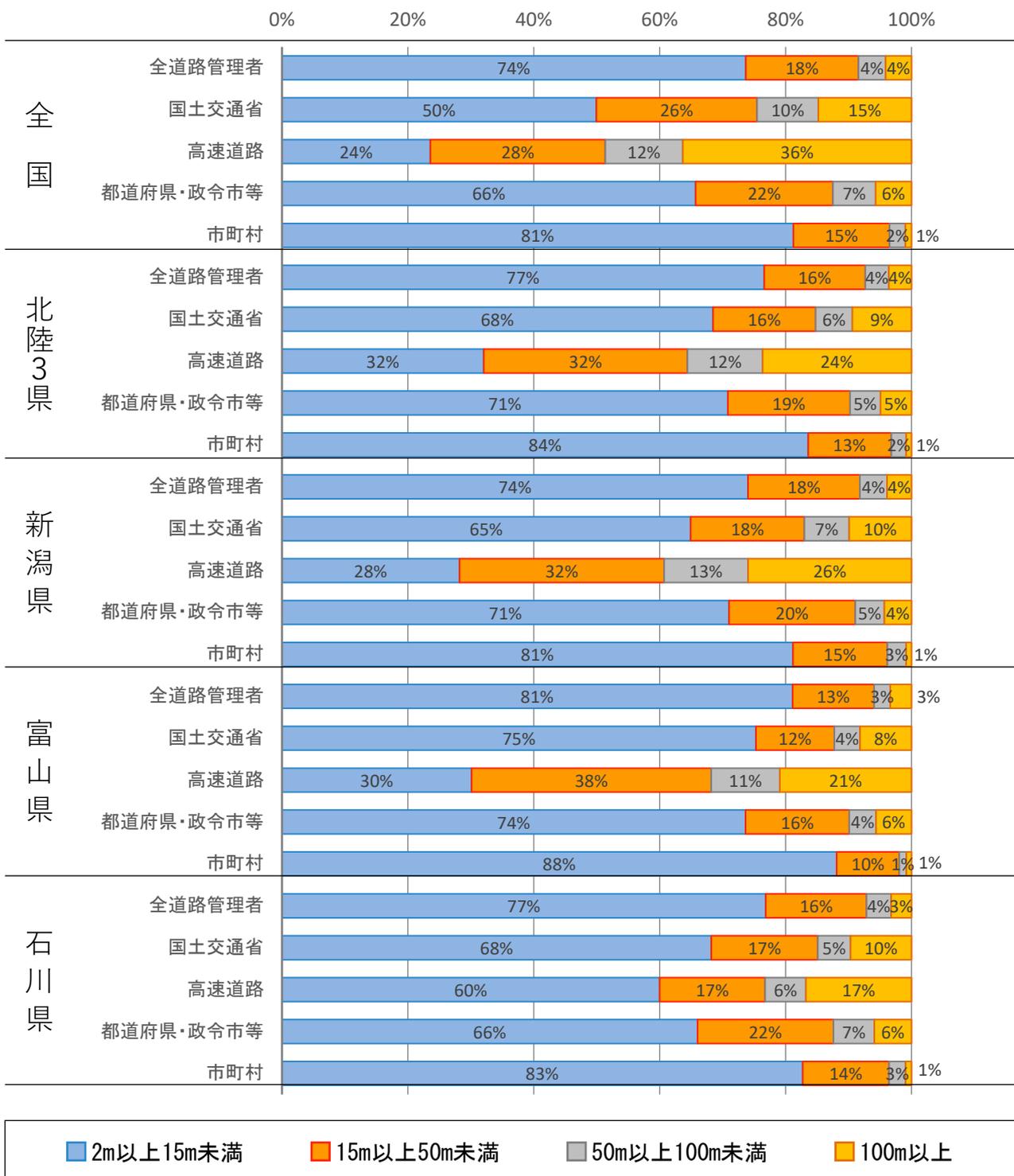
建設年度不明橋梁（約2千橋）の内訳



③管理者別の橋長分布

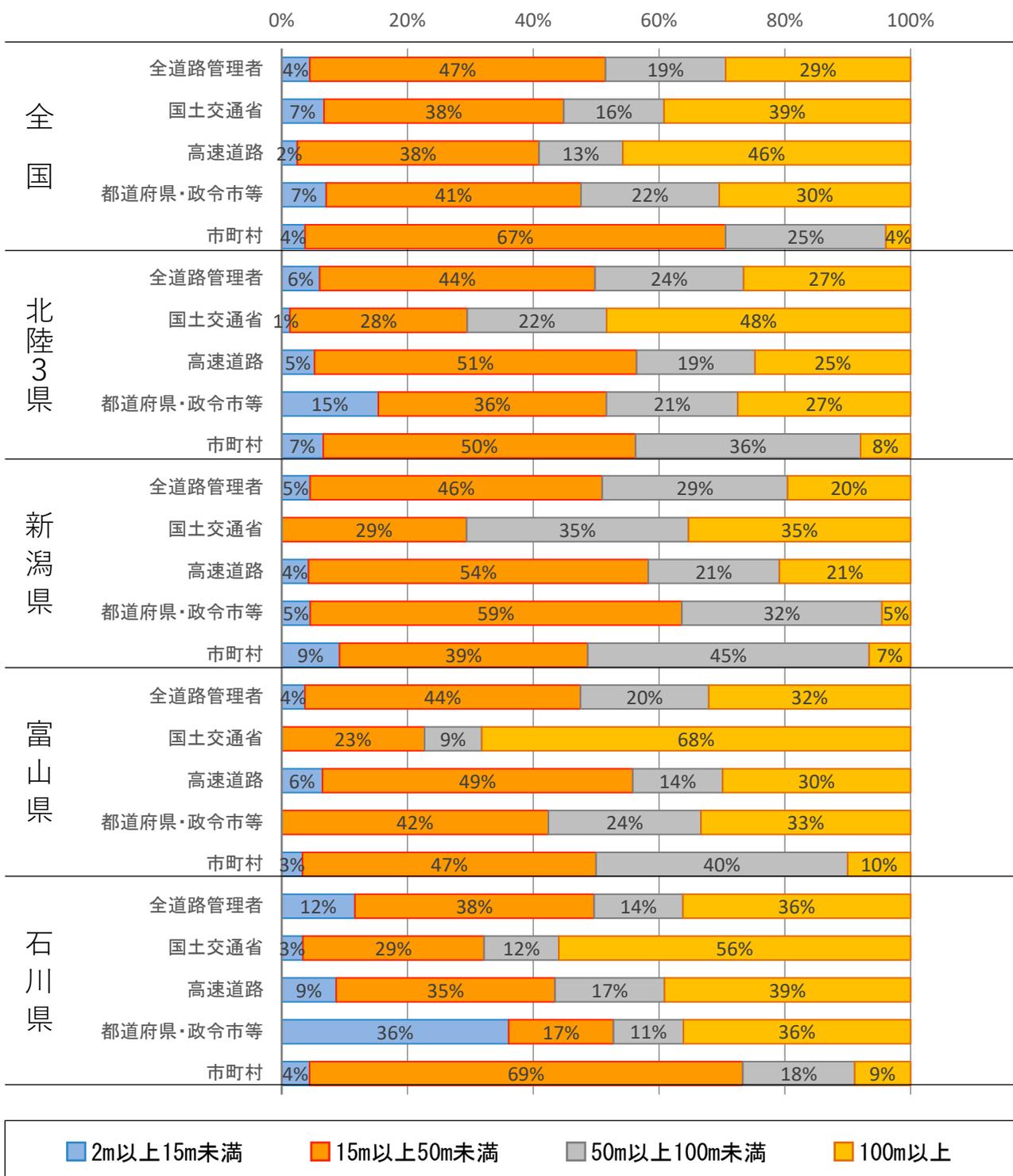
- 橋長50m以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市町村は管理する橋梁の80%以上が橋長15m未満です。一方、市町村が管理する橋梁のうち、最優先で点検すべきとされている緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋や跨線橋は80%以上が橋長15m以上です。

○ 管理者別の橋長分布



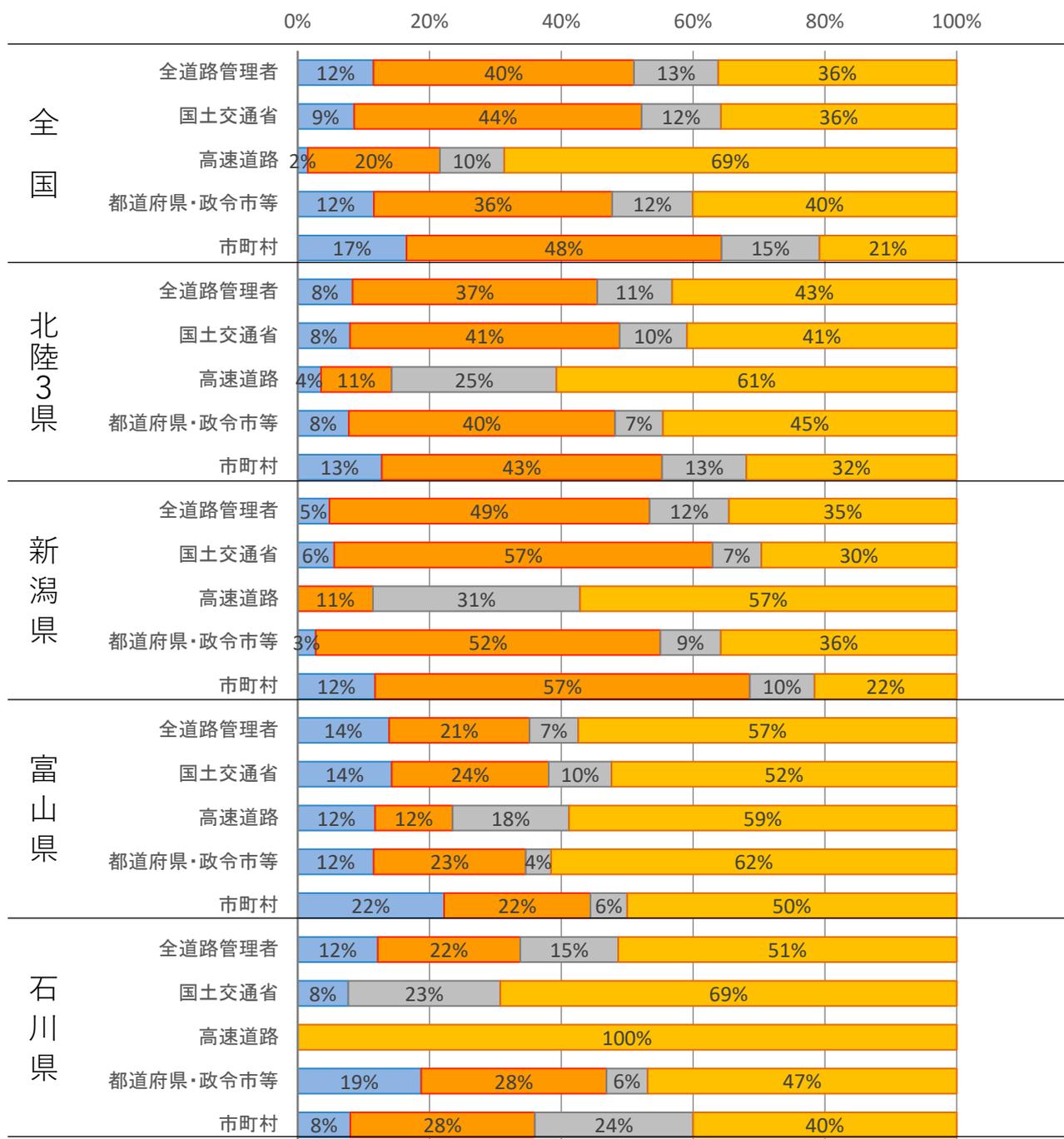
※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

○ 管理者別の橋長分布（緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋）



※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

○ 管理者別の橋長分布（跨線橋）



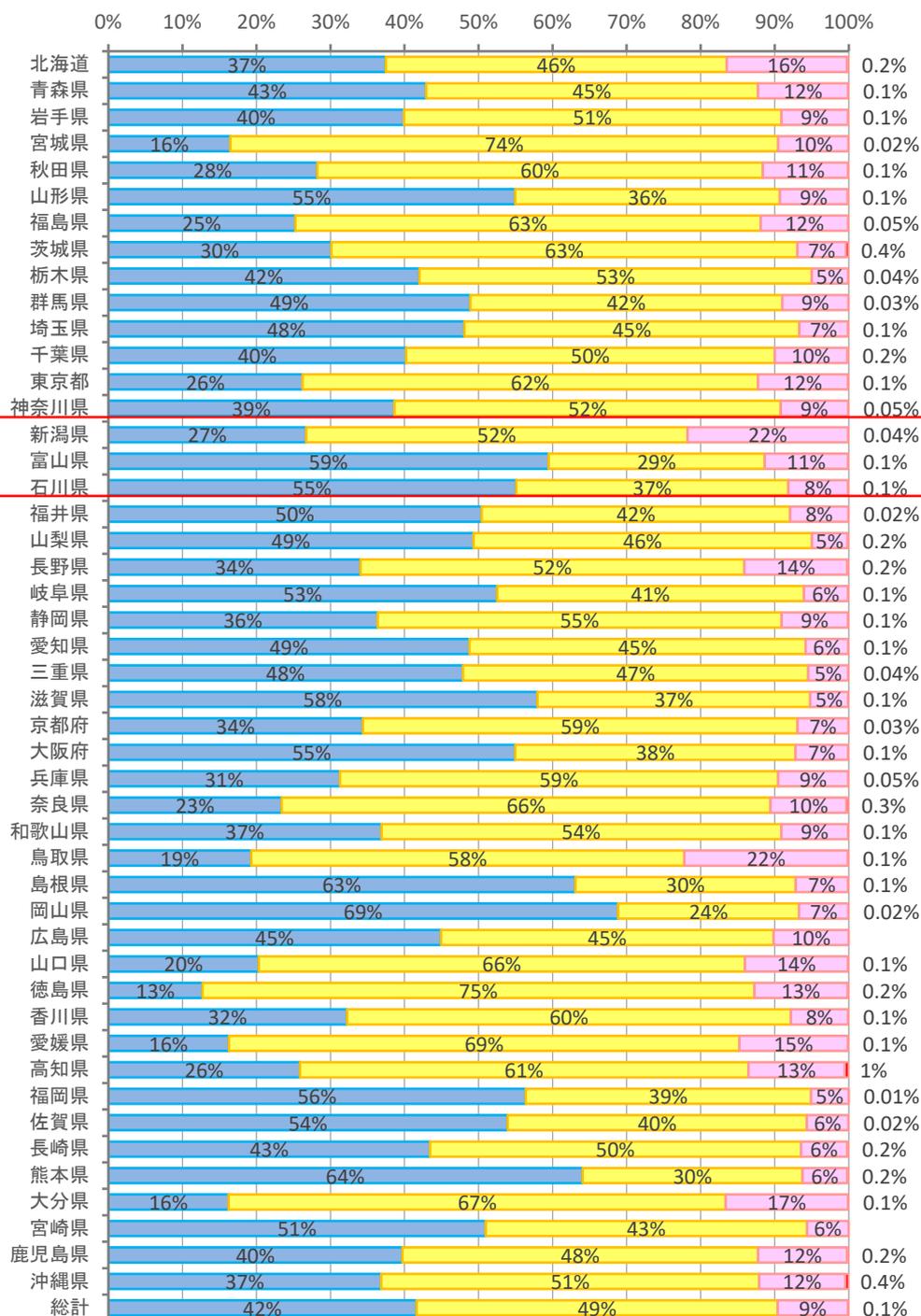
■ 2m以上15m未満 ■ 15m以上50m未満 ■ 50m以上100m未満 ■ 100m以上

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

④地方公共団体の点検結果の分布（平成26～30年度 橋梁）

- 地方公共団体（都道府県・政令市等及び市町村）の平成26～30年度点検実施橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体の全体の判定区分の割合は、Ⅰ42%、Ⅱ49%、Ⅲ9%、Ⅳ0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合（地方公共団体管理橋梁）



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

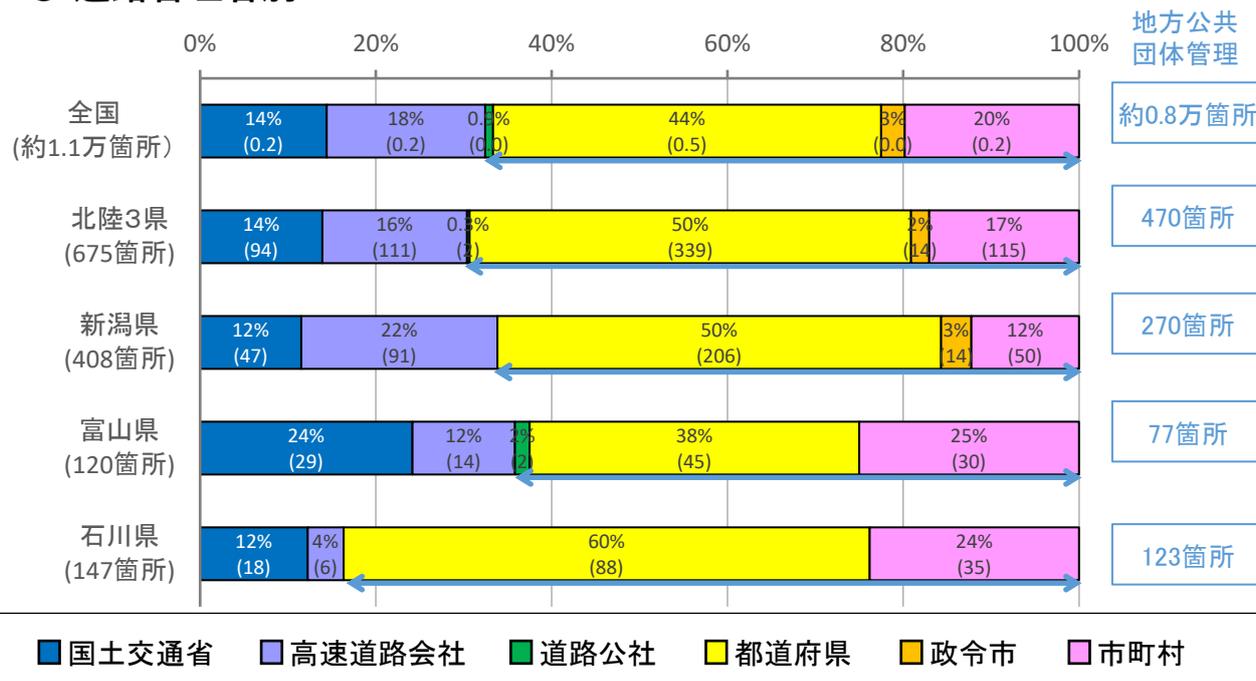
※都道府県内管理橋梁数(平成31年3月末時点)のうち平成26～30年度の点検結果をもとに作成。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(2) トンネルの現状

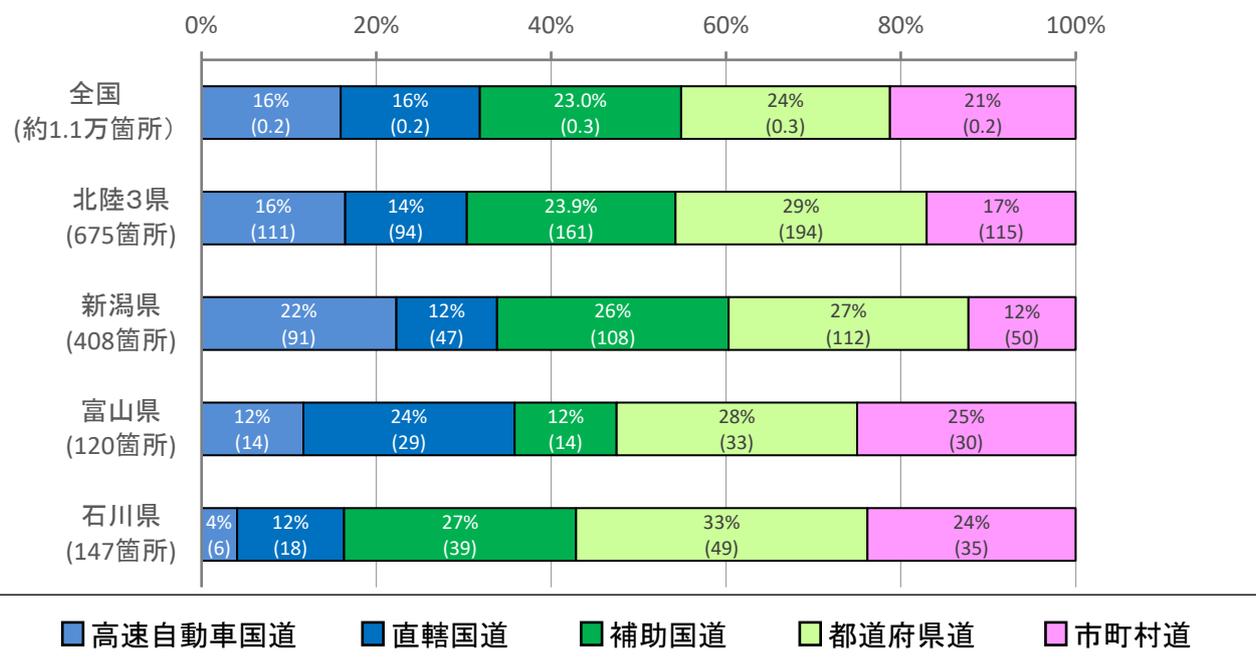
- 北陸地方にはトンネルが約700箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約500箇所と、約7割を占めています。

①管理者別の箇所数

○ 道路管理者別



○ 道路種別別

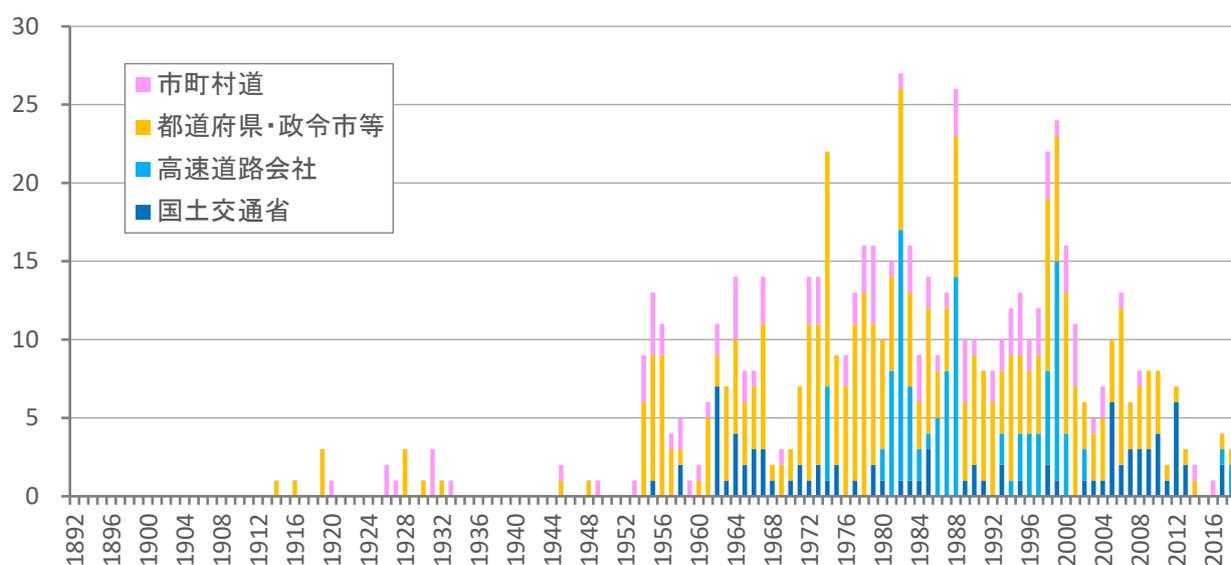


②建設年度別のトンネル数

- 建設後50年を経過したトンネルの割合は、現在は約21%であるのに対し、10年後には約40%に増加します。建設後50年を経過し延長100m未満のトンネルの割合は、10年後に約81%となります。

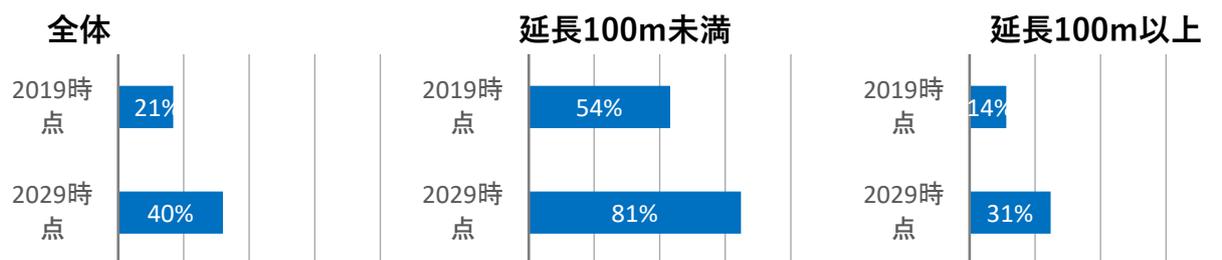
■ 北陸3県

○ 建設年度別トンネル数



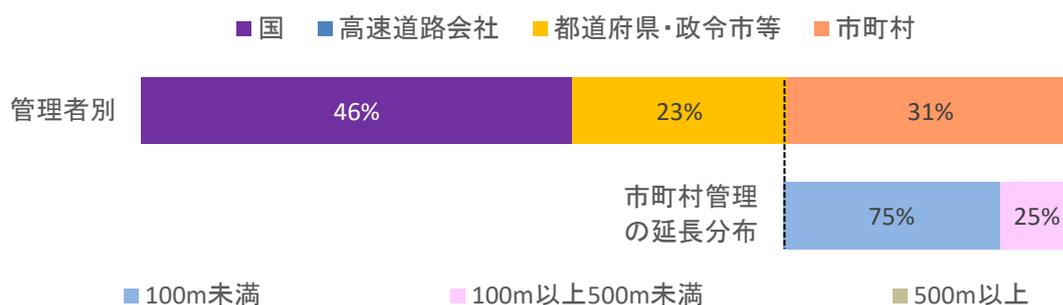
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが13箇所ある。

○ 建設後50年を経過したトンネルの割合



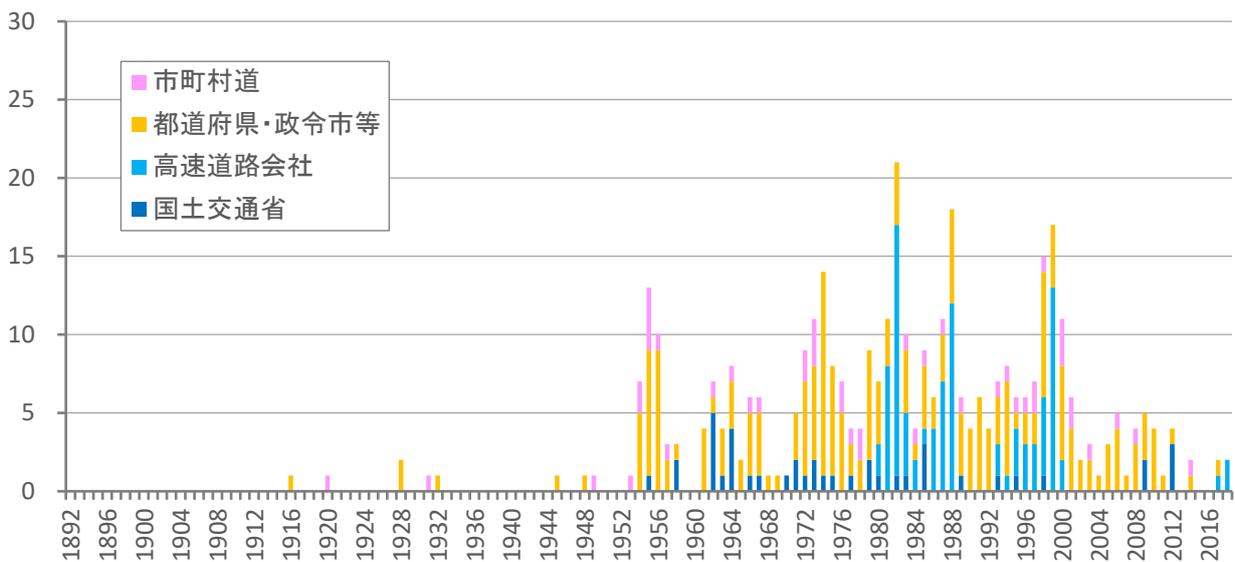
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが13箇所ある。

○ 建設年度不明トンネル（13箇所）の内訳



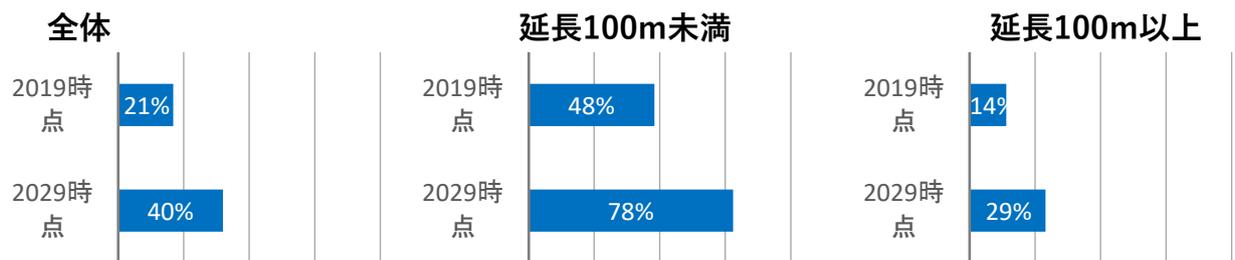
新潟県

建設年度別トンネル数



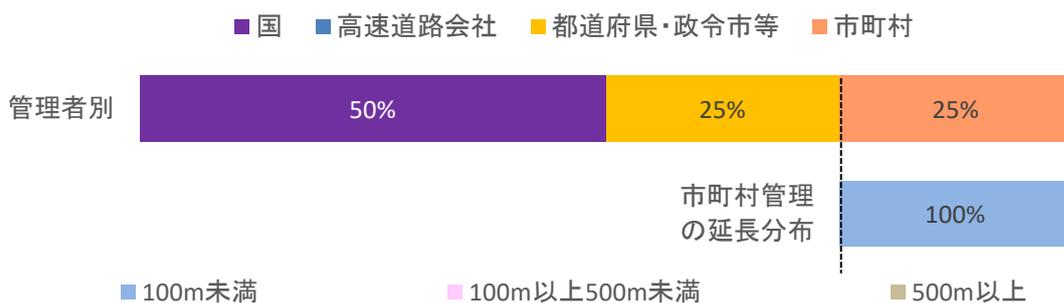
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが12箇所ある。

建設後50年を経過したトンネルの割合



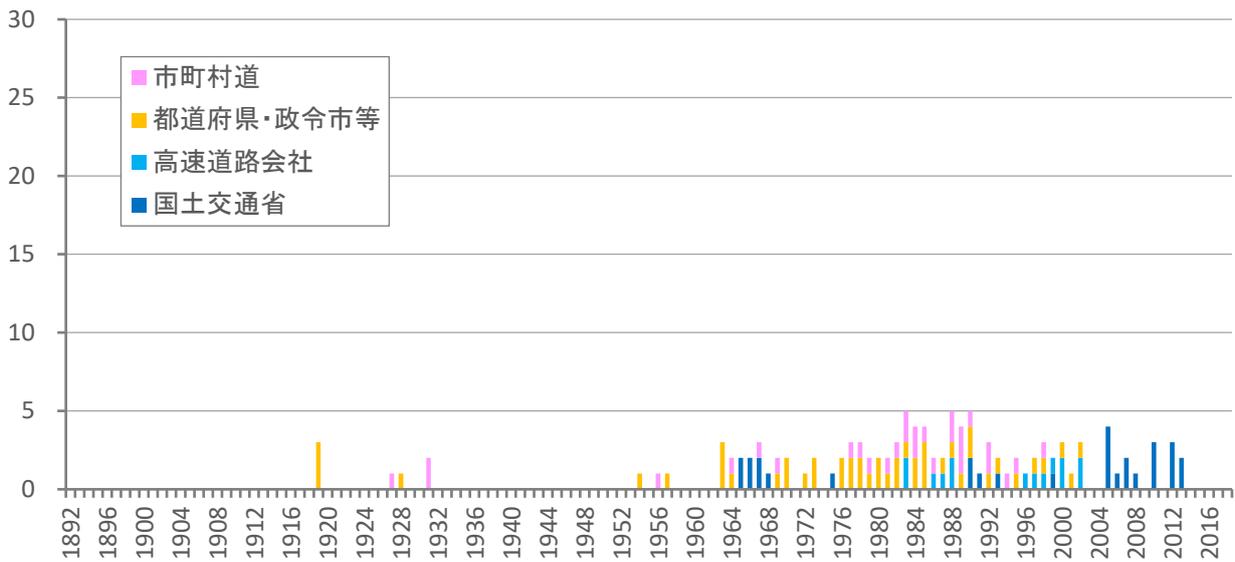
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが12箇所ある。

建設年度不明トンネル（12箇所）の内訳



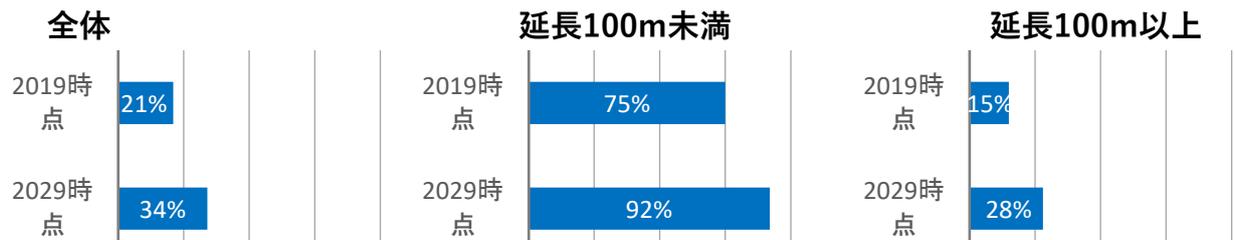
■ 富山県

○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが1箇所ある。

○ 建設後50年を経過したトンネルの割合



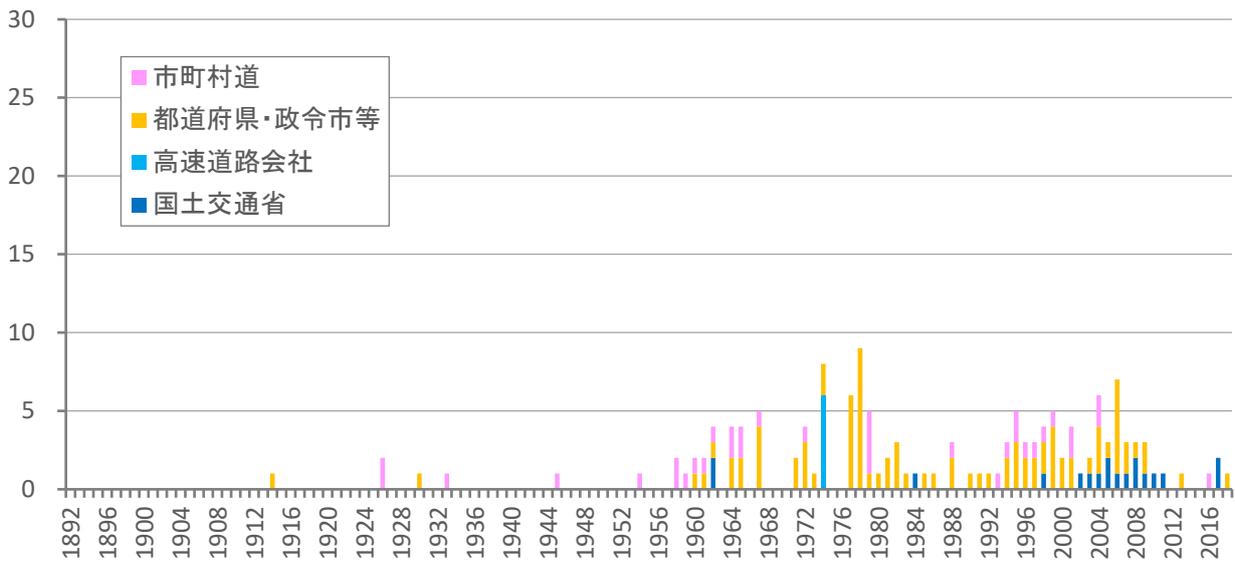
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが1箇所ある。

○ 建設年度不明トンネルの内訳

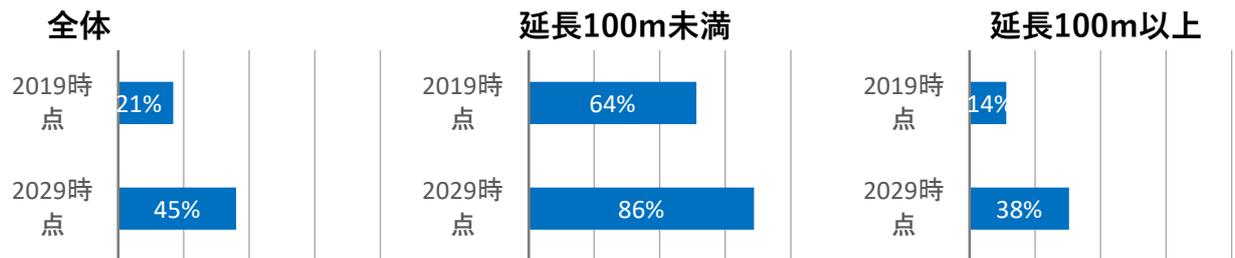
建設年度不明のトンネル
1箇所のみ (市町村管理)

石川県

建設年度別トンネル数



建設後50年を経過したトンネルの割合



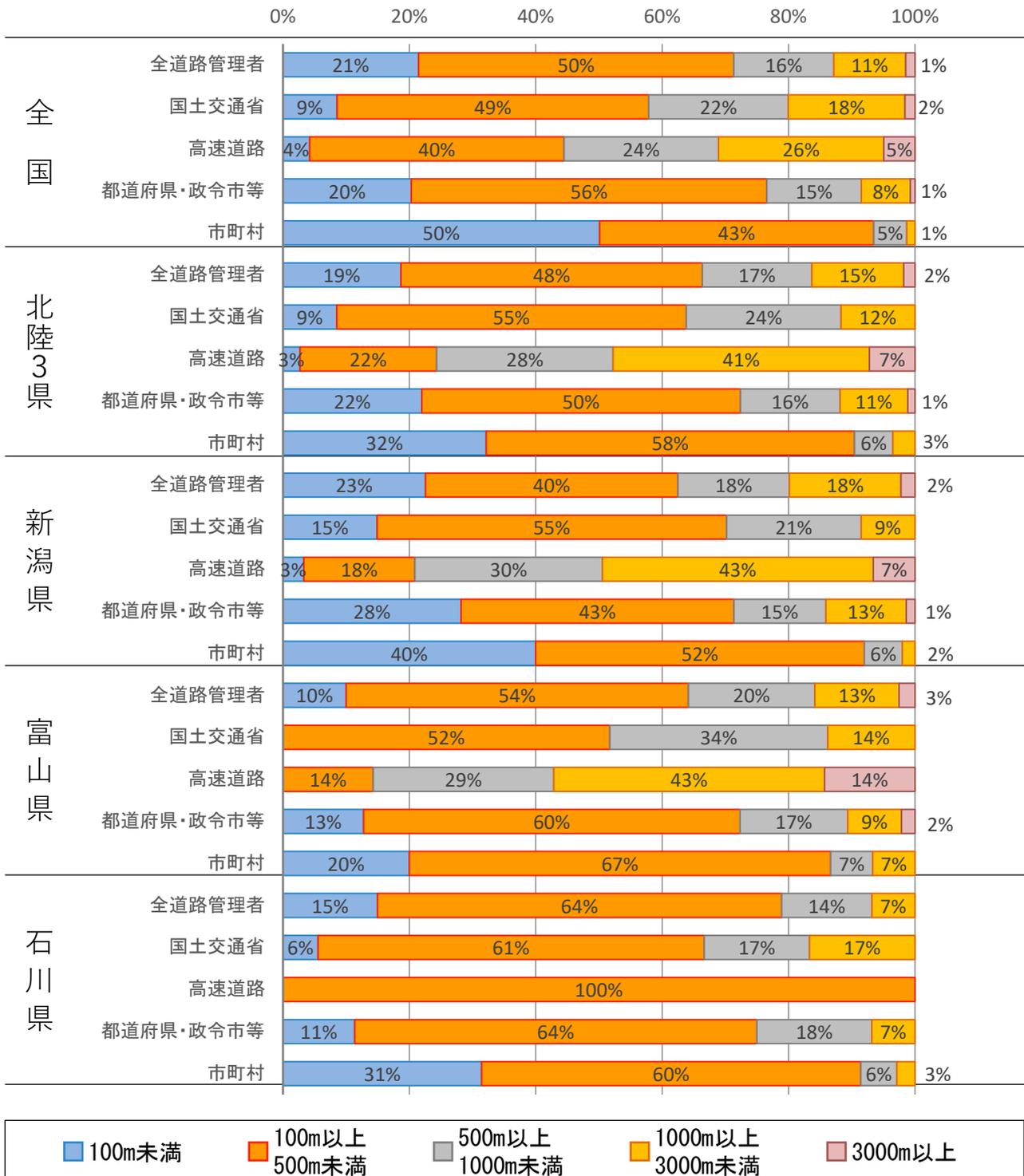
建設年度不明トンネルの内訳

建設年度不明のトンネルなし

③管理者別の延長分布

- 延長1000m以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 北陸の市町村は管理するトンネルの約30%が延長100m未満です。

○ 管理者別の延長分布

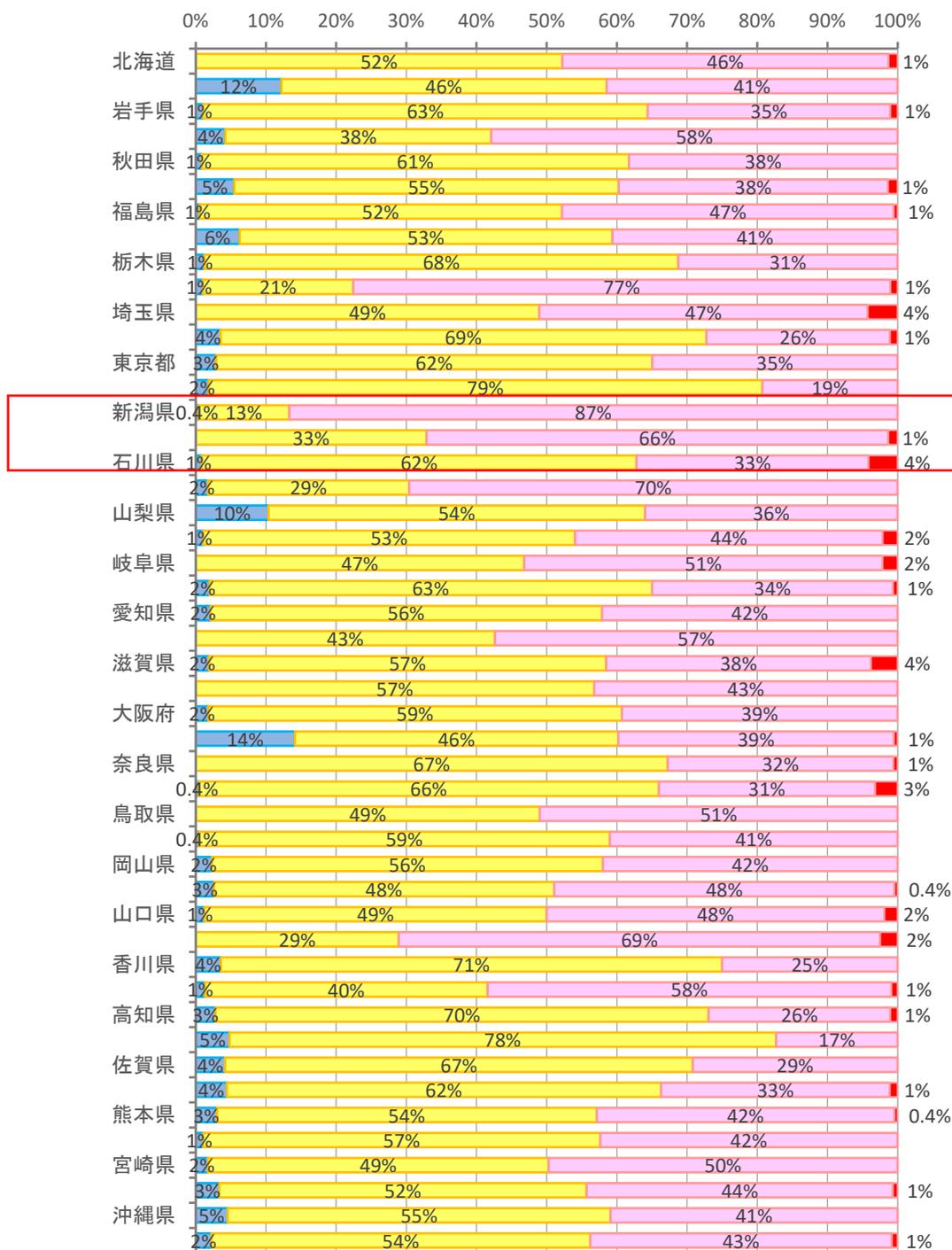


※延長に関して情報がなかった施設を除く

④地方公共団体の点検結果の分布（平成26～30年度 トンネル）

- 地方公共団体（都道府県・政令市等及び市町村）の平成26～30年度点検実施トンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体の全体の判定区分の割合は、Ⅰ2%、Ⅱ54%、Ⅲ43%、Ⅳ1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合（地方公共団体管理トンネル）



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※都道府県内管理橋梁数(平成31年3月末時点)のうち平成26～30年度の点検結果をもとに作成。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

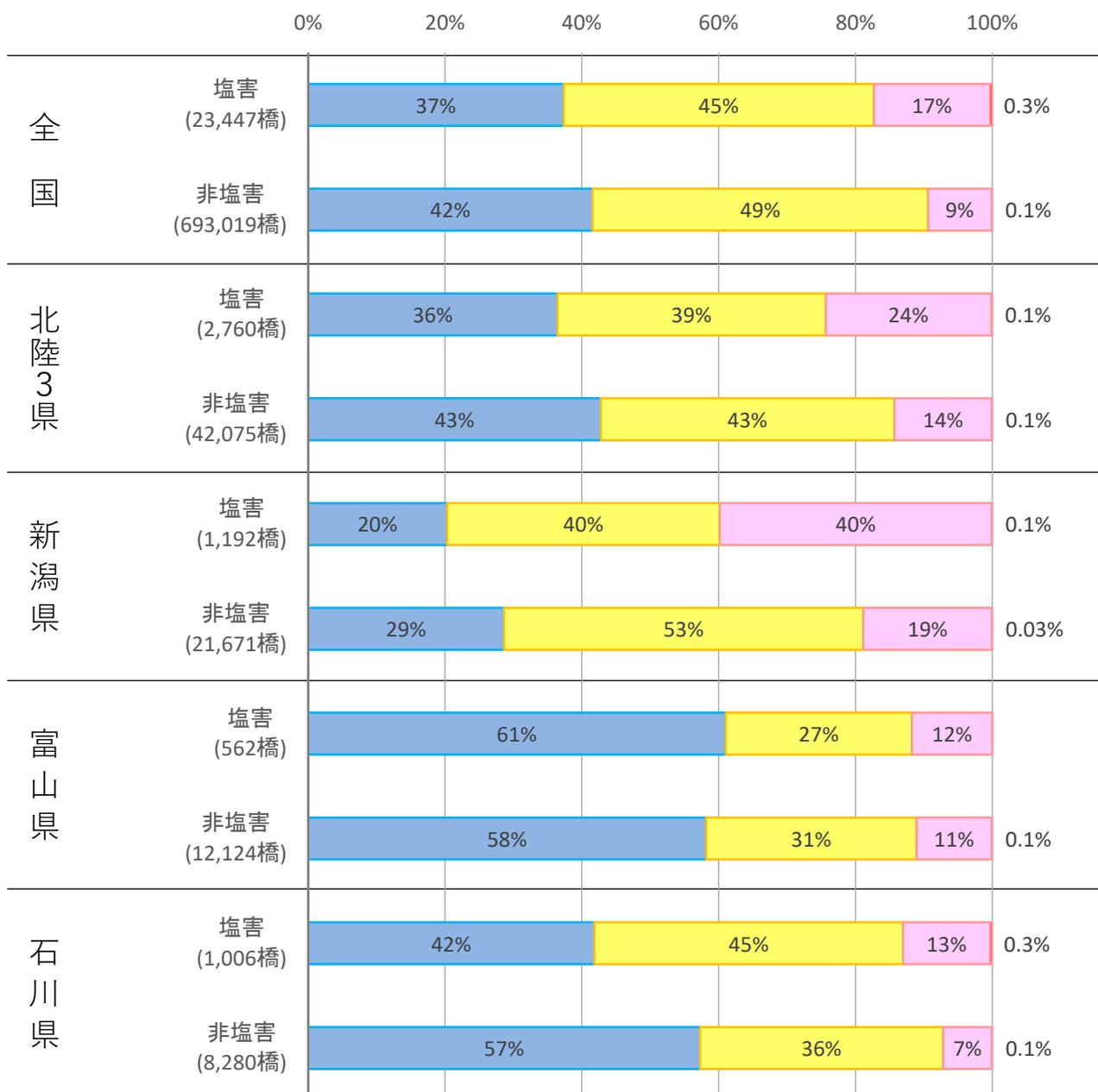
5. データ分析・活用の事例

(1) 塩害の影響分析

- 塩害の影響地域にある橋梁は、塩害の影響地域以外と比べて判定区分Ⅲの割合が高い傾向にあります。

※塩害の影響地域の区分は「橋、高架の道路等の技術基準」Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編 表-6.2.3 による

○ 判定区分割合の塩害の影響地域による比較 (全道路管理者、H26～H30点検結果)



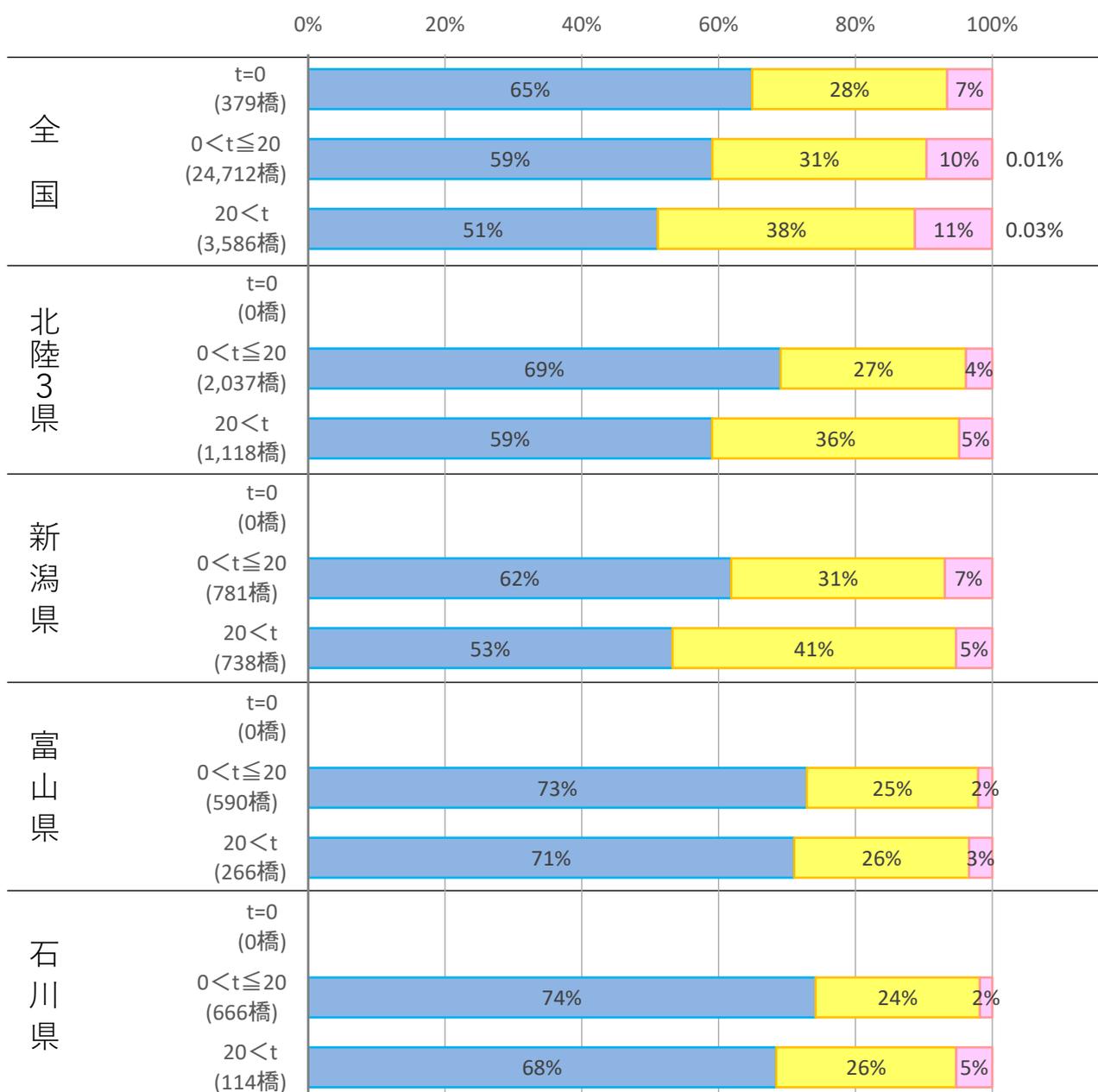
■ Ⅰ: 健全 ■ Ⅱ: 予防保全段階 ■ Ⅲ: 早期措置段階 ■ Ⅳ: 緊急措置段階

(2) 凍結防止剤の影響分析

- 凍結防止剤が散布されている橋梁では、散布されていない橋梁に比べ、判定区分Ⅱ、Ⅲの割合が高い傾向にあります。

※凍結防止剤の散布量は当該橋梁が存在する路線における平成26年度の散布量をもとに算出
(凍結防止剤散布量に関する情報がなかった橋梁を除く)

○ 判定区分割合の凍結防止剤散布量による比較 (国土交通省、H26~H30点検結果)



※t: 凍結防止剤散布量 (ton/km/年)

■ Ⅰ: 健全 ■ Ⅱ: 予防保全段階 ■ Ⅲ: 早期措置段階 ■ Ⅳ: 緊急措置段階

※巻末資料

(1) 点検実施状況と点検結果の道路附属物等の内訳

1) 点検実施状況（全道路管理者）

全国

	点検実施数	点検実施状況				
		上段：点検実施数、下段：点検実施率				
		H26	H27	H28	H29	H30
道路附属物等	39,750	6,084 15%	8,458 21%	8,443 21%	7,885 20%	8,880 22%
シェッド	3,355	304 9%	673 20%	772 23%	848 25%	758 23%
大型カルバート	8,371	1,177 14%	1,875 22%	1,794 21%	1,627 19%	1,898 23%
横断歩道橋_跨線橋以外	11,222	2,102 19%	1,955 18%	2,354 21%	2,354 21%	2,457 22%
横断歩道橋_跨線橋	476	43 9%	50 11%	92 19%	125 26%	166 35%
門型標識等	16,326	2,458 15%	3,905 24%	3,431 21%	2,931 18%	3,601 22%

北陸3県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段：点検実施数、下段：点検実施率				
		H26	H27	H28	H29	H30
道路附属物等	2,649	180 7%	508 19%	634 24%	644 24%	683 26%
シェッド	1,118	48 4%	131 12%	352 31%	365 33%	222 20%
大型カルバート	704	79 11%	193 27%	151 21%	119 17%	162 23%
横断歩道橋_跨線橋以外	119	4 3%	25 21%	18 15%	22 18%	50 42%
横断歩道橋_跨線橋	35	1 3%	3 9%	9 26%	7 20%	15 43%
門型標識等	673	48 7%	156 23%	104 15%	131 19%	234 35%

新潟県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段: 点検実施数、下段: 点検実施率				
		H26	H27	H28	H29	H30
道路附属物等	1,413	119 8%	210 15%	341 24%	374 26%	369 26%
シェッド	553	42 8%	95 17%	138 25%	165 30%	113 20%
大型カルバート	414	57 14%	82 20%	103 25%	80 19%	92 22%
横断歩道橋_跨線橋以外	72	3 4%	6 8%	18 25%	20 28%	25 35%
横断歩道橋_跨線橋	33	1 3%	2 6%	9 27%	6 18%	15 45%
門型標識等	341	16 5%	25 7%	73 21%	103 30%	124 36%

富山県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段: 点検実施数、下段: 点検実施率				
		H26	H27	H28	H29	H30
道路附属物等	765	59 8%	69 9%	216 28%	195 25%	226 30%
シェッド	423	6 1%	0 0%	173 41%	168 40%	76 18%
大型カルバート	169	22 13%	54 32%	35 21%	19 11%	39 23%
横断歩道橋_跨線橋以外	28	0 0%	5 18%	0 0%	0 0%	23 82%
横断歩道橋_跨線橋	1	0 0%	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%
門型標識等	144	31 22%	10 7%	8 6%	7 5%	88 61%

石川県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段: 点検実施数、下段: 点検実施率				
		H26	H27	H28	H29	H30
道路附属物等	471	2 0.4%	229 49%	77 16%	75 16%	88 19%
シェッド	142	0 0%	36 25%	41 29%	32 23%	33 23%
大型カルバート	121	0 0%	57 47%	13 11%	20 17%	31 26%
横断歩道橋_跨線橋以外	19	1 5%	14 74%	0 0%	2 11%	2 11%
横断歩道橋_跨線橋	1	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%
門型標識等	188	1 1%	121 64%	23 12%	21 11%	22 12%

平成31年3月末時点

2) 点検結果 (全道路管理者)

全国

	点検実施数 ※	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	39,678	12,671 32%	20,945 53%	6,035 15%	27 0.1%
シェッド	3,355	202 6%	1,627 48%	1,520 45%	6 0.2%
大型カルバート	8,368	1,632 20%	6,043 72%	692 8%	1 0.01%
横断歩道橋_跨線橋以外	11,159	2,220 20%	6,174 55%	2,760 25%	5 0.04%
横断歩道橋_跨線橋	474	99 21%	253 53%	121 26%	1 0.2%
門型標識等	16,322	8,518 52%	6,848 42%	942 6%	14 0.1%

北陸3県

	点検実施数 ※	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	2,647	398 15%	1,294 49%	953 36%	2 0.1%
シェッド	1,118	14 1%	426 38%	677 61%	1 0.1%
大型カルバート	704	162 23%	448 64%	94 13%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋以外	119	15 13%	50 42%	54 45%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋	35	7 20%	19 54%	9 26%	0 0%
門型標識等	671	200 30%	351 52%	119 18%	1 0.1%

新潟県

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	1,411	254 18%	525 37%	631 45%	1 0.1%
シェッド	553	5 1%	58 10%	490 89%	0 0%
大型カルバート	414	110 27%	262 63%	42 10%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋以外	72	10 14%	26 36%	36 50%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋	33	7 21%	18 55%	8 24%	0 0%
門型標識等	339	122 36%	161 47%	55 16%	1 0.3%

富山県

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	765	92 12%	484 63%	189 25%	0 0%
シェッド	423	9 2%	285 67%	129 30%	0 0%
大型カルバート	169	39 23%	116 69%	14 8%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋以外	28	3 11%	18 64%	7 25%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋	1	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%
門型標識等	144	41 28%	64 44%	39 27%	0 0%

石川県

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	471	52 11%	285 61%	133 28%	1 0.2%
シェッド	142	0 0%	83 58%	58 41%	1 1%
大型カルバート	121	13 11%	70 58%	38 31%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋以外	19	2 11%	6 32%	11 58%	0 0%
横断歩道橋_跨線橋	1	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%
門型標識等	188	37 20%	126 67%	25 13%	0 0%

※点検を実施した施設のうち、平成31年3月末時点で診断中の施設を除く。

(2) 都道府県別点検実施率（管理者別）

単位：％（99.95％以上は小数点2位以下を切り捨て、99.95未満は小数点2位以下を四捨五入）

所在する都道府県	橋梁					トンネル					道路附属物等				
	全管理者	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村	全管理者	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村	全管理者	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村
北海道	99.8	100	100	99.7	99.8	98.9	100	100	100	86.8	99.8	100	100	99.3	98.7
青森県	99.8	100	100	100	99.6	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
岩手県	99.8	100	100	100	99.7	100	100	100	100	100	99.8	100	100	100	98.0
宮城県	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	99.6	100	100	98.5	100
秋田県	99.9	100	100	99.8	99.9	97.6	100	100	98.8	91.7	100	100	100	100	100
山形県	99.9	100	100	100	99.9	99.3	100	100	100	94.4	100	100	100	100	100
福島県	99.5	100	100	99.6	99.3	99.6	100	100	100	96.3	96.9	100	100	93.9	100
茨城県	99.7	100	100	99.8	99.7	100	-	100	100	100	99.7	100	100	100	95.8
栃木県	99.9	100	100	100	99.9	100	-	100	100	100	100	100	100	100	100
群馬県	99.8	100	100	100	99.7	99.2	100	100	100	97.2	100	100	100	100	100
埼玉県	99.9	100	100	100	99.9	100	-	100	100	100	98.4	100	100	97.2	91.7
千葉県	99.9	100	100	100	99.9	99.3	100	100	100	98.7	99.7	100	100	99.4	99.1
東京都	99.6	100	100	100	99.3	100	100	100	100	100	99.6	100	100	99.5	97.5
神奈川県	99.9	99.8	100	99.9	99.9	99.1	100	100	100	96.3	100	100	100	100	100
新潟県	99.6	100	100	99.2	99.8	97.0	100	100	100	75.5	99.8	100	100	100	96.2
富山県	99.9	100	100	99.9	99.9	99.2	100	100	100	96.7	100	100	100	100	100
石川県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
福井県	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
山梨県	99.6	100	100	100	99.5	99.5	100	100	100	97.2	99.5	97.9	100	100	100
長野県	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
岐阜県	99.9	100	100	99.9	99.9	100	100	100	100	100	99.7	100	100	99.1	99.4
静岡県	99.9	100	100	99.9	99.9	99.5	100	100	99.1	100	100	100	100	100	100
愛知県	99.9	100	100	99.9	99.9	98.3	100	100	100	93.1	99.9	100	100	100	98.9
三重県	99.9	100	100	100	99.9	99.0	100	100	98.4	100	100	100	100	100	100
滋賀県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

所在する都道府県	橋梁					トンネル					道路附属物等				
	全管理者	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村	全管理者	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村	全管理者	国土交通省	高速道路会社	都道府県・政令市等	市区町村
京都府	99.8	100	100	99.9	99.8	100	100	100	100	100	99.7	100	100	98.6	100
大阪府	99.6	100	100	99.4	99.5	100	100	100	100	100	99.8	100	99.4	100	100
兵庫県	99.9	100	100	100	99.9	99.2	100	100	100	90.3	99.9	100	100	99.8	99.4
奈良県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	-	100	100	100	100	100	100	100
和歌山県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
鳥取県	99.9	100	100	100	99.9	97.1	100	100	100	84.2	100	100	100	100	100
島根県	99.9	100	100	99.9	100	99.7	100	100	99.5	100	100	100	100	100	100
岡山県	99.8	100	100	99.9	99.7	99.2	100	100	100	94.4	99.9	100	100	100	98.6
広島県	99.9	100	100	99.9	99.9	98.6	100	100	99.4	91.1	98.6	100	100	100	84.5
山口県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	100	100	100	99.8	100	100	100	97.8
徳島県	99.8	100	100	99.0	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
香川県	99.9	100	100	99.9	99.9	98.1	100	100	100	88.9	99.8	100	100	99.2	100
愛媛県	99.9	100	100	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
高知県	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
福岡県	99.9	100	100	99.9	99.9	99.3	100	100	100	90.0	99.2	100	100	99.0	96.0
佐賀県	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
長崎県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
熊本県	99.9	100	100	99.9	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
大分県	99.4	99.8	100	99.9	99.1	99.8	100	100	99.6	100	100	100	100	100	100
宮崎県	99.8	100	100	100	99.8	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
鹿児島県	99.9	100	100	100	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
沖縄県	99.9	100	100	99.7	100	100	100	100	100	100	98.6	100	100	97.6	90.5
合計	99.9	99.9	100	99.9	99.9	99.5	100	100	99.8	97.8	99.7	99.9	99.9	99.5	98.4

平成31年3月末時点

(3) 判定区分Ⅳの施設リスト (平成26～30年度)

【橋梁】 (26橋)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(H31.3月末時点)
新潟市	とよさか とうせん とうきょう 豊栄1-106号線1号橋	市区町村道(その他)豊栄1-106号線	不明	H30	桁及び床版剥離・鉄筋露出、橋脚梁の亀裂	仮設材による仮受け・鉄板の敷設等の応急対応を実施(通行可能)	撤去予定
柏崎市(新潟県)	いだしにばし 居谷橋	市区町村道(その他)柏崎寄合居谷線	不明	H30	上部工のひび割れ、たわみ	上部工端部の損傷した床板1本を除去車両進入防止用の柵を入口に設置(通行規制(車両))	修繕済
柏崎市(新潟県)	みとがわばし 三十川橋	市区町村道(その他)柏崎前戸線	不明	H30	木桁の腐食、割れ、断面減少、たわみ	バリケードにより全面通行止め	撤去予定
佐渡市(新潟県)	うまくび とうきょう 馬首3号橋	市道(その他)馬首5号線	不明	H30	主桁および床版の腐食	バリケードにより全面通行止め	修繕済
魚沼市(新潟県)	ほそのばし 細野橋	市区町村道(その他)守門13号線	1962	H27	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去
胎内市(新潟県)	ばし つづみ橋	市区町村道(2級)黒川塩沢蔵王線	1970	H29	主桁の腐食	通行規制(車両)	架替
阿賀町(新潟県)	ぬまばたばし 沼端橋	町道(その他)村木沼端線	不明	H26	基礎の洗掘	全面通行止	修繕済
阿賀町(新潟県)	つなぎますだに とうきょう 綱木増谷2号橋	町道(その他)増谷川線	不明	H26	主桁の腐食	全面通行止	修繕済
富山市(富山県)	やまぶきばし 山吹橋	市道高熊八尾線	1955	H29	主ケーブルの破断・断面減少	全面通行止	未定
富山市(富山県)	すなからだにばし 砂蔵谷橋	市道蟹寺加賀沢線	1972	H29	主桁・対傾構の変形	全面通行止	未定
富山市(富山県)	かめいわばし 瓶岩橋	松ノ木横江線	1972	H30	支承の破損、橋台のひび割れ	バリケードを設置し、全面通行止め(H27より)	未定
富山市(富山県)	ませぐらばし とう 馬瀬口橋 1号	下番殿様林線	不明	H30	橋座コンクリートの割れ	損傷の常時監視	架替予定
高岡市(富山県)	むめいきょう 無名橋938	矢部小伊勢領線	不明	H26	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去
高岡市(富山県)	むめいきょう 無名橋1069	市道古村向野北線	不明	H29	床板の破断・鉄筋露出	全面通行止	撤去
魚津市(富山県)	つきがたばし 月形橋	市道有山2号線	1966	H29	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市(富山県)	つきがたばし 月形橋	旧県道栗山月形橋線	1966	H29	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
砺波市(富山県)	むめいきょう 無名橋546	市道前山線	1983	H29	床板の変形	通行規制(損傷部)	修繕予定
砺波市(富山県)	むめいきょう 無名橋564	市道広谷線	1956	H29	橋台の沈下・傾き	全面通行止	修繕済
金沢市(石川県)	ばし にまい橋	準幹線556号金石・大野線	1913	H27	主桁の腐食	通行規制(路肩)	架替
七尾市(石川県)	おくほら とうばし 奥原5号橋	市道奥原19号線	1955	H27	主桁の鉄筋露出、破断、横桁、床板の鉄筋露出、断面欠損、	全面通行止	撤去予定
七尾市(石川県)	のざき とうばし 野崎1号橋	市道能登島31号線	1977	H27	床板の鉄筋露出、破断・うき	全面通行止	架替
小松市(石川県)	むめいきょう 無名橋7009	市道尾小屋新丸線	不明	H27	上部工、下部工の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去
小松市(石川県)	ばし さかい橋	市道江指町勘定線	1926	H30	主桁の腐食・欠損	バリケードを設置し全面通行止め	修繕予定
羽咋市(石川県)	うりやばし 瓜屋橋	市道邑知116号線	1994	H29	主桁の腐食・欠損、床板目地部からの漏水	全面通行止	撤去予定
白山市(石川県)	おぞうおおはし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	H30	橋台基礎における地盤崩落	バリケードを設置し全面通行止め	修繕予定
白山市(石川県)	ごみじまばし 五味島橋	ダム1号線	1979	H30	主桁の座屈	バリケードを設置し全面通行止め	撤去予定

【トンネル】（6箇所）

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (H31.3月末時点)
富山市 (富山県)	すなぐら 砂藏トンネル	市道蟹寺加賀沢線	1977	H30	側壁に段差を伴うひび割れ、坑門ひび割れ	全面通行止	廃止予定
加賀市 (石川県)	しじゅくいんずいどう 四十九院隧道	市道D第320号線	1958	H29	コンクリートのひび割れ、うき・はく離	全面通行止	廃止予定
加賀市 (石川県)	おおうちずいどう 大内隧道	市道D第340号線	1961	H29	アーチ部モルタルのうき	全面通行止	廃止予定
白山市 (石川県)	かぜせういどう 数瀬隧道	市道数瀬2号線	1959	H30	アーチ部のうき、側面壁の欠損	全面通行止 (H16より)	廃止予定
白山市 (石川県)	すずくりずいどう 鈴栗隧道	市道ダム1号線	1979	H30	アーチ部のうき	全面通行止 (S60より)	廃止予定
白山市 (石川県)	しらおさかいずいどう 白尾境隧道	市道ダム1号線	1979	H30	アーチ部の漏水、空洞	全面通行止 (H26より)	廃止予定

【道路附属物等】（3施設）

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (H31.3月末時点)
北陸地方 整備局	たふせおうだんほ どうきよう 田伏横断歩道橋	国道8号(新潟県)	1970	H28	主桁の変形、欠損	全面通行止	撤去済
北陸地方 整備局	提供装置	国道8号	2000	H30	回転灯の腐食	回転灯撤去	修繕済
珠洲市 (石川県)	シェッド	市道532号線	1962	H30	上部工全体にうき、剥離、鉄筋露出	全面通行止 (H26より)	廃止予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、令和元年7月末に各道路管理者に確認した内容を記載。